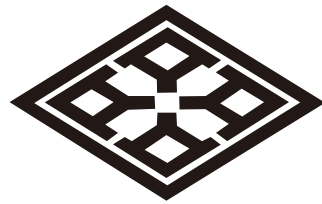


令和4年度

# 水道事業年報



大和郡山市上下水道部

# 大和郡山市民憲章

わたくしたちの大和郡山市は、豊かな自然と悠久の歴史に生まれ、明日に向けて歩みつづける希望のまちです。わたくしたち市民は、より平和で夢と誇りに満ちたまちをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 進んでまちづくりに参加し  
ともに住みよいまちをつくります
1. 恵まれた自然を大切にし  
清潔で美しいまちをつくります
1. 多彩な産業を生かし  
活力に満ちたまちをつくります
1. 歴史に学び 文化を誇る  
豊かな郷土をつくります
1. お互いを尊重し  
平和であたたかい社会をつくります

平和のシンボル、金魚が泳ぐ城下町。



大和郡山市

# 目 次

<b>(Ⅰ) 基本計画と水道普及状況</b>	頁
1. 基本計画	1
2. 給水区域	1
3. 水道拡張計画の経過概要	2
4. 水道事業の沿革	3
5. 上下水道のあゆみ	5
6. 水道普及状況	9
人口及び水量推移表	9
<b>(Ⅱ) 施設の概要</b>	
1. 施設平面図	11
(1) 上水道一般平面図	11
2. 現稼働施設	13
(1) 北郡山浄水場	13
①北郡山浄水場管理事務所（管理棟）	13
②導水施設 ③浄水施設	13
④送水施設	14
⑤水源施設深井戸	14
(2) 昭和浄水場	16
①昭和浄水場管理事務所（管理棟）	16
②導水施設 ③浄水施設	16
④県営水道受水施設	17
⑤送水施設 ⑥配水施設	17
⑦水源施設深井戸	17
(3) 配水池施設	20
<b>(Ⅲ) 業務状況</b>	
1. 令和4年度大和郡山市水道事業報告書	23
2. 年度別口径別水栓数	24
3. 月別口径別有収水量	25
4. 給水収益及び収納状況	26

5. 過年度分の収入及び未収状況 .....	26
5-1. 給水停止執行状況表 .....	26
6. 新設開栓状況 .....	27
7. 開閉栓状況 .....	27
8. 検定満期による量水器取替状況 .....	27
9. 給水装置工事施工状況 .....	28
9-1. 漏水減免状況表 .....	28
10. 修理件数の状況 .....	29
(1) 年度別修理件数 .....	29
(2) 修理件数の内訳 .....	29
11. 分担金収入額 .....	30
(ア) 口径別分担金収入明細表（新設） .....	30
(イ) 口径別分担金収入明細表（口径変更） .....	31
(ウ) 口径別分担金収入明細合計表（ア+イ） .....	31
12. 地区別検針・調定サイクル .....	32
13. 県営水道・配水量の推移 .....	33
14. 料金調定システムの改善経緯 .....	34
15. 電子計算処理業務の稼働状況 .....	35
(1) 各課電子計算処理業務状況一覧表 .....	35
(2) 機器構成図 .....	37
16. 水質検査 .....	38
(ア) 北郡山浄水場内給水栓水質検査結果 .....	38
(イ) 昭和浄水場内給水栓水質検査結果 .....	39
北郡山浄水場系井戸水質検査結果 .....	40
昭和浄水場系井戸水質検査結果 .....	41
17. 原水取水量（地下水） .....	43
(ア) 北郡山浄水場 .....	43
(イ) 昭和浄水場 .....	44
(ウ) 原水総取水量 .....	45
18. 配水量 .....	46
(ア) 北郡山浄水場 .....	46
(イ) 昭和浄水場（矢田山流量含む） .....	47
(ウ) 総配水量 .....	48
(エ) 総配水量の内訳 .....	49

(㊦) 県水総受水量	50
19. 薬品使用状況	51
20. 動力料金	52

## (Ⅳ) 財務及び業務指標

1. 財務諸表	53
(1) 収益費用比較表	53
(2) 累年別貸借対照表	54
(3) 累年別損益計算書	56
(4) 経営分析	58
ア. 経営分析及び財務分析	58
イ. 年度別費用構成比較	60
ウ. 年度別供給原価・給水原価比較	60
エ. 年度別1 m <sup>3</sup> 当たり収益比	63
オ. 給水原価構成	64
カ. 費目別給水原価構成	64
2. 決算	65
(1) 収益的収入及び支出	65
(2) 資本的収入及び支出	66
(3) 決算収支図	67
ア. 収益的収支	67
イ. 資本的収支	68
(4) 企業債明細書	69
(5) 固定資産明細書	70
3. 「水道事業ガイドライン」業務指標の算出結果と解説	71

## (Ⅴ) 機 構

1. 機構図	83
2. 職員数及び配置	84
3. 職員構成	85
(1) 年齢別職員構成	85
(2) 勤続年数別職員構成	85

## (VI) 参 考

1. 水道料金の変遷 .....	87
2. 下水道料金の変遷 .....	90
3. 給水分担金 .....	92
4. 導・送・配水管布設状況 .....	92

# I 基本計画と水道普及状況

## 1. 基本計画

事業創設認可	昭和13年 3月25日
供給開始	昭和17年 4月 1日
地方公営企業法適用年月日	昭和36年 4月 1日
拡張認可年月日	平成10年12月24日
事業名	第6次拡張事業
計画給水人口	100,000人 (平成24年) 目標年次
1日最大給水量	56,000m <sup>3</sup>
1人1日最大給水量	560ℓ
総事業費	6,320,200千円

## 2. 給水区域

九条平野町、代官町、城北町、植槻町、天理町、城内町、冠山町、城見町、永慶寺町、藤原町、朝日町、城南町、箕山町、南郡山町、北郡山町、九条町、東奈良口町、西奈良口町、観音寺町、西観音寺町、野垣内町、西野垣内町、北鍛冶町、中鍛冶町、南鍛冶町、塩町、本町、茶町、雑穀町、魚町、奈良町、藪町、新中町、堺町、綿町、今井町、材木町、高田町、高田口町、新紺屋町、紺屋町、車町、豆腐町、柳1丁目～6丁目、大宮町、洞泉寺町、北大工町、南大工町、矢田町通、柳町、東岡町、西岡町、新木町、筒井町、丹後庄町、杉町、本庄町、天井町、城町、城の台町、外川町、新町、上三橋町、下三橋町、稗田町、若槻町、大江町、番匠田中町、井戸野町、美濃庄町、横田町、石川町、白土町、発志院町、中城町、番条町、櫟枝町、伊豆七条町、新庄町、長安寺町、八条町、椎木町、今国府町、宮堂町、柏木町、西町、池沢町、馬司町、額田部南町、額田部北町、額田部寺町、昭和町、小泉町、小泉町東1丁目～3丁目、小林町、小林町西1丁目～3丁目、北西町、南井町、豊浦町、小南町、池之内町、田中町、満願寺町、西田中町、矢田山町、千日町、泉原町、山田町（山間高地区を除く）、矢田町（山間高地区を除く）  
及び生駒郡安堵町岡崎、上窪田、中窪田地区並びに東安堵地区



### 3. 水道拡張計画の経過概要

名称	認可年月日	許可番号	起工年 月	竣工年 月	給水開始年月日	事業費 (千円)	目標年次	計画		
								給水人口	1人1日 最大配水量	1日最大 配水量
創設	S. 13.3.25	厚奈衛 第183号	S. 14.3	S. 17.3	S. 17.4.1	790		人 19,000	ℓ 160	m <sup>3</sup> 2,280
第1次 拡張	S. 27.5.17	厚奈衛 第224号	S. 27.5	S. 32.3	S. 32.4.1	116,367	33	33,000	220	6,200
第2次 拡張	S. 33.1.21	厚奈衛 第20号	S. 33.4	S. 37.3	S. 37.4.1	101,274	37	43,000	280	12,000
第3次 拡張	S. 39.12.12	厚収環 第479号	S. 40.4	S. 44.3	S. 41.4.1	712,270	50	80,000	340	27,200
第3次 変更	S. 44.3.31	厚環 第328号	S. 44.4	S. 45.3	S. 41.4.1	838,030	45	66,700	408	27,200
第4次 拡張	S. 45.3.31	厚環 第330号	S. 45.4	S. 51.3	S. 46.5.1	1,246,816	55	104,400	500	52,200
第4次 変更	S. 49.3.30	厚環 第291号	S. 45.4	S. 53.3	S. 46.5.1	2,691,816	55	104,000	500	52,200
第4次 拡張 緊急変更	S. 54.6.25	奈良県指令 環第72号	S. 54.6	S. 54.7	S. 54.7.14	49,000	55	104,000	500	52,200
第5次 拡張	S. 55.11.4	厚生省環 第525号	S. 56.4	S. 63.3	S. 63.3.31	2,340,000	2	120,000	620	74,400
第6次 拡張	H. 10.12.24	厚収衛 第1486号	H. 10.12	H. 23.3	H. 23.3.31	6,320,200	24	100,000	560	56,000

## 4. 水道事業の沿革

大和郡山市は、大和平野の北部に位置し、大和川流域に広がる田園地帯と西部の矢田丘陵からなる恵まれた自然を有している。

市北部は、平城宮跡や薬師寺に近接し、南西部は、法隆寺、法起寺などの古い寺院が近くに存在するなど、古代の歴史の一翼を担うとともに、中世において筒井順慶の大和統一、さらには豊臣秀長の近世城下町づくりと産業保護により、大和平野の重要な拠点として、自然と歴史に恵まれた地域でもあった。

又、地場産業としては、明治時代から金魚の生産に取り組み、全国シェアは第1位となっている。昭和40年代には、南部に大規模な昭和工業団地が造成されたことによる大手企業の進出と共に、大阪市や京都市からの通勤上の利便性から、京阪神のベットタウンとして人口の急増を経験した。

本市水道事業は、昭和13年3月、旧郡山町を区域として、上水道を創設した後、昭和17年4月に給水が開始された。

当時の創設認可申請理由は次のように記述されている。

「現時交通ノ至便ニ伴ヒ文化ノ向上頓ニ進ミ商工地トシテ発展ノ度極メテ顕著ナルモノアリト雖モ町ノ大部分ハ水質寔ニ不良ニシテ飲料ニ適スルモノ希ナリ保健衛生及保安警備ノ上ヨリ見ルニ水道設備ハ最モ緊急ニシテ必須ノ事業タルコトハ本町民ノ齊シク待望スル所ナリ」

このように大和郡山水道は、飲料水の保健衛生と共に当時発展してきた商工業の育成の面からも、町民から大きな期待を受けて誕生したのである。

**第1次拡張事業** 昭和27年5月から着工され、この拡張事業計画は、目標計画年次を昭和33年と定め、計画給水人口33,000人、計画1日最大配水量が6,200 $\text{m}^3$ であった。昭和29年、郡山町及び矢田、昭和、治道、筒井、平和の各村の合併により、市制を施行することに伴い、昭和29年に筒井地区、昭和31年に平和、矢田地区、昭和32年に治道、昭和地区への配水管延長計画が完成し、市内の大部分の地域が給水可能となった。

**第2次拡張事業** 昭和33年4月から始まり、目標計画年次を昭和37年度におき、計画給水人口43,000人、計画1日最大配水量12,000 $\text{m}^3$ の目標計画を立てた。

昭和32年に片桐町が市に編入されたことに伴い、昭和34年に片桐地区にも配水管の延長工事が完成した。又、昭和36年に水道局庁舎が落成する一方、水需要の急増に対応するため、北郡山浄水場の濾過池及び沈殿池が増設され浄水設備の能力倍増が図られた。

さらに、この時期に市の西南に隣接する安堵村からの給水要請によって、同村の一部に給水を開始した。

**第3次拡張事業** 当初、昭和40年から44年までの工期で計画されたが、昭和44年に第3次拡張事業変更によってその工期は1年延長された。

この拡張事業は、当時、市の一大施策であった市南部の昭和工業団地の造成や、矢田山団地を初めとする大型宅地造成が進んだことによる水需要の急増に対応するために計画されたのである。

拡張事業の計画は、給水人口66,700人、1日最大配水量27,200 $\text{m}^3$ であったが、昭和40年に矢田山、西城地区への配水管の延長工事が完成、水道局庁舎増築工事（昭和40年）、昭和浄水場の建設（昭和43年）と、本市水道事業が飛躍的に発展した時期でもあり、矢田地区の簡易水道の統合による需要増にも備えた。

**第4次拡張事業** 当初、昭和45年4月から、昭和51年3月までの期間で計画されたものである。計画給水人口104,400人、1日最大配水量52,200 $\text{m}^3$ であった。しかし、2回の事業変更により、その工期は、昭和54年7月まで延長された。

この時期は、市西部丘陵地帯の泉原団地などの大規模住宅や郡山駅前住宅公団、県営住宅など爆発的な需要増加となったことに加え、水源である井戸の水位が低下したため、井戸の増設を図ると共に昭和50年度から県営水道の受水を開始し、供給の不足分を賄った。

更に、北郡山浄水場の大改築を行い、水質汚濁防止法の改正により、浄水場における排水処理設備の建設事業も着手した。

又、大阪口（北郡山浄水場系）に 5,000 $\text{m}^3$ の配水池、昭和浄水場に 5,000 $\text{m}^3$ の県営水道受水池、矢田山に 5,000 $\text{m}^3$ の第3配水池を建設し、災害時の水確保を図るための事業も実施した。

この頃（昭和45年以降）から、公共下水道工事が始まり、それに伴う移設工事が多発したのもこの時期であった。

**第5次拡張事業** 昭和56年4月から、昭和63年3月の工期で実施された。この事業計画は、給水人口120,000人、1日最大配水量74,400 $\text{m}^3$ であったが、全国的には水道事業について「拡張から維持管理へ」と言われ出し、水質や安定供給が主要なテーマとなっていた。

当市も、矢田地区の一部（東明寺、松尾寺、檜木地区）を除いて、行政区域内全域に給水を行っており、安定供給と水質保全が主要な課題となっていた。

昭和61年に10,000 $\text{m}^3$ の矢田山県営水道受水池兼第4配水池の築造に続き、平成3年に水道局新庁舎完成、平成4年の給水開始50周年には、各種事業に取り組んだ。

又、阪神淡路大震災を教訓として「災害に強い水道」をめざし、平成9年度から北和都市（奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市）間の、災害緊急時における水道水の相互融通連絡管整備事業に着手した。

平成10年4月からは、大和郡山市行政改革推進の一環としてお客様問い合わせ業務の窓口一本化と迅速化をめざし業務課内に「お客さまセンター」、規制緩和による指定給水装置工事業者への指導と監督強化から工務課内に「サービスセンター」を設置するなどの組織改革を行った。

**第6次拡張事業** 平成10年12月から着手し、目標計画年次を平成24年におき、水道普及率100%をめざし、松尾山、東明寺、檜木の矢田3地区の未普及地域解消事業を実施するため、事業認可（給水人口100,000人、一日最大配水量56,000 $\text{m}^3$ ）を受けることとなり、未普及地域解消事業が本格化した。平成11年9月に東明寺地区、同年11月に松尾山地域の2地区が完成し、それによって当市の水道普及率は99.97%に達することができた。また、同年度から昭和工業団地内の新幹線管の布設工事が7年計画で始まった。これは昭和浄水場から東部地区方面への管路の拡充を図り幹線配水管を整備して将来にわたって安定した水の供給を続けるものである。平成12年度には、水道整備計画の一環である北郡山浄水場の沈殿池更新事業（生物接触濾過施設）が開始し、平成13年10月に完成した。また、平成14年度から2ヶ年事業であった昭和浄水場高圧受電設備更新事業が平成15年10月に完成した。平成16年度から防災計画に基づき、市内柳町に位置する大阪口第1配水池を災害時における拠点給水基地として整備を進め、緊急時における飲料水確保のための緊急遮断弁（口径400mm）を設置した。令和3年3月に、生駒市小瀬配水池に隣接して送水ポンプ施設と矢田町檜木地区に配水池を設置した。令和4年2月に矢田町檜木地区の配水管を敷設し、令和元年度から開始した未普及地域改修事業が完了し、水道普及率100%となった。

## 5. 上下水道のあゆみ

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世 間 の 動 き
1938	昭和 13 年	水道事業創設認可 (町長 戸口米次郎)	
1940	昭和 15 年	日本水道協会に入会	
1941	昭和 16 年		筒井村、郡山町に合併 太平洋戦争起こる
1942	昭和 17 年	給水開始	
1945	昭和 20 年		終 戦
1947	昭和 22 年	水道料金改定実施	地方自治法公布
1948	昭和 23 年	水道料金改定実施	
1949	昭和 24 年	水道料金改定実施	
1951	昭和 26 年	水道料金改定実施	
1952	昭和 27 年	第 1 次拡張事業認可 (町長 三木守人)	地方公営企業法公布
1954	昭和 29 年	市制を施行 (初代市長に水田孝夫) 筒井地区への配水管延長工事完成 水道料金改定実施	郡山町、矢田、昭和 治道、平和各村合併
1956	昭和 31 年	平和、矢田地区への配水管延長工事完成	
1957	昭和 32 年	治道、昭和地区への配水管延長工事完成 水道料金改定実施	片桐町、大和郡山市に編入
1958	昭和 33 年	第 2 次拡張事業認可 (市長 水田孝夫) 水道料金改定実施	
1959	昭和 34 年	片桐地区への配水管延長工事完成	伊勢湾台風
1960	昭和 35 年		チリ地震
1961	昭和 36 年	地方公営企業法の適用を受け、水道局となる。 水道局庁舎落成	第 2 室戸台風
1962	昭和 37 年	安堵村の一部へ給水開始 第 6 取水場新設	
1963	昭和 38 年	水道料金改定実施	
1964	昭和 39 年	第 3 次拡張事業認可 (市長 水田孝夫)	昭和工業団地造成始まる 東京オリンピック開催 東海道新幹線開通
1965	昭和 40 年	矢田山、西城地区への配水管延長工事完成	
1966	昭和 41 年	水道局庁舎増築工事完成 水道料金改定 (基本料金350円)	
1968	昭和 43 年	昭和浄水場完成 矢田山第 1 配水池築造工事完成 (1,500m <sup>3</sup> )	
1969	昭和 44 年	水道料金の口座振替制度実施 給水人口 5 万人突破	アポロ11号月面着陸
1970	昭和 45 年	第 4 次拡張事業認可 (市長 吉田泰一郎) 矢田山第 2 配水池築造工事完成 (80m <sup>3</sup> ) 矢田地区簡易水道を上水道に統合する 水道料金改定実施	大阪万国博覧会 公共下水道事業着手 奈良県営水道給水開始
1971	昭和 46 年	水道料金の調定委託 隔月検針採用 検針業務を全面委託 下水道事業認可	
1972	昭和 47 年		沖縄県復帰
1973	昭和 48 年	天理市へ援助給水 (1ヶ月) 給与計算及び庁舎管理、清掃業務委託 下水道認可変更	オイルショック
1974	昭和 49 年	分担金制度実施 宅内修繕工事を公認業者へ移行 浄水場が水質汚濁防止法の特定施設となる	市制施行20周年記念事業

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世 間 の 動 き
1975	昭和 50 年	矢田山第3配水池築造工事完成 (5,000m <sup>3</sup> ) 水道料金体系を用途別から口径別に変更 県営水道から受水開始 (宇陀川系) 水道料金改定 (基本料金430円) 下水道供用開始 下水道認可変更	
1976	昭和 51 年	北郡山浄水場改造工事完成 北郡山排水処理設備完成 (希釈放流)	
1977	昭和 52 年	浄水場に遠方監視装置導入 大阪口配水池築造工事完成 (5,000m <sup>3</sup> ) 下水道認可変更	水道法改正
1978	昭和 53 年	昭和浄水場県水受水池完成 (5,000m <sup>3</sup> ) 奈良市へ援助給水 (約2週間) 水道料金改定 (基本料金600円)	福岡市など大渇水
1979	昭和 54 年	昭和浄水場に排水処理設備完成 (天日乾燥) 給水人口8万人突破 下水道・郡山ポンプ場竣工 下水道認可変更	
1980	昭和 55 年	水道料金徴収を毎月から隔月制に変更 第5次拡張事業認可 (市長 吉田泰一郎) 下水道認可変更	
1981	昭和 56 年	水道料金改定 (基本料金750円) 大寒波襲来 約1,000件の修繕 下水道認可変更	
1982	昭和 57 年	昭和16号、17号井戸完成	8月集中豪雨
1984	昭和 59 年	水道料金改定 (基本料金800円) 下水道使用料改定 (基本料金400円) 下水道認可変更	わかくさ国体開催
1985	昭和 60 年	下水道認可変更	
1986	昭和 61 年	矢田山県水受水池兼配水池完成 (10,000m <sup>3</sup> ) 下水道使用料改定 (基本料金500円)	
1987	昭和 62 年	水道料金改定実施 下水道第1課を下水道管理課へ 下水道第2課を下水道建設課へ変更 下水道・郡山ポンプ場2号ポンプ完成	
1988	昭和 63 年	下水道使用料改定 (基本料金535円)	
1989	平成 元年	(市長 阪奥 明)	消費税実施 (3%)
1990	平成 2 年	夏季異常渇水 下水道使用料改定 (水質料金のみ) 下水道認可変更	奈良シルクロード博開催
1991	平成 3 年	北郡山浄水場排水処理設備改造 (希釈放流から濃縮機導入) 水道局新庁舎完成 1日最大配水量50,000m <sup>3</sup> 突破 下水道・郡山ポンプ場3号ポンプ完成	
1992	平成 4 年	給水開始50周年記念事業 水道料金改定実施 下水道・郡山ポンプ場4号ポンプ完成	
1993	平成 5 年	下水道・郡山ポンプ場5号ポンプ完成 下水道認可変更	
1994	平成 6 年	夏季異常渇水 下水道認可変更	

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世 間 の 動 き
1995	平成 7 年	下水道・郡山ポンプ場放流ゲート完成	阪神・淡路大震災 第1回全国金魚すくい選手権大会開催
1996	平成 8 年	新料金調定システム電算業務開始 矢田山受水池兼配水池緊急遮断弁完成 水道料金改定（基本料金1,200円） 下水道認可変更	秀長百万石まつり開催
1997	平成 9 年	北郡山浄水場次亜塩素酸ソーダ注入開始 北和相互融通管連絡管設置事業開始 広報紙「ふれっしゅ郡水」創刊 下水道使用料改定（基本料金635円）	消費税率改定（5%）
1998	平成 10 年	第6次拡張事業認可（市長 阪奥 明） 松尾山、東明寺地区未普及地域解消事業開始 業務課内に「お客さまセンター」工務課内に「サービスセンター」を設置 昭和浄水場次亜塩素酸ソーダ注入開始 下水道認可変更	指定給水装置工事事業者の指定制度実施
1999	平成 11 年	松尾山、東明寺地区通水開始（普及率99.97%） 昭和工業団地内幹線管布設事業開始 給水台帳ファイリングシステム稼働	コンピューター西暦2000年問題
2000	平成 12 年	北郡山浄水場生物接触濾過施設事業開始	鳥取県西部地震
2001	平成 13 年	生物接触濾過施設稼働（市長 上田 清） 大和郡山市水道展開催（やまと郡山城ホール8月1日～3日） 下水道認可変更	米国同時多発テロ
2002	平成 14 年	工務課内の「サービスセンター」を廃止し「お客さまセンター」に一本化 下水道管理課と下水道建設課を統合し、下水道推進課へ一本化 下水道認可変更	
2003	平成 15 年	昭和浄水場高圧受電設備稼働 下水道認可変更	
2004	平成 16 年	下水道「手づくり郷土賞」紺屋川整備事業受賞	新潟県中越地震 スマトラ沖地震
2005	平成 17 年	大阪口第1配水池緊急遮断弁完成	
2006	平成 18 年	水道料金コンビニ収納開始 下水道環境フォーラム開催 下水道整備促進全国大会開催 北郡山浄水場運転管理業務一部委託開始	
2007	平成 19 年	機構改革により下水道推進課との統合「水道局」から「上下水道部」となる お客さまセンター業務委託開始によるプロポーザル実施	新潟県中越沖地震
2008	平成 20 年	新企業会計システム導入	中国四川省地震
2009	平成 21 年	北郡山浄水場監視装置設置 下水道事業公営企業化 下水道使用料改定（基本料金735円）	
2010	平成 22 年	上下水道料金ハンディ機器更新 下水道使用料改定（基本料金830円） 下水道認可変更	猛暑（30年に1度の異常気象と認定） 県営水道料金140円/m <sup>3</sup>
2011	平成 23 年	お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 上下水道事業審議会設立 北郡山浄水場運転管理委託開始によるプロポーザル実施 昭和浄水場5号配水ポンプ設備更新	カンタベリー地震（ニュージーランド） 東日本大震災

西 暦	年 号	上 下 水 道 事 業 記 事	外 記 世 間 の 動 き
2012	平成 24 年	昭和浄水場現況調査委託 昭和浄水場運転管理業務一部委託開始 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 下水道使用料改定（基本料金950円）	尖閣諸島・竹島領土問題  東京スカイツリー完成
2013	平成 25 年	上下水道料金システムCS版稼働 水道料金改定（二段階料金制開始・基本料金1,170円） 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 下水道使用料改定（基本料金1,070円 P 北郡山浄水場及び場外施設現況調査 下水道認可変更	大滝ダム完成 県営水道料金130円/m <sup>3</sup>
2014	平成 26 年	浄水課が工務課と統合 水道管路整備計画策定業務 配水池等耐震診断業務 生物接触ろ過施設3材入替（3ヶ年）	消費税率改定（8%）
2015	平成 27 年	水道事業ビジョン及び施設整備計画策定業務（2ヶ年） 大阪市と技術協力に関する連携協定締結 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 ハイブリッド水道メーター導入 水道料金口座振替伝送に移行 北和四市水道メーター共同購入	マイナンバー制度
2016	平成 28 年	上下水道部機器更新 （調定システム、地図システム、設計積算システム） 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 ペットボトル水配布事業（市内各小中学校） 北郡山浄水場1号送水ポンプ設備更新 資材備蓄倉庫建設	熊本地震 鳥取地震 マイクロソフトWindows10
2017	平成 29 年	上下水道料金閉栓未納催告システム改修 水道事業ビジョン作成 北和四市利き水イベントの実施	トランプ大統領就任
2018	平成 30 年	奈良県「県域水道一体化の目指す姿と方向性」の提示 お客さまセンター窓口業務プロポーザル実施 金魚すくい県民大会で北和4市利き水イベントの実施 奈良県「新県域水道ビジョン」策定 親子まつりで利き水イベントの実施 上下水道長期未使用者確認システム導入 下水道認可変更 アンケート調査実施	大阪北部地震 西日本豪雨 猛暑 平成30年北海道胆振東部地震
2019	令和 元年	矢田山第3配水池・大阪口配水池耐震補強工事 未普及地域解消事業(檜木地区)で生駒市と広域連携協定締結 浄水場運転管理業務プロポーザル実施 矢田山第4配水池耐震補強工事	大型台風19号で関東・東北で被害 新天皇即位の礼 Windows7サポート終了 消費税率改定（10%） 新型コロナウイルス感染症流行
2020	令和 2 年	未普及地域解消事業(檜木地区)開始 窓口滞納整理業務等包括委託プロポーザル実施 生活支援等として2ヶ月分の基本料金の減免を実施 水道使用者の宅内給水装置の修繕に対し、給水装置 2次側修繕優先紹介事業開始	バイデン大統領就任 東京五輪開催
2021	令和 3 年	未普及地域解消事業（檜木地区）完了  浄水場運転管理業務契約更新 スマートフォン決済アプリによる料金納付開始 生活支援等として4ヶ月分の基本料金減免を実施 市長、県域水道一体化に参加する意向を表明	熱海市伊豆山土石流災害発災  ロシアがウクライナに侵略 藤井聡太、10代初の5冠 安倍晋三元首相銃撃事件

## 6. 水道普及状況

人口及びひ水量推移表

項目	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
行政区域内人口	90,537	90,112	89,631	89,101	88,582	88,013	87,541	86,937	86,325	85,690	85,129	84,360	83,639
給水区域内人口	91,561	91,098	90,606	90,076	89,545	88,972	88,536	87,896	87,304	86,638	86,086	85,302	84,557
給水人口	91,534	91,072	90,581	90,050	89,519	88,948	88,512	87,872	87,281	86,617	86,065	85,302	84,557
給水戸数	37,827	37,928	38,038	38,184	38,211	38,451	38,655	38,701	38,845	38,905	39,078	39,265	39,533
1日最大配水量 (月・日)	8月2日 40,214	6月29日 38,793	7月30日 36,812	7月8日 36,112	7月24日 35,603	7月13日 33,465	7月7日 33,274	8月3日 32,075	7月25日 33,188	8月6日 31,701	8月24日 32,907	6月9日 30,451	6月23日 30,314
1日平均配水量	34,218	32,435	31,579	30,903	29,618	29,155	28,409	28,323	28,687	28,052	28,352	27,014	26,734
年間総配水量	12,489,621	11,871,103	11,526,216	11,279,463	10,810,722	10,670,618	10,369,425	10,338,060	10,470,674	10,238,872	10,348,481	9,860,109	9,757,946
年間有収水量	11,340,513	10,931,158	10,735,389	10,471,764	10,108,573	9,852,080	9,725,937	9,703,019	9,749,312	9,670,285	9,610,491	9,311,148	8,913,054
有収率	90.8	92.1	93.1	92.8	93.5	92.3	93.8	93.9	93.1	94.4	92.9	94.4	91.3
1人1日 最大配水量	439	426	406	401	398	376	376	365	380	366	382	357	359
1人1日 平均配水量	374	356	349	343	331	328	321	322	329	324	329	317	316

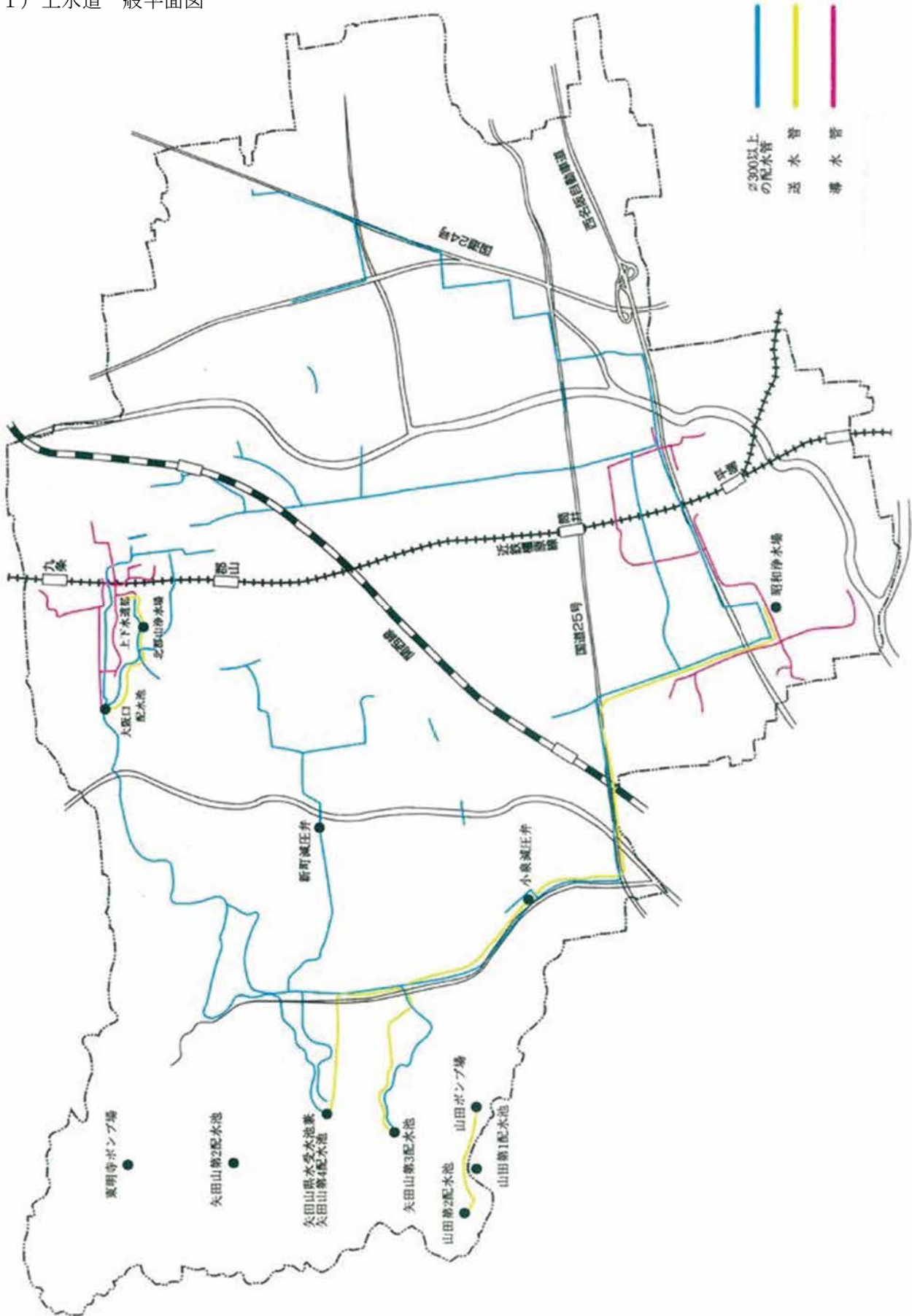


## Ⅱ 施設の概要

# 大和郡山市全図

## 1. 施設平面図

### (1) 上水道一般平面図



## 2. 現稼働施設

### (1) 北郡山浄水場

# 北郡山浄水場

#### ① 北郡山浄水場管理事務所 (管理棟)

管理棟総面積 532.78 m<sup>2</sup> RC造 1棟

敷地総面積 6,722 m<sup>2</sup>

施設能力 9,600 m<sup>3</sup>/日

#### ② 導水施設

[導水管] φ150～φ400 L=6,044 m

#### ③ 浄水施設

[着水井] 幅5.1 m×長さ12.9 m×水深4.5 m RC造り 1井

[生物接触ろ過施設] 内法4.5 m×3 m 有効濾過面積13.5 m<sup>2</sup>/池

濾速240 m/日 (最大濾速360 m/日)

RC造り 3池

[薬品混和槽] 幅8.9 m×長さ6.9 m×深さ3.5 m RC造り 2池

[急速濾過池]

・内法 4.8 m×3.5 m 有効濾過面積 16.8 m<sup>2</sup>/池

・濾速 120 m/日 RC造り 4池

・内法 5.8 m×3.5 m 有効濾過面積 20.3 m<sup>2</sup>/池

・濾速 120 m/日 RC造り 1池

[浄水池]

・内法 17.3 m×8.5 m×深さ3.7 m 有効容量 1,000 m<sup>3</sup> RC造り 2池

[薬注設備] 次亜塩素・PAC

・次亜貯蔵槽

円筒型密閉 (ノズル一体型) ポリエチレンタンク

φ1,700×H3,000 (直胴部) 6.0 m<sup>3</sup> 2槽

・次亜注入ポンプ

油圧ダイアフラム式 吐出量235 ml/分

ストローク自動制御設定 2台 (内1台予備)

・PAC貯蔵槽 1槽

円筒型密閉 ポリエチレンタンク

容量 3.0 m<sup>3</sup>

・PAC注入ポンプ

油圧ダイアフラム式 吐出量30 ml/分

ストローク自動制御設定 2台 (内1台予備)

〔洗浄設備〕

- ・揚水ポンプ 両吸込型渦巻ポンプ  
口径 吸込側 300mm・吐出側 250mm  
吐出量 10.6m<sup>3</sup>/分・揚程 14m  
回転数 1,200rpm・ポンプ出力 37KW 1台

〔排水処理施設〕

- ・排泥池 6.35m×6.35m×2.50m 有効容量 200m<sup>3</sup> RC造り 2池
- ・送泥ポンプ室 9.75m×2.35m RC造り 1室
- ・送泥ポンプ φ125×1.55m<sup>3</sup>/分×1.6m×1.5KW 2台

④ 送水施設

〔送水ポンプ〕地下 87.11m<sup>2</sup> RC造り 1室

- ・送水ポンプ φ200×φ150×4.5m<sup>3</sup>/分×60m×7.5KW 1台  
φ250×φ200×6.0m<sup>3</sup>/分×45m×7.5KW 1台
- ・送水管 φ350 L=1,100m

⑤ 水源施設深井戸

〔北郡山1号井戸〕 所在地 大和郡山市植槻町（北郡山浄水場内）

工事竣工年月日 平成11年1月22日

ケーシング口径 300mm×深さ200m

揚水量 1,200m<sup>3</sup>/日 22KW

〔北郡山5号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町

工事竣工年月日 平成7年2月28日

ケーシング口径 300mm×深さ300m

揚水量 1,320m<sup>3</sup>/日 22KW

〔北郡山6号井戸〕 所在地 大和郡山市代官町

工事竣工年月日 昭和37年4月11日

ケーシング口径 350mm×深さ160m

揚水量 1,008m<sup>3</sup>/日 15KW

〔北郡山7号井戸〕 所在地 大和郡山市代官町

工事竣工年月日 昭和40年5月30日

ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250mm×深さ180m

揚水量 500m<sup>3</sup>/日 15KW

〔北郡山8号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町

工事竣工年月日 昭和40年5月30日

ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250(200)mm

×深さ180m(142.5m)

揚水量 1080m<sup>3</sup>/日 18.5KW

〔北郡山9号井戸〕 所在地 大和郡山市北郡山町  
工事竣工年月日 昭和43年11月15日  
ケーシング口径 (3重ケーシング) 350mm×深さ180m  
300mm×深さ100m  
250mm×深さ82m  
揚水量 720m<sup>3</sup>/日 18.5KW

〔北郡山11号井戸〕 所在地 大和郡山九条平野町  
工事竣工年月日 平成19年1月26日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 300mm×深さ250m  
250mm×深さ245m  
揚水量 980m<sup>3</sup>/日 18.5KW

〔北郡山12号井戸〕 所在地 大和郡山市植槻町  
工事竣工年月日 昭和50年6月30日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 400mm・300mm×深さ250m  
揚水量 552m<sup>3</sup>/日 22KW

〔北郡山13号井戸〕 所在地 大和郡山市柳町  
工事竣工年月日 平成16年9月30日  
ケーシング口径 350mm×深さ300m  
揚水量 816m<sup>3</sup>/日 18.5KW

(2) 昭和浄水場

昭和浄水場

① 昭和浄水場管理事務所 (管理棟)

管理棟総面積 443.3 m<sup>2</sup> RC造 1棟

敷地総面積 30,636 m<sup>2</sup>

施設能力 30,200 m<sup>3</sup>/日

② 導水施設

[導水管] φ150～φ500 DCIP他 L=5,454 m

③ 浄水施設

[着水井] 長さ14.0m×巾5.0m×深さ4.0m 容量280 m<sup>3</sup> RC造り

[混和槽] 3.0m×2.65m×深さ3.0m 滞留時間 1.4分 RC造り 2池

[凝集池] 幅1.0m×深さ3.0m×長さ77.8m 上下迂流式

有効容量 934 m<sup>3</sup> 滞留時間 27.9分 RC造り 4池

[沈殿池]

幅10.2m×長さ38.6m×有効水深3.5m 有効容量 5,500 m<sup>3</sup>

滞留時間 2.8時間 RC造り 4池

[急速濾過池]

・内法 6.0m×7.04m 有効濾過面積 253.4 m<sup>2</sup>

濾過 120 m<sup>3</sup>/日 RC造り 7池 (内予備1池)

[薬注設備] 次亜塩素・PAC

・次亜貯蔵槽

円筒型密閉 (ノズル一体型) ポリエチレンタンク

φ2,280×2,780 (直胴部) 8.6 m<sup>3</sup> 2槽

・次亜注入ポンプ

油圧ダイアフラム式 容量 1980 ml/分

回転数自動制御設定 2台 (内1台予備)

・PAC貯蔵槽 1槽

円筒型密閉 ポリエチレンタンク

容量 4 m<sup>3</sup>

・PAC注入ポンプ 2台 (内1台予備)

吐出量 最大 60 ml/分

[洗浄設備]

鋼製円筒有骨ドーム型タンク 容量 200 m<sup>3</sup>

揚水ポンプ 3.3 m<sup>3</sup>/分×30m×30KW 2台 (内予備1台)

[排水処理設備]

- ・濃縮槽 12.7m×12.7m×5.0m 容量 1,600m<sup>3</sup> RC造り 2池  
電気室、ポンプ室 5.0m×12.7m 地下室 RC造り
- ・揚水ポンプ 0.571m<sup>3</sup>/分×19m×7.5KW 3台 (内予備1台)
- ・天日乾燥床 7.0m×16.0m 延床面積 896m<sup>2</sup> RC造り 8床  
3.65m×19.7m 延床面積 72m<sup>2</sup> RC造り 1床  
3.65m×17.2m 延床面積 126m<sup>2</sup> RC造り 2床

④ 県営水道受水施設

有効容量 5,000m<sup>3</sup> 直径 28.3m 有効水深 8.0m  
RC造り 1池 県水受水管 φ300

⑤ 送水施設

[送水ポンプ] 両吸込渦巻ポンプ

φ250×φ150×7.0m<sup>3</sup>/分×110m×200KW 2台

[送水管] φ350 DCIP L=6,766m

⑥ 配水施設

[配水ポンプ]

φ250×φ150×5m<sup>3</sup>/分×50m×75KW 2台

φ250×φ200×7m<sup>3</sup>/分×50m×90KW 2台

[配水池] 10,000m<sup>3</sup>

内法 16.0m×40.0m×深さ4.0m 有効容量 2,500m<sup>3</sup> RC造り 4池

⑦ 水源施設深井戸

[昭和1号井戸] 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成4年3月31日

ケーシング口径 300mm×深さ350m

揚水量 1,032m<sup>3</sup>/日 22KW

[昭和2号井戸] 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成8年3月11日

ケーシング口径 300mm×深さ250m(200m)

揚水量 672m<sup>3</sup>/日 22KW

[昭和3号井戸] 所在地 大和郡山市額田部北町

工事竣工年月日 平成5年3月31日

ケーシング口径 300mm×深さ300m

揚水量 648m<sup>3</sup>/日 18.5KW

- [昭和4号井戸] 所在地 大和郡山市西町  
工事竣工年月日 昭和44年3月31日  
ケーシング口径 350mm×深さ210m  
休止中
- [昭和5号井戸] 所在地 大和郡山市額田部北町  
工事竣工年月日 昭和44年3月31日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250mm×深さ180m  
揚水量 400m<sup>3</sup>/日 18.5KW
- [昭和6号井戸] 所在地 大和郡山市額田部北町  
工事竣工年月日 昭和44年3月31日  
ケーシング口径 350mm×深さ180m  
揚水量 720m<sup>3</sup>/日 7.5KW
- [昭和7号井戸] 所在地 大和郡山市西町  
工事竣工年月日 昭和46年3月31日  
ケーシング口径 350mm×深さ180m  
揚水量 192m<sup>3</sup>/日 13KW
- [昭和8号井戸] 所在地 大和郡山市西町  
工事竣工年月日 昭和46年3月31日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 350mm・250mm×深さ180m  
揚水量 1,008m<sup>3</sup>/日 22KW
- [昭和9号井戸] 所在地 大和郡山市西町  
工事竣工年月日 昭和48年3月31日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 300mm・200mm×深さ180m  
揚水量 960m<sup>3</sup>/日 22KW
- [昭和10号井戸] 所在地 大和郡山市今国府町  
工事竣工年月日 昭和49年3月31日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 500mm・300mm×深さ200m  
揚水量 480m<sup>3</sup>/日 22KW
- [昭和11号井戸] 所在地 大和郡山市額田部寺町  
工事竣工年月日 昭和49年3月31日  
ケーシング口径 (2重ケーシング) 500mm・300mm×深さ200m  
揚水量 552m<sup>3</sup>/日 22KW



- 〔昭和 12 号井戸〕 所在地 大和郡山市池沢町  
工事竣工年月日 昭和 50 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m  
揚水量 840 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 13 号井戸〕 所在地 大和郡山市椎木町  
工事竣工年月日 昭和 50 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m  
揚水量 600 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 14 号井戸〕 所在地 大和郡山市椎木町  
工事竣工年月日 昭和 53 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 350 mm×深さ 250 m  
揚水量 840 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 15 号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部寺町  
工事竣工年月日 昭和 55 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 (3 重ケーシング) 1000 mm・600 mm・450 mm  
×深さ 60 m  
揚水量 1,152 m<sup>3</sup>/日 18.5 KW
- 〔昭和 16 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町  
工事竣工年月日 昭和 57 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 400 mm×深さ 250 m  
揚水量 1,296 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 17 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町  
工事竣工年月日 昭和 58 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m  
揚水量 864 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 18 号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町  
工事竣工年月日 昭和 59 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 (2 重ケーシング) 400 mm・250 mm×深さ 250 m  
揚水量 720 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 19 号井戸〕 所在地 大和郡山市額田部北町  
工事竣工年月日 平成 6 年 3 月 31 日  
ケーシング口径 300 mm×深さ 300 m  
揚水量 696 m<sup>3</sup>/日 22 KW
- 〔昭和 20 号井戸〕 所在地 大和郡山市長安寺町

工事竣工年月日 平成10年1月30日  
ケーシング口径 300mm×深さ180m  
揚水量 600m<sup>3</sup>/日 22KW

〔昭和21号井戸〕 所在地 大和郡山市馬司町  
工事竣工年月日 平成21年1月30日  
ケーシング口径 350mm×深さ200m  
揚水量 1,200m<sup>3</sup>/日 22KW

### (3) 配水池施設

#### 〔大阪口配水池〕

所在地 大和郡山市柳町  
取得日 昭和53年3月31日 PC造り 1池  
有効容量 5,000m<sup>3</sup> 内法25.0m×水深10.2m

#### 〔矢田山第2配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町  
取得日 昭和45年3月31日 鉄筋防水モルタル造り 1池  
有効容量 80.0m<sup>3</sup> 内法5.6m×6.0m×2.7m

#### 〔矢田山第3配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町  
取得日 昭和50年3月31日 PC造り 1池  
有効容量 5,000m<sup>3</sup> 内法36.0m×水深5.0m

#### 〔矢田山県水受水池兼配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町  
取得日 昭和61年6月30日  
有効容量 10,000m<sup>3</sup>  
内径 50.0m 有効水深5.0m PC造り 1池  
緊急遮断弁 配水管緊急遮断弁 φ500  
送水管緊急遮断弁 φ300  
ポンプ仕様 0.8m<sup>3</sup>/分×72m×15KW 2台  
(矢田山第2配水池へ送水)

#### 〔山田第1配水池〕

所在地 生駒郡斑鳩町  
取得日 平成11年10月31日  
鉄筋コンクリート造 21.28m<sup>2</sup>  
有効容量 21.23m<sup>3</sup> 3.05m×1.45m×2.40m 2池  
ポンプ仕様 0.1m<sup>3</sup>/分×61m×3.4KW×2台

〔山田第2配水池〕

所在地 大和郡山市山田町  
取得日 平成11年10月31日  
鉄筋コンクリート造 26.42 m<sup>2</sup>  
有効容量 20.00 m<sup>3</sup> 2.60 m×1.55 m×2.48 m 2池  
ポンプ仕様 0.27 m<sup>3</sup>/分×7.4 m×5.5 KW×2台

〔山田ポンプ場〕

所在地 大和郡山市山田町  
取得日 昭和44年4月30日  
有効容量 7.94 m<sup>3</sup> 2.10 m×2.10 m×1.80 m  
ポンプ仕様 0.1 m<sup>3</sup>/分×7.2 m×3.7 KW×2台

〔東明寺ポンプ場〕

所在地 大和郡山市矢田町  
取得日 平成11年11月30日  
有効容量 1.00 m<sup>3</sup> 0.80 m×1.14 m×1.10 m  
ポンプ仕様 0.1 m<sup>3</sup>/分×7.4 m×5.5 KW×2台

〔榎木ポンプ場〕

所在地 生駒市小瀬町  
取得日 令和3年3月16日  
ポンプ仕様 0.048 m<sup>3</sup>/分×9.1 m×1.5 kw×2台

〔榎木配水池〕

所在地 大和郡山市矢田町  
取得日 令和3年3月16日  
ステンレスパネル 6.0 m<sup>3</sup>  
有効容量 4.5 m<sup>3</sup> 1.5 m×1.0 m×1.5 m 2池

### Ⅲ 業務状況

## 1. 令和4年度大和郡山市水道事業報告書

令和4年度の給水人口は、84,557人で、前年度に比べ745人減となっております。

年間有収水量は、対前年度比 398,094m<sup>3</sup>、率にして4.28%減の8,913,054m<sup>3</sup>となっております。

令和4年度の主な施設整備といたしましては、建設改良工事として植槻町、小泉町、筒井町等における延長5,346.1mの配水管等の改良を行い、配水施設工事としては、植槻町、城町、満願寺町等における延長 931.0mの老朽配水管等の布設替を実施し、水の安定供給に努めました。

また、昭和浄水場管理棟及び高架水槽の耐震化を実施し、災害対策に努めました。

以上の様に施設整備及び災害対策に努め、収益的収支は、2,049,272,757円(2,210,776,362円)の収入となり、前年度に比べ23,194,353円、率にして1.14%の増となりました。この収入の主なものは、給水収益1,475,849,850円、受託工事収益22,602,686円、長期前受金戻入益223,368,965円でございます。

一方、支出におきましては、1,826,346,331円(1,917,669,189円)となり、前年度に比べ32,758,871円、率にして1.83%の増となっております。この支出の主なものは、県水受水費603,355,350円、動力費115,629,568円、人件費178,859,570円、減価償却費454,922,262円でございます。収支差引による当年度純利益は、前年度に比べ金額にして9,564,518円の減で、222,926,426円の当年度純利益となったものでございます。

次に資本的収支における収入は、2,932,993,901円(2,939,111,301円)で、内訳は、水道施設工事分担金 65,352,728円、給水分担金61,174,000円、他会計出資金2,806,467,173円でございます。

支出におきましては、864,089,893円(945,629,479円)で、この主なものは、配水設備費548,552,862円、配水施設費 62,708,221円で、収支差引の不足額は、ございませんでした。

以上が令和4年度水道事業会計決算の概要でございます。今後につきましても人口の減少、需要者の節水傾向により給水収益は引き続き減少していくものと予測しております。

また、老朽施設の維持管理、改良及び更新事業の実施により厳しい財政状況を迎えるものと予測しております。従いまして、水道事業ビジョン及び施設整備計画に基づき将来においても健全な事業経営ができるよう事業を進めて参ります。

これからも安全でおいしい水を安定供給するため、経営の効率化を図りながら、健全財政並びにサービス水準の維持を念頭に、市民福祉の向上に努める所存でございます。

( ) 内は消費税込みの金額

2. 年度別口径別給水栓数

項目 \ 年度		29年	30年	元年	2年	3年	4年
一般用	13 mm	19,198	19,059	18,865	18,786	18,695	18,593
	20 mm	12,722	12,962	13,196	13,535	13,825	14,137
	25 mm	854	914	923	863	861	862
	40 mm	183	232	238	184	184	184
	50 mm	65	94	95	69	68	71
	75 mm	34	39	38	34	34	35
	100 mm	16	18	18	16	16	16
	150 mm	1	2	2	1	1	1
	小計	33,073	33,320	33,375	33,488	33,684	33,899
臨時用	13 mm	0	0	0	0	0	0
	20 mm	0	0	0	0	0	0
	25 mm	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0
湯屋用	40 mm	1	1	1	1	1	1
	50 mm	1	1	1	1	1	1
	75 mm	1	1	1	1	1	1
	小計	3	3	3	3	3	3
合計		33,076	33,323	33,378	33,491	33,687	33,902

3. 月別口径別有収水量

(単位：m<sup>3</sup>)

年月	口径											湯屋用	合計
	13 mm	20 mm	25 mm	40 mm	50 mm	75 mm	100 mm	150 mm	臨時用	湯屋用	合計		
平成29年度	4,045,839	3,559,759	533,856	538,966	302,319	370,821	298,079	15,836	—	—	37,544	9,703,019	
平成30年度	3,935,726	3,577,544	502,712	523,007	320,613	489,658	343,327	18,934	—	—	37,791	9,749,312	
令和元年度	3,830,754	3,614,839	490,609	527,130	318,732	554,851	284,079	13,424	—	—	35,867	9,670,285	
令和2年度	3,802,765	3,747,044	490,762	488,052	282,428	476,267	279,402	10,858	—	—	32,913	9,610,491	
令和3年度	3,716,220	3,749,166	454,034	497,153	270,889	329,796	248,317	12,497	—	—	33,076	9,311,148	
令和4年度	3,436,849	3,616,280	436,125	485,114	304,042	297,266	296,564	10,860	—	—	29,954	8,913,054	
月別内訳	4月	298,309	339,465	28,480	34,078	23,142	23,965	14,816	886	—	—	5,684	768,825
	5月	298,674	276,558	43,862	45,749	20,532	22,888	18,545	919	—	—	273	728,000
	6月	307,323	345,995	29,351	36,198	25,695	27,689	25,088	1,465	—	—	5,064	803,868
	7月	296,563	271,423	43,703	47,160	24,276	26,075	33,345	1,051	—	—	237	743,833
	8月	274,769	316,122	30,595	36,322	27,428	25,449	28,353	1,574	—	—	4,543	745,155
	9月	268,473	259,629	46,100	47,096	25,729	28,891	34,637	767	—	—	214	711,536
	10月	263,688	310,123	27,631	34,552	26,361	26,888	29,140	669	—	—	4,197	723,249
	11月	256,155	256,595	42,541	44,692	25,122	28,054	28,858	644	—	—	238	682,899
	12月	299,920	343,812	27,824	34,840	29,070	24,622	20,155	782	—	—	4,595	785,620
	1月	294,111	282,916	44,190	43,164	24,003	18,248	21,300	756	—	—	214	728,902
	2月	308,374	354,049	28,955	39,105	28,399	23,613	21,409	726	—	—	4,462	809,092
	3月	270,490	259,593	42,893	42,158	24,285	20,884	20,918	621	—	—	233	682,075

4. 給水収益及び収納状況（年度末現在）

項目	区分	調 定		収 入		収納率
		件 数	金 額	件 数	金 額	
	平成29年度	203,336	1,955,179,687	188,437	1,816,915,156	92.928%
	平成30年度	203,076	1,981,351,185	187,929	1,843,146,621	93.025%
	令和元年度	204,106	1,984,782,137	189,188	1,843,968,578	92.905%
	令和2年度	194,446	1,867,405,764	179,759	1,732,775,635	92.791%
	令和3年度	205,882	1,912,126,724	191,251	1,780,904,479	93.137%
	令和4年度	184,336	1,623,399,520	169,345	1,491,276,556	91.861%
月 別 内 訳	4月	18,979	156,344,883	126	822,608	
	5月	15,545	150,537,095	20,065	173,435,246	
	6月	18,941	164,577,166	17,028	159,937,901	
	7月	15,495	155,859,357	16,833	150,205,707	
	8月	12,906	95,042,217	15,899	147,427,785	
	9月	10,421	97,132,083	12,335	96,974,307	
	10月	12,629	91,952,453	11,479	98,963,670	
	11月	10,229	91,371,532	10,930	83,181,455	
	12月	18,938	160,927,528	12,796	112,852,956	
	1月	15,545	151,130,269	15,007	129,391,628	
	2月	19,004	165,760,015	15,020	143,664,271	
	3月	15,704	142,764,922	21,827	194,419,022	

（消費税含む）

5. 過年度分の収入及び未収状況（年度末現在）

年度	区分	調 定		収 入		未 収		収納率
		件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	
	平成29年度	15,571	146,268,057	14,407	133,420,974	1,164	12,847,083	91.217%
	平成30年度	15,801	146,538,624	14,836	135,570,944	965	10,967,680	92.516%
	令和元年度	15,742	145,476,724	14,890	137,147,597	852	8,329,127	94.275%
	令和2年度	15,650	147,576,049	14,886	141,108,122	764	6,467,927	95.617%
	令和3年度	15,343	137,123,033	14,614	133,988,452	729	3,134,581	97.714%
	令和4年度	15,144	133,137,267	14,492	130,698,612	652	2,438,655	98.168%

（消費税含む）

5-1. 給水停止執行状況表（年度末現在）

年度	件数	執行状況						未解除
		予告通知	事前通知	対象	停止	当日解除	後日解除	
平成29年度		1,653	766	341	210	96	82	32
平成30年度		1,596	803	297	191	69	96	26
令和元年度		1,366	749	254	159	58	82	19
令和2年度		1,052	541	213	145	52	76	16
令和3年度		1,172	735	228	129	40	72	19
令和4年度		992	664	217	132	42	78	13



6. 新設開栓状況

年度		(単位：個)			
口径	元	2	3	4	
13 mm	13	5	23	11	
20 mm	128	119	220	278	
25 mm	8	7	6	2	
40 mm	1	3	0	0	
50 mm	1	1	1	0	
75 mm	0	0	0	0	
計	151	135	250	291	

新設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
13	1	2	0	0	0	0	1	1	1	3	1	0	11
20	9	9	39	8	21	19	25	12	18	52	40	26	278
25	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	11	39	8	21	20	26	13	20	56	41	26	291

7. 開閉栓状況

年度		(単位：件)			
種別	元	2	3	4	
新設開栓	151	135	250	291	
既設開栓	2,608	2,416	3,026	2,948	
使用者変更	806	655	602	606	
閉栓	2,454	1,859	1,835	1,852	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
既設開栓	310	258	251	236	251	239	237	207	241	210	249	259	2948
使用者変更	42	47	56	40	59	47	40	53	49	69	59	45	606
閉栓	143	153	153	168	146	162	164	166	142	160	144	151	1852

8. 検定満期による量水器取替状況

年度		(単位：個)			
口径	元	2	3	4	
13 mm	2,961	2,785	2,505	2,471	
20 mm	1,518	1,738	1,949	1,299	
25 mm	164	130	126	98	
40 mm	37	34	19	45	
50 mm	12	19	15	9	
75 mm	9	9	9	5	
100 mm	5	5	1	0	
150 mm	1	0	0	0	
計	4,707	4,720	4,624	3,927	

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
13	201	195	246	201	233	292	243	270	322	10	198	60	2471
20	59	166	69	137	138	98	127	132	60	102	137	74	1299
25	7	18	8	4	8	8	5	8	11	11	4	6	98
40	6	5	4	4	5	6	5	3	0	1	2	4	45
50	0	0	0	3	2	2	1	0	0	1	0	0	9
75	0	0	0	0	1	3	0	0	0	1	0	0	5
100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	273	384	327	349	387	409	381	413	393	126	341	144	3927

9. 給水装置工事施工状況（令和4年度）

（単位：個）

月	区分	新 設	増 設	口径変更	止水栓止	合 計
4.4		28	19	12	15	74
5		20	8	7	6	41
6		13	12	6	4	35
7		15	7	9	6	37
8		46	18	12	4	80
9		44	13	7	2	66
10		44	8	22	6	80
11		8	15	12	8	43
12		29	9	1	0	39
5.1		12	8	9	5	34
2		12	13	2	9	36
3		9	7	1	0	17
合 計		280	137	100	65	582

9-1. 漏水減免状況表（年度末現在）

年度	件数	減免水量（m <sup>3</sup> ）	減免金額（円）
平成29年度	332	22,465	5,655,248
平成30年度	293	21,905	5,392,640
令和元年度	276	13,497	3,082,608
令和2年度	335	21,374	5,255,740
令和3年度	281	12,233	2,953,508
令和4年度	285	11,832	2,785,721

10. 修理件数の状況

(1) 年度別修理件数

(単位：件)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
29年度	34	48	40	43	37	37	41	36	56	37	46	34	489	40.75
30年度	37	42	41	45	47	36	51	39	39	21	39	30	467	38.92
元年度	32	29	49	42	34	42	45	47	33	28	50	31	462	38.50
2年度	35	29	34	37	54	43	38	36	44	40	42	37	469	39.08
3年度	46	32	42	42	38	36	41	35	34	35	57	32	470	39.17
4年度	25	35	32	40	33	40	36	35	46	35	56	53	466	38.83

(2) 修理件数の内訳 (令和4年度)

(単位：件)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配水管	1		1		1					6		3	12
補助配水管			3	1	1			1			2	1	11
引込管	1	6	7	13	5	15	12	7	11	3	6	8	94
仕切弁					1					1			2
消火栓											24		24
消火栓BOX調整			1		1				2				4
仕切栓BOX調整					1				1			1	3
空気弁・止水栓BOX調整			1										1
バルブ	1												1
メーター													0
止水栓不良	20	26	16	20	22	21	22	26	28	25	22	38	286
分水栓	2	1	1	6		2		1	2		1	2	18
舗装		1	1								1		3
空気弁			1										1
その他		1			1	1	1		2				6
計	25	35	32	40	33	40	36	35	46	35	56	53	466
金額	1,205,886	1,991,000	3,486,725	3,855,027	2,233,704	4,098,050	3,467,013	1,837,385	3,979,063	4,721,563	2,062,830	4,014,417	36,952,663

1 1. 分担金収入額（令和4年度）

(ア) 口径別分担金収入明細表（新設）

（単位：円）

月	口径	φ 13		φ 20		φ 25		φ 40	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R4.4		1	220,000	20	4,400,000				
5		1	220,000	23	5,060,000				
6				19	4,180,000				
7				20	4,400,000				
8		1	220,000	20	4,400,000				
9				33	7,260,000				
10		3	660,000	34	7,480,000				
11		2	440,000	52	11,440,000				
12		1	220,000	12	2,640,000			1	1,267,200
R5.1				26	5,720,000				
2				6	1,320,000				
3				13	2,860,000				
計		9	1,980,000	278	61,160,000			1	1,267,200

（消費税含む）

（単位：円）

月	口径	φ 50		φ 75		その他		小計（ア）	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R4.4								21	4,620,000
5								24	5,280,000
6								19	4,180,000
7								20	4,400,000
8								21	4,620,000
9								33	7,260,000
10								37	8,140,000
11								54	11,880,000
12								14	4,127,200
R5.1								26	5,720,000
2								6	1,320,000
3								13	2,860,000
計								288	64,407,200

（消費税含む）

(イ) 口径別分担金収入明細表 (口径変更)

(単位：円)

月	口径	φ 13～20		φ 13～25		その他		小計(イ)	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	R4.4			1	176,000			1	176,000
	5					1	871,200	1	871,200
	6								
	7			1	176,000			1	176,000
	8								
	9					1	1,047,200	1	1,047,200
	10								
	11								
	12								
	R5.1								
	2					1	613,800	1	613,800
	3								
	計			2	352,000	3	2,532,200	5	2,884,200

※ 20以下の給水分担金は一律のφ13～20の場合はなし。それ以外は差額 (消費税含む)

(ウ) 口径別分担金収入明細合計表 (ア+イ)

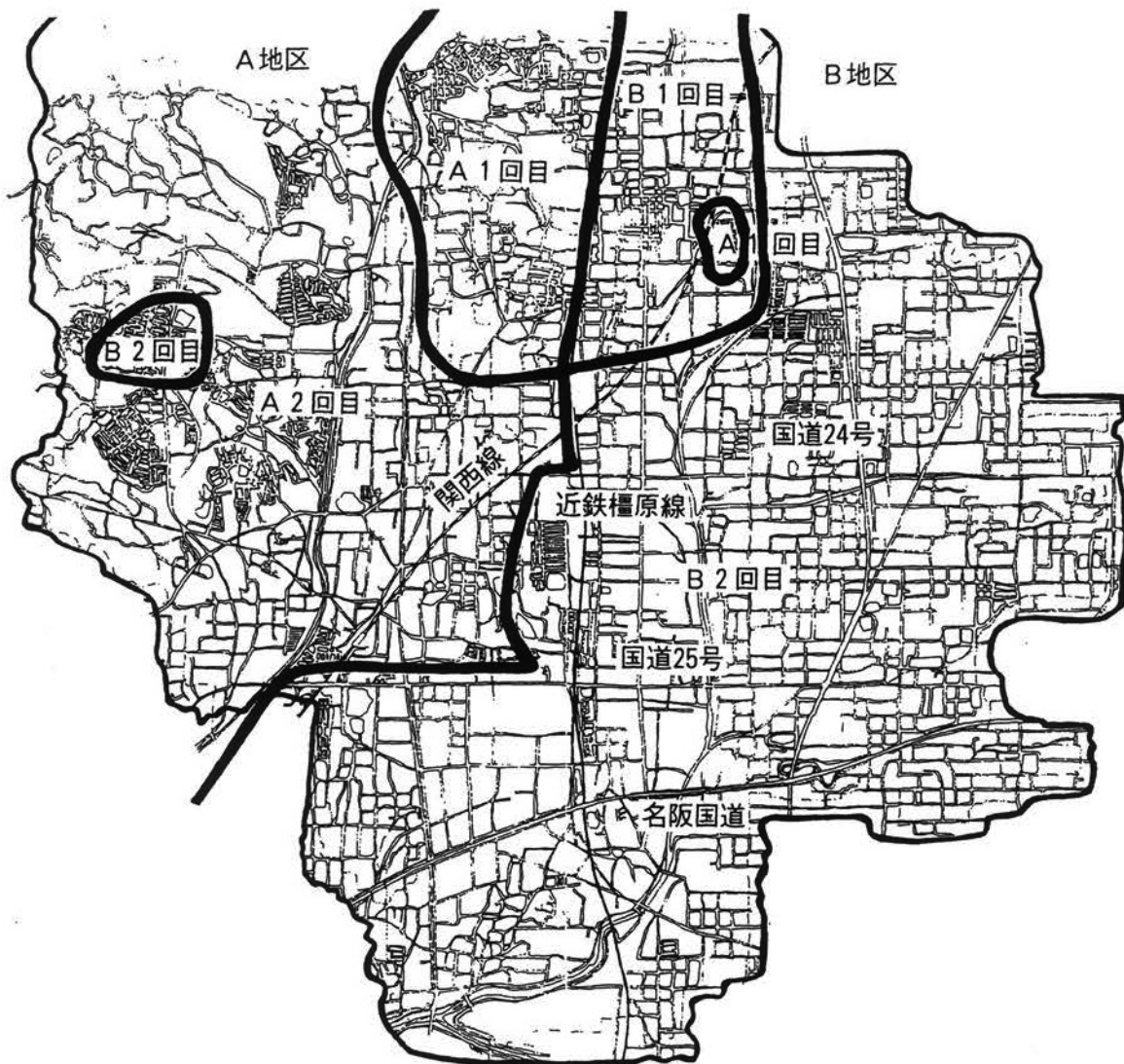
(単位：円)

月	口径	合計(ア+イ)	
		件数	金額
	R4.4	22	4,796,000
	5	25	6,151,200
	6	19	4,180,000
	7	21	4,576,000
	8	21	4,620,000
	9	34	8,307,200
	10	37	8,140,000
	11	54	11,880,000
	12	14	4,127,200
	R5.1	26	5,720,000
	2	7	1,933,800
	3	13	2,860,000
	計	293	67,291,400

(消費税含む)

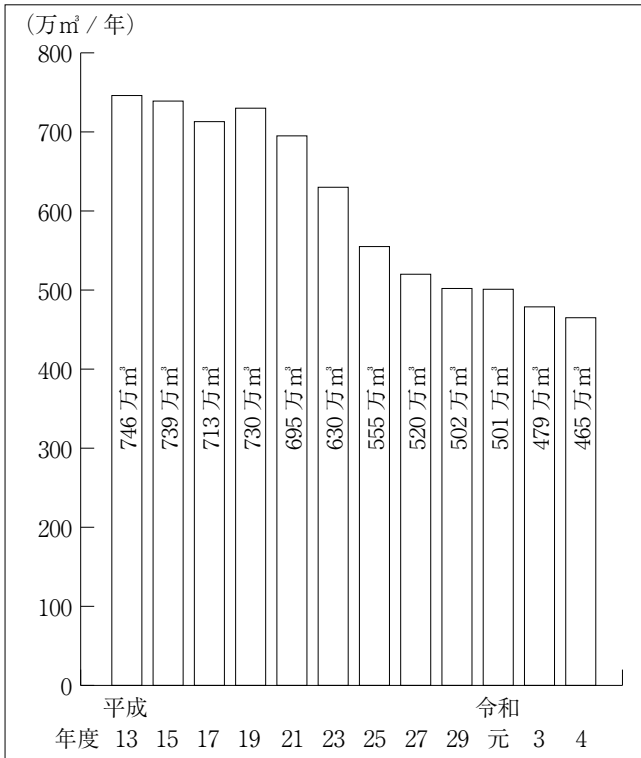
1 2. 地区別検針・調定サイクル

区分	地 区	検 針 日	調 定 日	
毎月検針	大口使用者	毎月 7日	毎月 15日	
	工業団地、大口使用者	毎月 19日	毎月 27日	
隔月検針	A地区	1回目 調定地区	偶数月 1日～ 8日	偶数月 15日
		2回目 "	" 12日～21日	偶数月 27日
	B地区	1回目 調定地区	奇数月 1日～ 8日	奇数月 15日
		2回目 "	" 12日～21日	奇数月 27日

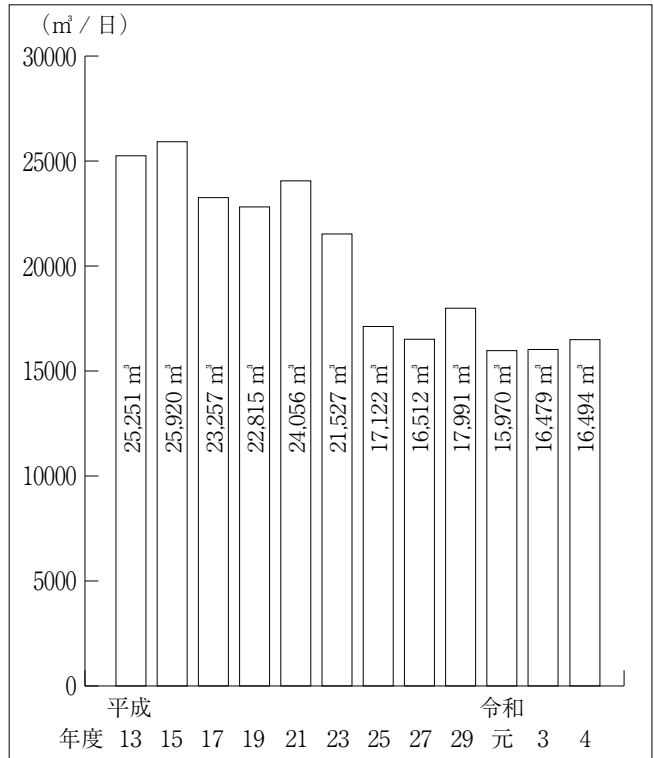


### 1.3. 県営水道・配水量の推移

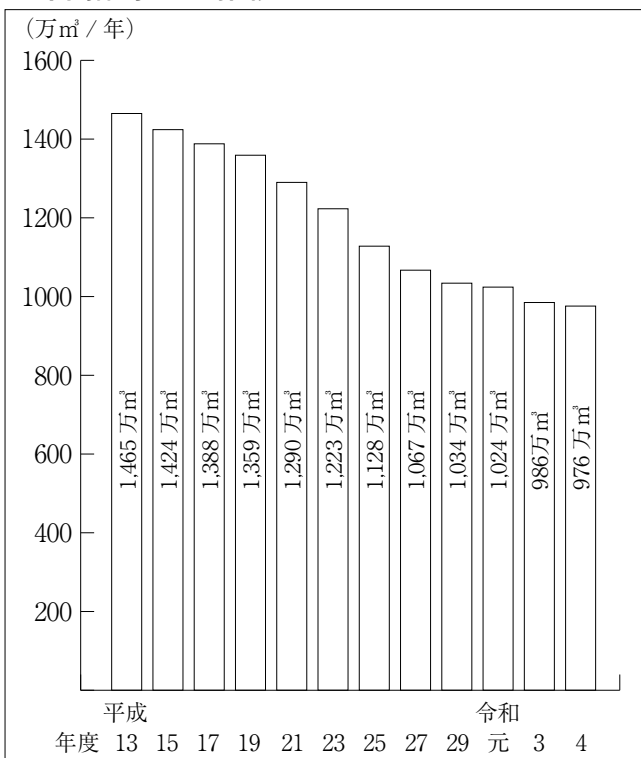
■ 県営水道年間受水量



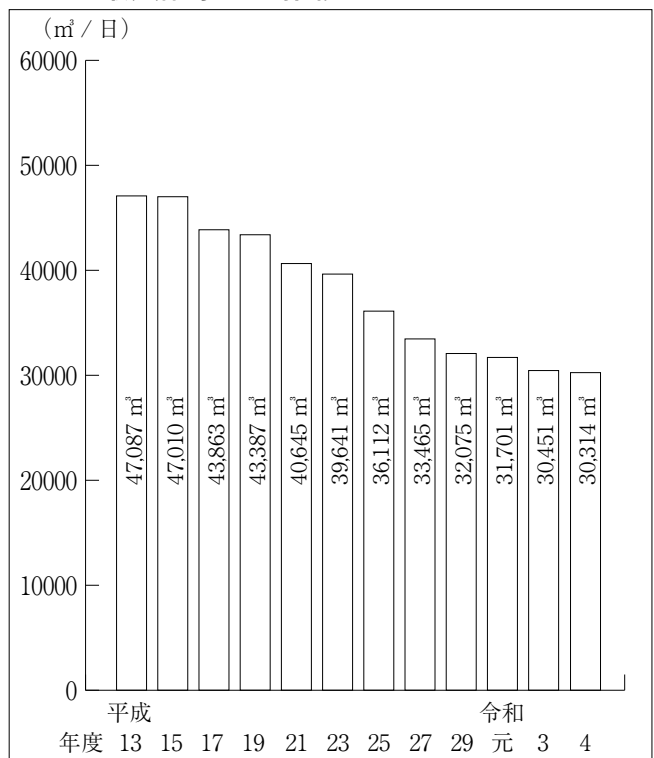
■ 県営水道1日最大受水量



■ 年間配水量の推移



■ 1日最大配水量の推移



#### 1 4. 料金調定システムの改善経緯

- 1) 水道創設（昭和17年4月）時の料金調定は、すべて当時の水道課で業務処理が行われていた。

しかし、昭和40年前後からの、大型宅地開発による給水戸数の急増による料金計算業務の拡大に対応するため、料金計算業務の改善と省力化が急務となった。

こうした中で、昭和46年4月に料金計算業務をそれまでの局内処理から、バッチ処理による調定業務の委託を実施し、その後数回にわたってシステムの改善を行い、昭和62年9月には、小型OCR機器（検針データ、料金収納データの入力機器及び検針票、原符の読み取り）が導入されたことにより、今日の料金調定業務の体系的基礎を築いた。

又、料金徴収面では使用者の利便と徴収事務の省力化のために、昭和44年8月に口座振替制を導入する一方、検針業務の隔月制に伴い集金業務も毎月集金から隔月集金制に切り替え、経費の削減と事務改善が図られた。

- 2) 検針業務については、昭和42年当時に5名の検針担当者を配置していたが、拡張事業が第3次から第4次へと移行し、莫大な資金投下によって水道経営が著しく悪化したことにより、諸経費の削減策の一環として、昭和46年4月に毎月検針から隔月検針に改めると同時に、検針業務の民間委託化に踏み切り、現在に至っている。

- 3) しかし、公共下水道の普及が広がるに従い、料金調定業務に占める下水道関連業務の比重が高まるにつれ、これまでのバッチ処理方式では、能力に限界が見えはじめた。他方、転出、転入などによる開閉栓の窓口受付事務や、お客様からの検針や料金関係の問い合わせに対しても、バッチ方式では迅速に対応できないなどの問題点も浮上してきた。

- 4) このような問題は、バッチ処理による料金計算システムでは、多くのプログラムを必要とし、プログラムの着膨れ現象が起きると共に、フロッピーの読み取り、書き込みに時間的ロスが生じてきたことに起因している。

又、料金未収状況や支払状況における最新情報の欠如、使用量等の年間データ保存不可などの欠陥もあり、お客様に対する質的サービスの向上と業務処理の効率化を図る上でも克服すべき課題となっていた。

- 5) こうした経緯を踏まえ、平成6年度より、バッチ処理システムから、オンライン処理システム方式に移行するための全面見直しが進められた。

又、これまで、転出、転入などによる開閉栓の窓口業務は、使用者の給水場所把握のために、お客様番号入りの拡大した手書きの市内地図で対応していた。しかし、オンライン処理システムに移行に伴い、給水場所把握の迅速化と正確性を期すために、お客様番号入りの地図情報システムも導入することになった。

さらに、検針業務についても、検針カード処理方式を廃止し、ハンディターミナル方式に切り替えていくことも決定された。こうして、平成7年4月より、オンライン処理システムに移行するための、プログラムの作成及び入力作業を計算センターへ委託し、平成8年4月より、新調定システムによって料金計算業務を行うこととなった。又、このシステムの変更に合わせて、当初の計画通り、地図情報システムの導入やハンディターミナル方式による検針も実施された。これによって、滞納整理、閉栓による精算処理、さらには、検定満期による量水器取替業務の迅速化が可能となると共に、経費の節減やサービスの向上にも大きく寄与することとなった。

- 6) 平成23年度から順次機器を更新し、平成25年度からWINDOWS版クライアントサーバにて運用を開始した。平成27年度12月より、口座振替を磁気テープから伝送に移行した。

- 7) 平成2年度から検針等の機器がハンディターミナルからスマートデバイスに変更となった。



15. 電子計算処理業務の稼働状況

(1) 各課電子計算処理業務状況一覧表 [ 業務課 ]

	異動・照会	料金調定	料金収納	給水台帳	企業会計管理	時間外勤務手当	旅費	契約管理	業務統計	予算処理(給与費)	固定資産台帳管理
オフィスサーバ処理	異動・照会	開閉栓、変更、水栓情報更新、新照会、需要家情報更新、新照会、情報更新、検針新照会	請求方法変更、送付先変更、入金に伴う消込、入金状況照会、口座情報照会	水栓情報、申請情報、指定工事業者情報、水栓・申請者履歴情報、新設・増設・口径変更・止水栓止・撤去・受水槽の異動、給水分担金等の作成、修繕工事伝票の作成	収入予算執行照会、支出予算執行照会、未収金照会、補助元帳照会、債権者支払状況照会、入金・支出・振替データ入力						
	帳票出力	開閉栓日報、調定報告書、異動リスト、臨時集計表、等	納付書、催告書、督促状、滞納者一覧表、日計表、収納状況報告書、臨時集計表、等	給水受付件数報告書、受水槽一覧表							
パソコン処理	異動・照会					給料・手当等、個人データの登録・変更	等級等個人のデータ登録・変更	契約名・契約者名・金額等のデータ入力・変更	給料・手当・等級・勤務年数・昇給等個人のデータ入力・変更	給料・手当・等級・勤務年数・昇給等個人のデータ入力・変更	所得除却試算のデータ入力
	帳票出力	調定明細書	収納報告書			金額計算	金額の計算	契約状況一覧表	業務統計の作成	予算作成	固定資産除却報告書、固定資産総括表、部門別固定資産集計表

[業務課]

	貯蔵品管理	有収水量及び調定額、月別口径別集計表	企業債台帳	財務諸表集計	予算集計	定計	金融機関集計	別計
パソコン処理	異動・照会 出入庫データの入力	水量、調定のデータ入力	償還日データ入力	予算額の入力	予算要求額の入力		金融機関別 入金出金額の入力	
	帳票出力 在庫伝票、 量水器入庫評価表、出庫 伝票、量水器出庫評価 表、貯蔵品保有個数及び 振替金額明細表	口径別料金調定表	企業債償還明細書	財務諸表精算表、会計資 金計画	予算査定表		日報、月報	

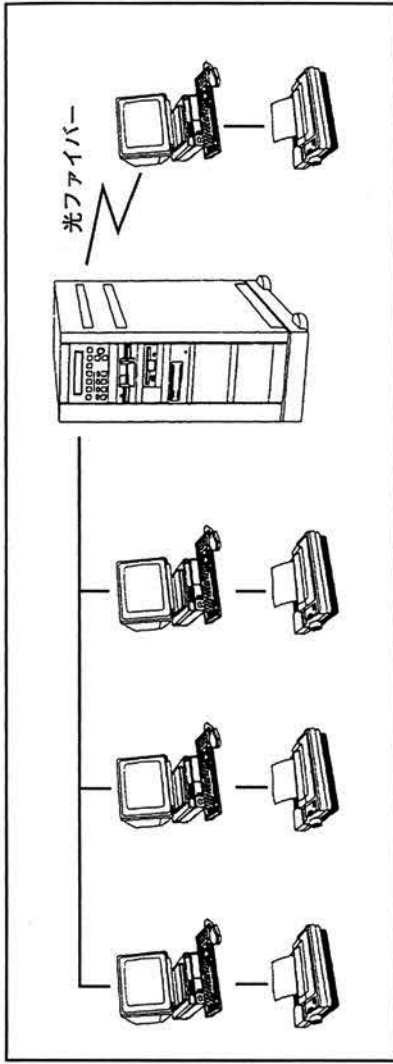
[工務課]

	工事設計・積算、 新工事設計・積算	修繕工事積算	管網計	管網計	修繕工事費の納入通知 書兼領収書の発行処理	その他の業務
パソコン処理	異動・照会 設計書	単価改定、積算、数量計 算、業者異動	配水データ処理	修繕工事費の登録、変更	代価表作成 竣工図の登録 給水戸番図の表示	
	帳票出力	工事費積算書、施工明細 書				

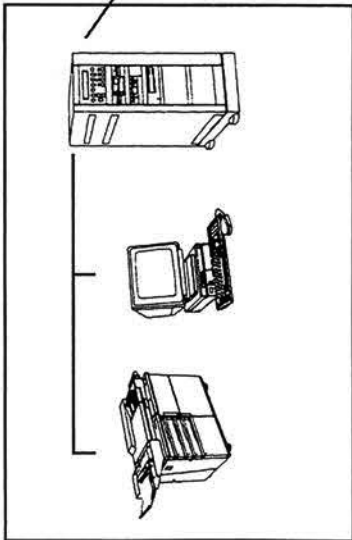
[工務課浄水場]

	浄水管理システム	給水栓日報及び 浄水統計システム
パソコン処理	異動・照会 日報入力・修正 月報表示・グラフ表示 勤務者登録・修正・削除 日報・月報管理 データ管理	検査日報出力・修正 採水箇所入力・修正・削 除・表示順変更 月間統計表グラフ表示 年間統計表グラフ表示
	帳票出力 日報 データ 月報	検査日報出力 月間統計表全出力・選択出力 年間統計表全出力・選択出力

会計システム

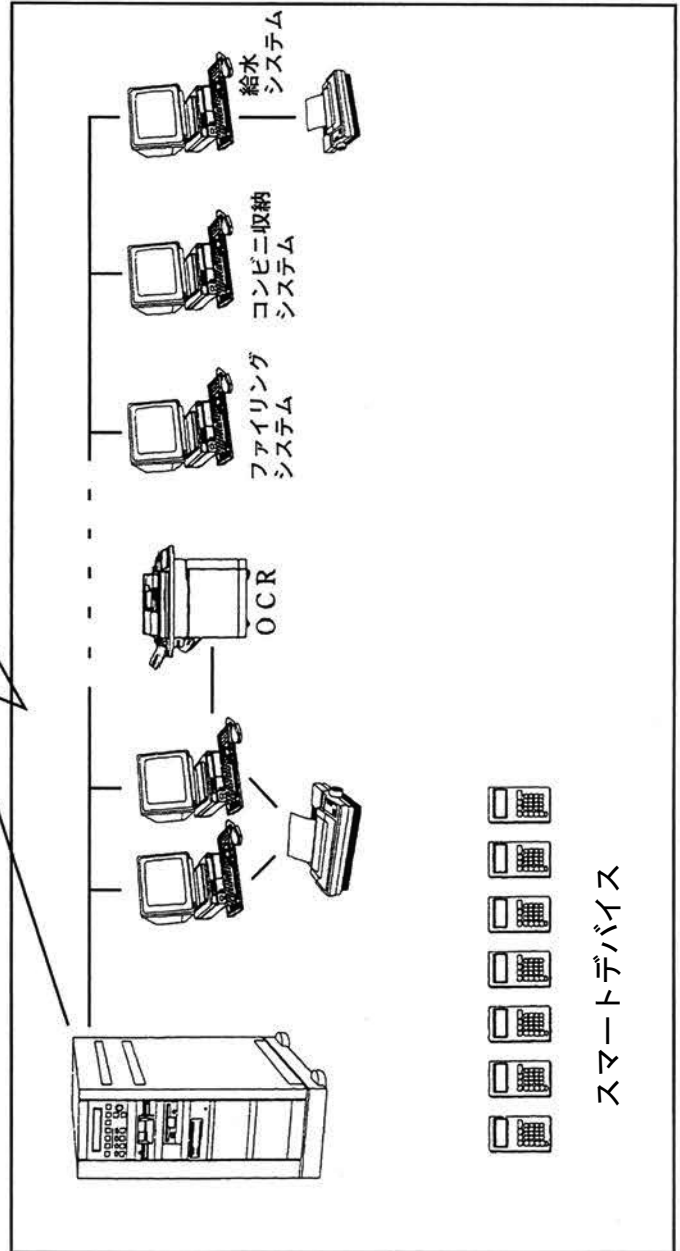


計算センター



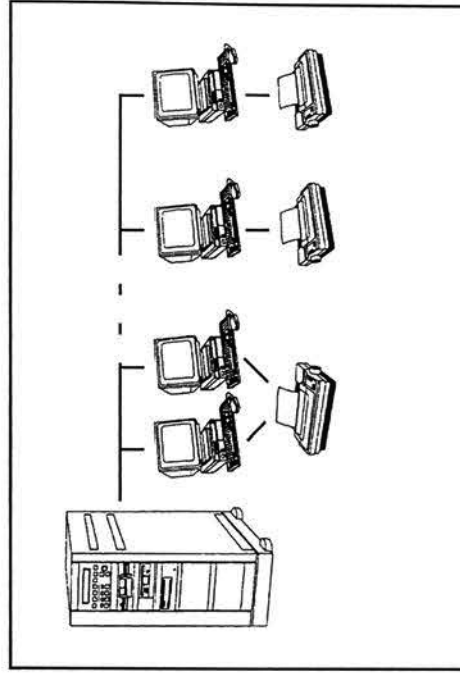
INS64

調定収納システム



スマートデバイス

地図システム



16. 水質検査

(ア) 北郡山浄水場内給水栓水質検査結果

	検査項目	最大値	最小値	平均値	基準値
1	一般細菌	0	0	0	100個/ml以下
2	大腸菌	不検出	不検出	不検出	検出しないこと
3	カドミウム及びその化合物			0.0003未満	0.003mg/l以下
4	水銀及びその化合物			0.00005未満	0.0005mg/l以下
5	セレン及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
6	鉛及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
7	砒素及びその化合物			0.001未満	0.01mg/l以下
8	六価クロム化合物			0.005未満	0.05mg/l以下
9	亜硝酸態窒素			0.004未満	0.04mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.44	0.40	0.41	10mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	0.07	0.06	0.07	0.8mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物			0.01	1.0mg/l以下
14	四塩化炭素			0.0002未満	0.002mg/l以下
15	1,4-ジオキサン			0.005未満	0.05mg/l以下
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン			0.002未満	0.04mg/l以下
17	ジクロロメタン			0.001未満	0.02mg/l以下
18	テトラクロロエチレン			0.001未満	0.01mg/l以下
19	トリクロロエチレン			0.001未満	0.03mg/l以下
20	ベンゼン			0.001未満	0.01mg/l以下
21	塩素酸	0.17	0.06未満	0.06	0.6mg/l以下
22	クロロ酢酸	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02mg/l以下
23	クロロホルム	0.002	0.001未満	0.00175	0.06mg/l以下
24	ジクロロ酢酸	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03mg/l以下
25	ジブromクロロメタン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.1mg/l以下
26	臭素酸	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
27	総トリハロメタン	0.006	0.001未満	0.0055	0.1mg/l以下
28	トリクロロ酢酸	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03mg/l以下
29	ブromジクロロメタン	0.002	0.001未満	0.002	0.03mg/l以下
30	ブromホルム	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.09mg/l以下
31	ホルムアルデヒド	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.08mg/l以下
32	亜鉛及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
33	アルミニウム及びその化合物			0.02	0.2mg/l以下
34	鉄及びその化合物	0.007	0.005未満	0.005未満	0.3mg/l以下
35	銅及びその化合物			0.005未満	1.0mg/l以下
36	ナトリウム及びその化合物	17.7	16.6	17.2	200mg/l以下
37	マンガン及びその化合物			0.001未満	0.05mg/l以下
38	塩化物イオン	9.5	7.9	8.6	200mg/l以下
39	カルシウム、マグネシウム等(総硬度)	79	67	73	300mg/l以下
40	蒸発残留物	189	156	176.75	500mg/l以下
41	陰イオン界面活性剤			0.02未満	0.2mg/l以下
42	ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
43	2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
44	非イオン界面活性剤			0.005未満	0.02mg/l以下
45	フェノール類			0.0005未満	0.005mg/l以下
46	全有機炭素(TOC)	0.5	0.4	0.425	3.0mg/l以下
47	pH値	7.4	7	7.2	5.8~8.6
48	味	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
49	臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
50	色度	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5度以下
51	濁度	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2度以下

分析機関：奈良広域水質検査センター組合  
年4回分析の検査結果です。

平均値のみの数値は年1回分析結果です。

## (イ) 昭和浄水場内給水栓水質検査結果

	検 査 項 目	最大値	最小値	平均値	基 準 値
1	一 般 細 菌	0	0	0	100個/ml以下
2	大 腸 菌	不検出	不検出	不検出	検出しないこと
3	カドミウム及びその化合物			0.0003未満	0.003mg/l以下
4	水 銀 及 び 其 の 化 合 物			0.00005未満	0.0005mg/l以下
5	セ レ ン 及 び 其 の 化 合 物			0.001未満	0.01mg/l以下
6	鉛 及 び 其 の 化 合 物			0.001未満	0.01mg/l以下
7	砒 素 及 び 其 の 化 合 物	0.003	0.003	0.003	0.01mg/l以下
8	六価クロム化合物			0.005未満	0.05mg/l以下
9	亜硝酸態窒素			0.004未満	0.04mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.18	0.09	0.12	10mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	0.06	0.05未満	0.05未満	0.8mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物			0.06	1.0mg/l以下
14	四 塩 化 炭 素			0.0002未満	0.002mg/l以下
15	1,4-ジオキサン			0.005未満	0.05mg/l以下
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン			0.002未満	0.04mg/l以下
17	ジクロロメタン			0.001未満	0.02mg/l以下
18	テトラクロロエチレン			0.001未満	0.01mg/l以下
19	トリクロロエチレン			0.001未満	0.03mg/l以下
20	ベンゼン			0.001未満	0.01mg/l以下
21	塩 素 酸	0.32	0.18	0.23	0.6mg/l以下
22	ク ロ ロ 酢 酸	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02mg/l以下
23	ク ロ ロ ホ ル ム	0.021	0.014	0.017	0.06mg/l以下
24	ジ ク ロ ロ 酢 酸	0.007	0.007	0.007	0.03mg/l以下
25	ジブロモクロロメタン	0.006	0.005	0.005	0.1mg/l以下
26	臭 素 酸	0.002	0.001	0.00175	0.01mg/l以下
27	総トリハロメタン	0.039	0.028	0.0325	0.1mg/l以下
28	トリクロロ酢酸	0.011	0.007	0.010	0.03mg/l以下
29	ブロモジクロロメタン	0.012	0.009	0.01025	0.03mg/l以下
30	ブ ロ モ ホ ル ム	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.09mg/l以下
31	ホルムアルデヒド	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.08mg/l以下
32	亜 鉛 及 び 其 の 化 合 物			0.005未満	1.0mg/l以下
33	アルミニウム及びその化合物			0.03	0.2mg/l以下
34	鉄 及 び 其 の 化 合 物	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.3mg/l以下
35	銅 及 び 其 の 化 合 物			0.005未満	1.0mg/l以下
36	ナトリウム及びその化合物	34.8	32.9	33.85	200mg/l以下
37	マンガン及びその化合物			0.001未満	0.05mg/l以下
38	塩 化 物 イ オ ン	27.2	24.8	26.1	200mg/l以下
39	カルシウム、マグネシウム等(総硬度)	62	52	57	300mg/l以下
40	蒸 発 残 留 物	202	166	188.25	500mg/l以下
41	陰イオン界面活性剤			0.02未満	0.2mg/l以下
42	ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
43	2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001mg/l以下
44	非イオン界面活性剤			0.005未満	0.02mg/l以下
45	フェノール類			0.0005未満	0.005mg/l以下
46	全有機炭素(TOC)	1.0	0.8	0.9	3.0mg/l以下
47	p H 値	7.6	7.4	7.45	5.8~8.6
48	味	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
49	臭 気	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
50	色 度	1未満	1未満	1未満	5度以下
51	濁 度	0.1未満	0.1未満	0.1未満	2度以下

分析機関：奈良広域水質検査センター組合  
年4回分析の検査結果です。

平均値のみの数値は年1回分析結果です。

北郡山浄水場系井戸水質検査結果

令和4年度

は奈良広域水質検査センター委託

試験項目	単位	水質基準値	1号井 4月5日	4号井	5号井 5月10日	7号井	8号井 7月5日	9号井 8月2日	11号井 10月11日	13号井	着水井 9月7日
一般細菌	個/ml	100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌		検出しないこと	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/l	0.003以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.0003未満
水銀及びその化合物	mg/l	0.0005以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.00005未満
セレン及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
鉛及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
ヒ素及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001未満
六価クロム及びその化合物	mg/l	0.05以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.002未満
亜硝酸態窒素	mg/l	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満
硝酸態・亜硝酸態窒素	mg/l	10以下	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02未満
フッ素及びその化合物	mg/l	0.8以下	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.07	0.07	0.05未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ホウ素及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.01
四塩化炭素	mg/l	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ジス/トラフ-1,2-ジオキソリン	mg/l	0.04以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満
ジクロロメタン	mg/l	0.02以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
トリクロロエチレン	mg/l	0.03以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ベンゼン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満
亜鉛及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.005未満
アルミニウム及びその化合物	mg/l	0.2以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.01未満
鉄及びその化合物	mg/l	0.3以下	2.1	4.7	4.1	4.1	5.7	5.7	0.9	0.9	4.00
銅及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.005未満
マンガン及びその化合物	mg/l	0.05以下	0.85	0.58	0.63	0.63	0.7	0.7	0.4	0.4	0.61
ナトリウム及びその化合物	mg/l	200以下	16.6	14.5	15.4	15.4	18.0	18.0	16.3	16.3	16.4
硬度 (Ca, Mg)	mg/l	300以下	58	69	73	73	89	89	47	47	77
蒸発残留物	mg/l	500以下	173	194	194	194	221	221	146	146	187
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.02未満
非イオン界面活性剤	mg/l	0.02以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ジオキソミン	mg/l	0.00001以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.000001未満
2-メチルインボルネオール	mg/l	0.00001以下	---	---	---	---	---	---	---	---	0.000001未満
フェノール類	mg/l	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
有機物 (TOC)	mg/l	3以下	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3未満	0.3未満	0.6
塩化物イオン	mg/l	200以下	5.07	10.3	8.82	8.82	14.00	14.00	3.54	3.54	8.40
pH値		5.8~8.6	7.2	6.8	7.0	7.0	6.9	6.9	7.4	7.4	6.9
味		異常でないこと	---	---	---	---	---	---	---	---	---
臭気		異常でないこと	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭
色度	度	5以下	12.6	6.1	10.3	10.3	22.8	22.8	8.7	8.7	36.4
濁度	度	2以下	0.7	0.2	0.2	0.4	3.2	3.2	0.1未満	0.1未満	4.4
電気伝導度	μs/cm		198	223	231	231	272	272	164	164	228
アンモニア態窒素	mg/l		0.51	0.42	0.56	0.56	0	0	0.14	0.14	0.48

昭和浄水場系井戸水質検査結果		令和4年度					は奈良広域水質検査センター委託					その1	
試験項目	単位	水質基準値	1号井	2号井	3号井	4号井	5号井	6号井	7号井	8号井	9号井	10号井	11号井
採水日			4月5日	5月10日	6月14日		7月5日			10月11日	11月8日		
一般細菌	個/ml	100以下	0	0	0		0			0	0		
大腸菌		検出しないこと	不検出	不検出	不検出		不検出			不検出	不検出		
カドミウム及びその化合物	mg/l	0.003以下	---	---	---		---			---	---		
水銀及びその化合物	mg/l	0.0005以下	---	---	---		---			---	---		
セレン及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---		---			---	---		
鉛及びその化合物	mg/l	0.01以下	---	---	---		---			---	---		
ヒ素及びその化合物	mg/l	0.01以下	0.010	0.010	0.011		0.006			0.009	0.004		
六価クロム及びその化合物	mg/l	0.05以下	---	---	---		---			---	---		
亜硝酸態窒素	mg/l	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満		0.004未満			0.004未満	0.004未満		
硝酸態・亜硝酸態窒素	mg/l	10以下	0.02未満	0.05	0.04		0.09			0.06	0.07		
フッ素及びその化合物	mg/l	0.8以下	0.05未満	0.06	0.05未満		0.07			0.05未満	0.05未満		
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満			0.001未満	0.001未満		
ホウ素及びその化合物	mg/l	1.0以下	0.34	0.06	0.24		0.06			0.08	0.09		
四塩化炭素	mg/l	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		0.0002未満			0.0002未満	0.0002未満		
1,4-ジオキサン	mg/l	0.05以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満		0.005未満			0.005未満	0.005未満		
1,2-ジクロロエチレン	mg/l	0.04以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満			0.002未満	0.002未満		
ジクロロメタン	mg/l	0.02以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満			0.001未満	0.001未満		
テトラクロロエチレン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満			0.001未満	0.001未満		
トリクロロエチレン	mg/l	0.03以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満			0.001未満	0.001未満		
ベンゼン	mg/l	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満			0.001未満	0.001未満		
亜鉛及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---		---			---	---		
アルミニウム及びその化合物	mg/l	0.2以下	---	---	---		---			---	---		
鉄及びその化合物	mg/l	0.3以下	0.33	0.53	0.52		1.5			0.47	1.1		
銅及びその化合物	mg/l	1.0以下	---	---	---		---			---	---		
マンガン及びその化合物	mg/l	0.05以下	0.23	0.32	0.4		0.36			0.29	0.65		
ナトリウム及びその化合物	mg/l	200以下	206	38.2	104		40.9			51.4	---		
硬度(Ca,Mg)	mg/l	300以下	130	52	73		59			59	---		
蒸発残留物	mg/l	500以下	698	227	410		244			226	282		
陰イオン界面活性剤	mg/l	0.2以下	---	---	---		---			---	---		
非イオン界面活性剤	mg/l	0.02以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満		0.005未満			0.005未満	0.005未満		
ジエオスミン	mg/l	0.00001以下	---	---	---		---			---	---		
2-メチルインボルネオール	mg/l	0.00001以下	---	---	---		---			---	---		
フェノール類	mg/l	0.005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満			0.0005未満	0.0005未満		
有機物(TOC)	mg/l	3以下	1.9	1.2	2		1.3			1.5	1.5		
塩化物イオン	mg/l	200以下	328	14.8	110		10.9			20.3	25.8		
pH値		5.8~8.6	7.5	7.1	7.2		7			7.2	7		
味		異常でないこと	---	---	---		---			---	---		
臭気		異常でないこと	硫化水素臭	硫化水素臭	硫化水素臭		硫化水素臭			硫化水素臭	硫化水素臭		
色度	度	5以下	12.7	9.5	14.3		21.9			9.6	14.3		
濁度	度	2以下	0.2	0.1未満	0.4		1.7			0.1未満	3		
電気伝導度	μs/cm		1205	270	606		287			300	344		
アンモニア態窒素	mg/l		0.83	1.92	2.2		0.91			1.79	---		





## 17. 原水取水量（地下水）

（ア）北郡山浄水場

年度別及び月別原水取水量

（単位：m<sup>3</sup>）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	174,055	169,739	150,922	145,209	123,175	125,386
5月	129,747	177,944	161,267	149,875	140,467	128,053
6月	126,751	175,041	155,933	133,497	133,326	126,093
7月	184,408	183,548	159,460	114,087	148,697	127,291
8月	186,927	181,633	163,620	94,089	141,751	128,276
9月	171,040	173,479	158,285	116,934	131,973	122,692
10月	179,135	179,949	162,126	149,981	133,583	126,805
11月	172,961	167,586	155,813	142,586	130,471	116,028
12月	182,409	172,375	160,769	144,648	132,741	90,241
1月	178,018	164,278	156,079	143,769	128,411	118,608
2月	161,846	142,560	138,194	124,534	108,803	106,315
3月	172,514	153,422	148,046	127,506	126,902	116,291
合計	2,019,811	2,041,554	1,870,514	1,586,715	1,580,300	1,432,079

## (イ) 昭和浄水場

年度別及び月別原水取水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	299,800	318,686	330,046	359,444	371,896	327,342
5月	322,464	316,416	335,328	375,032	382,738	345,012
6月	311,140	308,138	309,732	387,186	359,720	353,740
7月	334,474	347,802	309,504	383,796	360,682	353,906
8月	314,260	349,964	331,552	392,460	349,686	358,763
9月	279,750	313,870	326,470	353,066	321,328	340,288
10月	289,390	348,374	354,244	368,616	332,640	357,090
11月	300,088	356,558	352,234	361,316	308,278	345,371
12月	314,630	358,932	366,592	375,206	323,736	374,826
1月	286,660	343,490	329,468	355,046	304,484	353,782
2月	269,834	310,346	323,116	327,758	307,126	322,152
3月	309,846	336,184	368,560	388,058	312,088	362,290
合計	3,632,336	4,008,760	4,036,846	4,426,984	4,034,402	4,194,562

## (ウ) 原水総取水量

年度別及び月別総原水取水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	473,855	488,425	480,968	504,653	495,071	452,728
5月	452,211	494,360	496,595	524,907	523,205	473,065
6月	437,891	483,179	465,665	520,683	493,046	479,833
7月	518,882	531,350	468,964	497,883	509,379	481,197
8月	501,187	531,597	495,172	486,549	491,437	487,039
9月	450,790	487,349	484,755	470,000	453,301	462,980
10月	468,525	528,323	516,370	518,597	466,223	483,895
11月	473,049	524,144	508,047	503,902	438,749	461,399
12月	497,039	531,307	527,361	519,854	456,477	465,067
1月	464,678	507,768	485,547	498,815	432,895	472,390
2月	431,680	452,906	461,310	452,292	415,929	428,467
3月	482,360	489,606	516,606	515,564	438,990	478,581
合計	5,652,147	6,050,314	5,907,360	6,013,699	5,614,702	5,626,641

## 18. 配水量

(ア) 北郡山浄水場

年度別及び月別配水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	161,151	155,872	140,377	129,566	120,886	125,386
5月	144,929	157,735	144,098	133,200	131,621	128,053
6月	135,436	155,234	137,869	129,713	128,779	126,093
7月	167,043	162,851	141,700	137,938	138,593	127,291
8月	168,858	157,340	143,126	143,310	135,788	128,276
9月	157,066	151,721	142,478	139,416	129,555	122,692
10月	165,540	156,920	148,138	141,849	132,781	126,805
11月	159,986	147,981	142,373	132,441	129,766	116,028
12月	167,932	153,271	145,537	135,875	132,930	90,241
1月	162,996	144,619	142,771	136,487	128,379	118,608
2月	147,830	129,898	128,253	121,686	110,324	106,315
3月	160,768	143,365	133,565	129,851	127,376	116,291
合計	1,899,535	1,816,807	1,690,285	1,611,332	1,546,778	1,432,079

## (イ) 昭和浄水場（矢田山流量含む）

年度別及び月別配水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	683,811	679,979	696,886	697,916	688,287	664,649
5月	736,718	697,475	722,389	725,446	713,944	688,593
6月	726,532	690,971	705,101	729,521	701,018	684,918
7月	757,187	774,605	735,698	742,035	720,200	701,426
8月	745,657	779,655	754,233	797,209	711,793	704,898
9月	698,081	715,369	718,404	733,707	676,247	686,248
10月	707,213	749,343	728,367	752,298	705,294	712,464
11月	674,480	721,750	702,310	723,911	677,121	683,885
12月	709,425	738,494	730,013	751,530	703,993	761,062
1月	686,408	734,234	694,093	735,078	692,411	703,774
2月	625,907	660,062	654,908	640,905	632,941	633,997
3月	687,106	711,930	706,185	707,593	690,082	699,953
合計	8,438,525	8,653,867	8,548,587	8,737,149	8,313,331	8,325,867

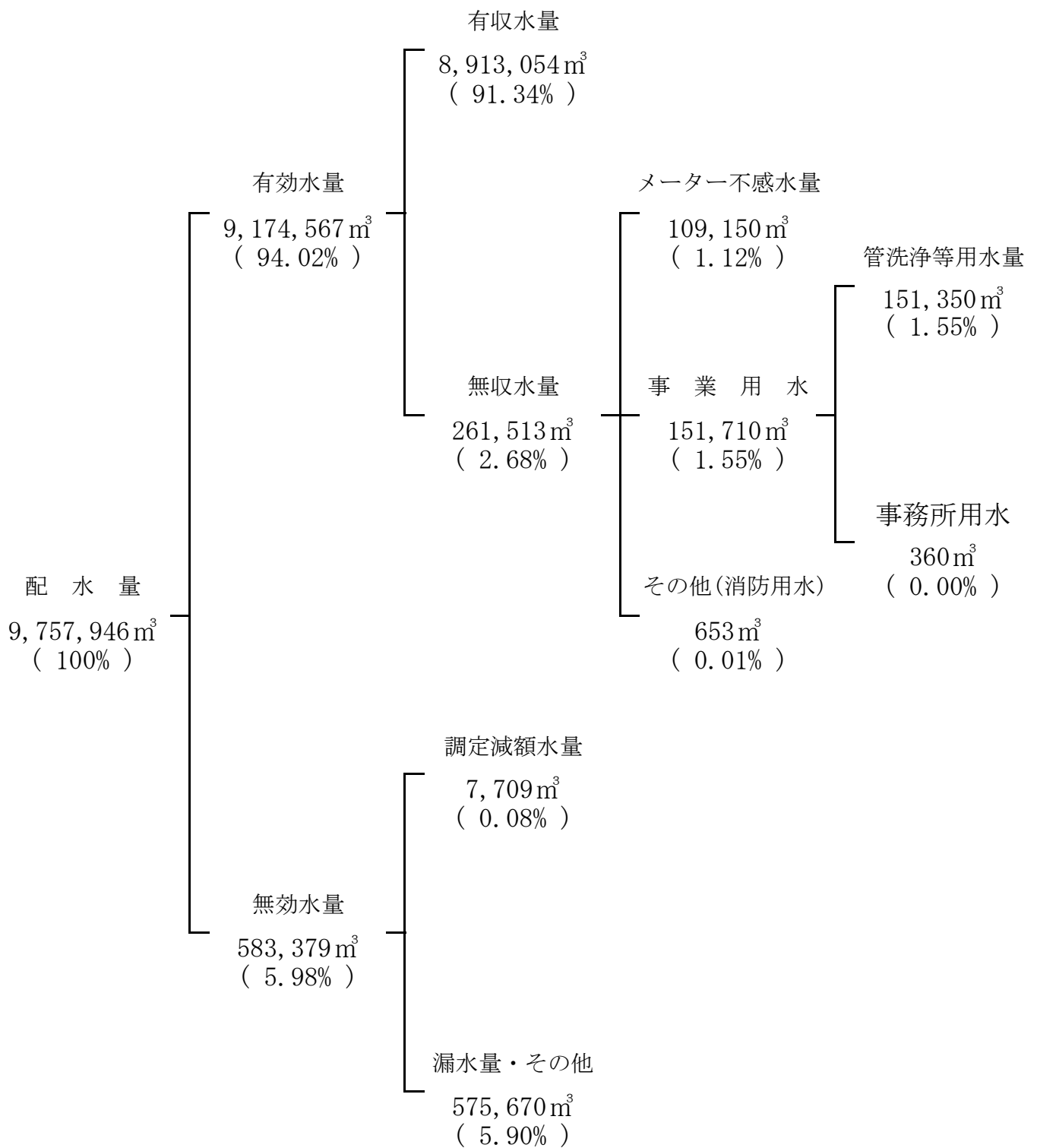
## (ウ) 総配水量

年度別及び月別総配水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	844,962	835,851	837,263	827,482	809,173	790,035
5月	881,647	855,210	866,487	858,646	845,565	816,646
6月	861,968	846,205	842,970	859,234	829,797	811,011
7月	924,230	937,456	877,398	879,973	858,793	828,717
8月	914,515	936,995	897,359	940,519	847,581	833,174
9月	855,147	867,090	860,882	873,123	805,802	808,940
10月	872,753	906,263	876,505	894,147	838,075	839,269
11月	834,466	869,731	844,683	856,352	806,887	799,913
12月	877,357	891,765	875,550	887,405	836,923	851,303
1月	849,404	878,853	836,864	871,565	820,790	822,382
2月	773,737	789,960	783,161	762,591	743,265	740,312
3月	847,874	855,295	839,750	837,444	817,458	816,244
合計	10,338,060	10,470,674	10,238,872	10,348,481	9,860,109	9,757,946
1日最大配水量	7月7日 33,465	7月7日 33,274	8月3日 32,075	8月24日 32,907	6月9日 30,451	12月12日 30,314
1日平均配水量	29,154	28,409	28,323	28,352	27,014	26,734

(エ) 総配水量の内訳



## (オ) 県水総受水量

年度別及び月別総受水量

(単位：m<sup>3</sup>)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4月	403,502	393,869	405,702	393,145	376,447	372,352
5月	390,217	387,619	401,204	385,458	388,323	380,674
6月	482,270	416,241	444,575	406,912	397,018	368,473
7月	413,336	428,754	447,680	430,510	406,718	390,034
8月	438,335	464,557	466,401	501,460	408,893	392,972
9月	438,688	440,153	452,936	497,645	395,565	388,287
10月	423,303	417,743	410,491	427,823	409,074	400,248
11月	418,438	406,244	408,019	432,925	396,443	382,903
12月	402,862	390,798	391,649	419,271	409,876	442,567
1月	416,704	418,554	416,106	436,384	422,516	397,958
2月	425,433	416,827	400,024	419,089	360,289	359,356
3月	365,681	362,641	362,109	350,847	416,336	378,875
合計	5,018,769	4,944,000	5,006,896	5,101,469	4,787,498	4,654,699



## 19. 薬品使用状況

塩素・PAC各使用量

(単位:kg)

項 年月	北 郡 山	浄 水 場	昭 和 浄 水 場		
	塩 素 使 用 量	P A C 使 用 量	塩 素 使 用 量	P A C 使 用 量	
平成29年度	2,963	14,455	58,946	27,731	
平成30年度	2,816	14,144	64,285	31,801	
令和元年度	2,617	12,566	64,853	33,266	
令和2年度	2,179	12,846	73,233	36,348	
令和3年度	2,385	14,438	66,274	33,157	
令和4年度	2,196	13,744	68,158	34,007	
月 別 内 訳	4月	204	1,207	5,312	2,751
	5月	207	1,241	5,738	2,767
	6月	209	1,204	5,863	2,789
	7月	208	1,167	5,791	2,653
	8月	198	1,231	5,853	2,638
	9月	189	1,171	5,513	2,527
	10月	196	1,212	5,736	2,727
	11月	179	1,208	5,528	2,797
	12月	89	563	6,138	3,238
	1月	171	1,218	5,642	3,125
	2月	163	1,080	5,221	2,840
	3月	183	1,242	5,823	3,155

## 20. 動力料金

(単位:円)

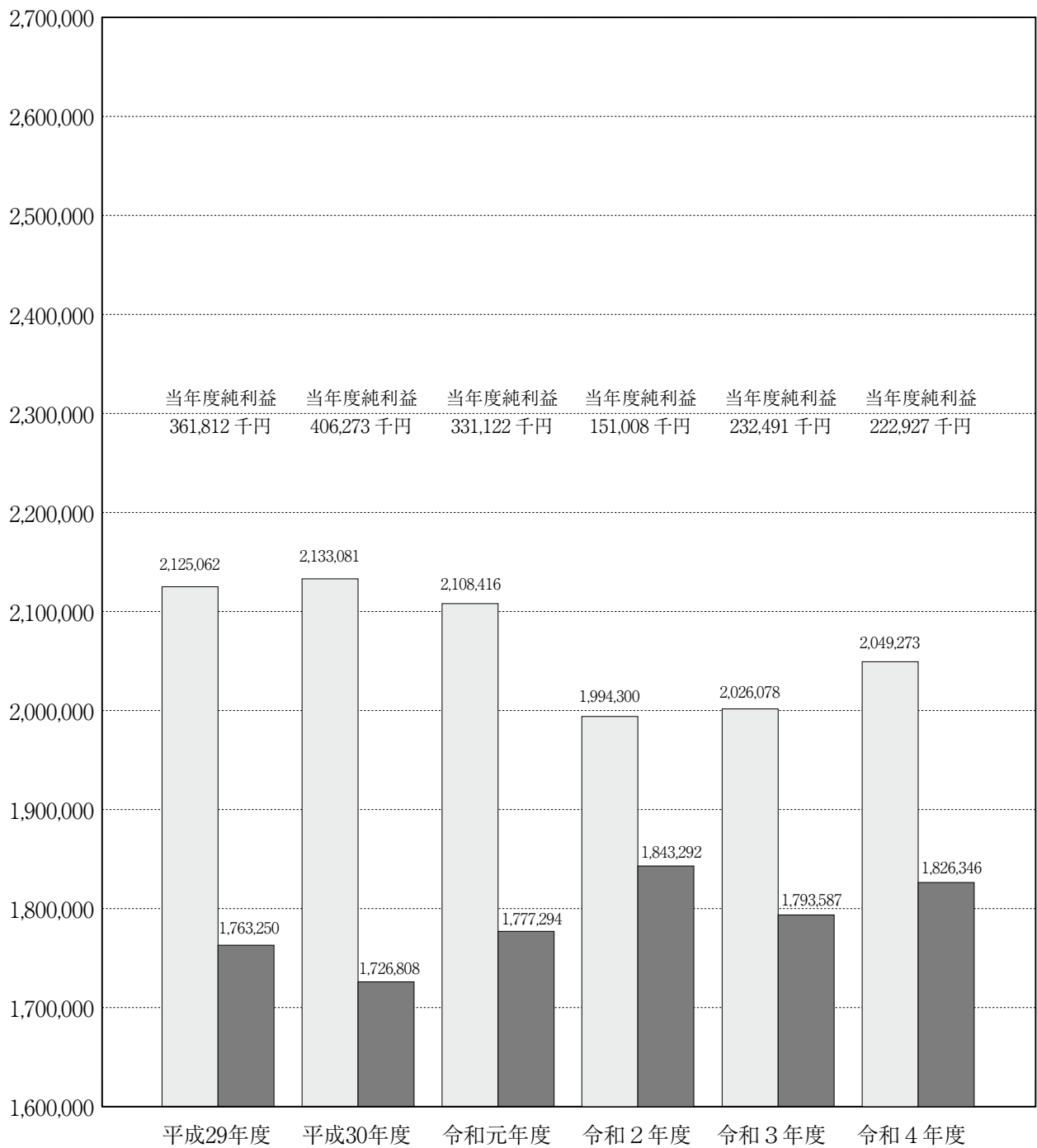
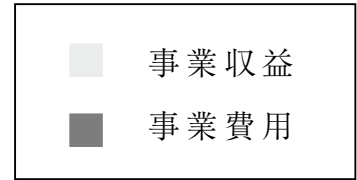
項		北 郡 山	北 郡 山 系	昭 和	昭 和 系	総 合 計
年月		浄 水 場 系	取 水 井 戸	浄 水 場 系	取 水 井 戸	
平成29年度		16,245,736	18,594,343	33,291,919	41,998,905	110,130,903
平成30年度		17,093,989	18,201,627	36,789,206	43,626,577	115,711,399
令和元年度		17,404,760	16,114,729	38,075,504	42,944,882	114,539,875
令和2年度		16,166,685	10,660,177	37,367,224	46,453,272	110,647,358
令和3年度		16,993,771	13,255,025	33,114,498	48,039,022	111,402,316
令和4年度		20,511,644	12,861,657	40,941,481	52,877,553	127,192,335
月 別 内 訳	4月	1,583,991	1,299,290	2,795,962	4,316,787	9,996,030
	5月	1,399,917	1,259,285	2,739,104	4,634,202	10,032,508
	6月	1,413,354	1,142,079	2,925,249	4,205,803	9,686,485
	7月	1,572,612	1,349,488	3,130,652	4,892,233	10,944,985
	8月	1,797,307	1,303,834	3,462,311	4,913,886	11,477,338
	9月	1,939,330	1,233,747	3,726,139	5,120,859	12,020,075
	10月	1,882,976	1,332,693	3,490,792	5,002,764	11,709,225
	11月	1,816,640	1,150,121	3,429,762	4,548,036	10,944,559
	12月	1,901,232	804,629	3,738,267	4,414,817	10,858,945
	1月	1,501,673	807,285	4,606,841	5,390,983	12,306,782
	2月	1,943,475	585,080	3,596,741	2,744,600	8,869,896
	3月	1,759,137	594,126	3,299,661	2,692,583	8,345,507

## IV 財務及び業務指標

1. 財務諸表

(1) 収益費用比較表

(単位：千円)



## (2) 累年別貸借対照表

資産の部

(単位：円)

項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率					
	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
1. 固定資産	9,934,492,077	54.1	10,024,519,531	54.2	10,253,858,513	54.5	10,601,159,037	66.0	10,845,786,079	67.5	11,247,942,414	59.4	100	101	103	107	109	113
(1)有形固定資産	9,874,012,077	53.8	10,021,999,531	54.2	10,251,842,513	54.5	10,599,647,037	66.0	10,844,778,079	67.4	11,247,438,414	59.4	100	101	104	107	110	114
(イ)土地	500,882,526	2.7	500,882,526	2.7	500,882,526	2.7	500,882,526	3.1	500,882,526	3.1	500,882,526	2.6	100	100	100	100	100	100
(ロ)建物	367,725,692	2.0	346,126,505	1.9	324,527,318	1.7	302,928,131	1.9	283,583,944	1.8	291,976,046	1.5	100	94	88	82	77	79
(ハ)構築物	8,575,275,688	46.7	8,806,314,225	47.6	9,054,943,014	48.2	9,329,269,143	58.1	9,580,642,299	59.6	9,919,729,634	52.4	100	103	106	109	112	116
(ニ)機械及び装置	362,847,765	2.0	315,489,998	1.7	302,378,635	1.6	<b>351,371,744</b>	2.2	353,355,884	2.2	452,432,187	2.4	100	87	83	97	97	125
(ホ)車両及び運搬具	18,717,587	0.1	14,401,318	0.1	11,832,728	0.1	10,120,901	0.1	6,825,771	0.0	3,872,784	0.0	100	77	63	54	36	21
(ヘ)器具及び備品	36,685,290	0.2	37,507,430	0.2	39,228,763	0.2	60,056,063	0.4	47,519,126	0.3	54,168,708	0.3	100	102	107	164	130	148
(ト)建設仮勘定	11,877,529	0.1	1,277,529	0.0	18,049,529	0.1	45,018,529	0.3	71,968,529	0.4	24,376,529	0.1	100	11	152	379	606	205
(2)無形固定資産	480,000	0.0	2,520,000	0.0	2,016,000	0.0	1,512,000	0.0	1,008,000	0.0	504,000	0.0	100	525	420	315	210	105
(イ)ソフトウェア	480,000	0.0	2,520,000	0.0	2,016,000	0.0	1,512,000	0.0	1,008,000	0.0	504,000	0.0	100	525	420	315	210	105
(3)投資	60,000,000	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100	0	0	0	0	0
(イ)投資者証証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100	100	100	100	100	100
(ロ)他会計長期貸付金	60,000,000	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	100	0	0	0	0	0
2. 流動資産	8,429,705,541	45.9	8,465,440,642	45.8	8,546,917,981	45.5	5,469,578,799	34.0	5,233,563,996	32.5	7,679,663,299	40.6	100	100	101	65	62	91
(1)現金及び預金	503,231,011	2.7	538,443,820	2.9	387,588,141	2.1	440,255,951	2.7	612,643,989	3.8	3,387,659,877	17.9	100	107	77	87	122	673
(2)未収金	173,608,057	0.9	168,158,459	0.9	184,642,253	1.0	180,876,037	1.1	156,572,567	1.0	190,326,665	1.0	100	97	106	104	90	110
(3)貯蔵品	3,330,950	0.0	3,767,740	0.0	3,747,520	0.0	2,942,808	0.0	2,724,410	0.0	2,276,050	0.0	100	113	113	88	82	68
(4)有価証券	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
(5)その他流動資産	7,751,685,000	42.2	7,757,210,000	42.0	7,974,290,000	42.4	<b>4,846,066,400</b>	30.2	4,462,080,000	27.8	4,100,050,000	21.7	100	100	103	63	58	53
(6)貸倒引当金	-2,149,477	0.0	-2,139,377	0.0	-3,349,933	0.0	-562,397	0.0	-456,970	0.0	-649,293	0.0	100	100	156	26	21	30
3. 繰延勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
(1)開発費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
(2)その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0
資産合計	18,364,197,618	100	18,489,960,173	100	18,800,776,494	100	16,070,737,836	100	16,079,350,075	100	18,927,605,713	100	100	101	102	88	88	103

負債の部

(単位：円)

項目	年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率					
		金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
3. 固定負債		922,792,973	5.0	916,345,203	5.0	895,157,136	4.8	831,645,330	5.2	832,344,318	5.2	771,666,596	4.1	100	99	97	90	90	84
(1)引当金		895,069,299	4.9	891,769,299	4.8	873,796,299	4.6	813,568,299	5.1	817,621,299	5.1	760,369,299	4.0	100	100	98	91	91	85
(2)企業債		27,723,674	0.2	24,575,904	0.1	21,360,837	0.1	18,077,031	0.1	14,723,019	0.1	11,297,297	0.1	101	89	77	65	53	41
4. 流動負債		463,368,726	2.5	340,109,180	1.8	483,098,735	2.6	601,317,781	3.7	496,099,683	3.1	465,012,012	2.5	100	73	104	130	107	100
(1)預り金		2,509,390	0.0	2,513,080	0.0	2,510,633	0.0	10,795,395	0.1	14,138,756	0.1	13,664,540	0.1	100	100	100	430	563	545
(2)前受金		159,491,778	0.9	145,820,072	0.8	150,439,382	0.8	166,901,400	1.0	172,972,804	1.1	178,697,136	0.9	100	91	94	105	108	112
(3)未払金		281,722,215	1.5	171,786,648	0.9	309,886,426	1.6	403,095,180	2.5	288,149,111	1.8	250,918,614	1.3	100	61	110	143	102	89
(4)その他流動負債		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
(5)企業債		3,081,882	0.0	3,147,770	0.0	3,215,067	0.0	3,283,806	0.0	3,354,012	0.0	3,425,722	0.0	100	102	104	107	109	111
(6)引当金		16,563,461	0.1	16,841,610	0.1	17,047,227	0.1	17,242,000	0.1	17,485,000	0.1	18,306,000	0.1	100	102	103	104	106	111
5. 繰延収益		5,028,942,977	27.4	4,878,140,009	26.4	4,736,032,884	25.2	4,606,603,745	28.7	4,487,244,150	27.9	4,397,871,582	23.2	100	97	94	92	89	87
負債合計		6,415,104,676	35	6,134,594,392	33	6,114,288,755	33	6,039,566,856	38	5,815,688,151	36	5,634,550,190	30	100	96	95	94	91	88

※構成比率は負債・資本合計に占める割合

資本の部

(単位：円)

項目	年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率					
		金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	金額	構成比率%	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
5. 資本金		8,529,200,986	46.4	8,767,749,654	47.4	8,995,852,315	47.8	8,999,000,085	56.0	9,002,215,152	56.0	11,811,966,131	62.4	100	103	105	106	106	138
(1)自己資本金		8,529,200,986	46.4	8,767,749,654	47.4	8,995,852,315	47.8	8,999,000,085	56.0	9,002,215,152	56.0	11,811,966,131	62.4	100	103	105	106	106	138
(2)借入資本金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
(イ)企業債		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
6. 剰余金		3,419,891,956	18.6	3,587,616,127	19.4	3,690,335,424	19.6	1,032,170,895	6.4	1,261,446,772	7.8	1,481,089,392	7.8	100	105	108	30	37	43
(1)資本剰余金		493,464,114	2.7	493,464,114	2.7	493,464,114	2.6	493,464,114	3.1	493,464,114	3.1	493,464,114	2.6	100	100	100	100	100	100
(イ)受贈財産評価額		2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	2,054,265	0.0	100	100	100	100	100	100
(ロ)工事負担金		491,409,849	2.7	491,409,849	2.7	491,409,849	2.6	491,409,849	3.1	491,409,849	3.1	491,409,849	2.6	100	100	100	100	100	100
(ハ)諸補助金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
(ニ)国庫補助金		0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-
(2)利益剰余金		2,926,427,842	15.9	3,094,152,013	16.7	3,196,871,310	17.0	538,706,781	3.4	767,982,658	4.8	987,625,278	5.2	100	106	109	18	26	34
(イ)減債積立金		30,805,556	0.2	27,723,674	0.1	24,275,904	0.1	21,360,837	0.1	18,077,031	0.1	14,723,019	0.1	100	90	79	69	59	48
(ロ)建設改良積立金		2,498,793,054	13.6	2,625,073,618	14.2	2,806,325,678	14.9	678	0.0	678	0.0	678	0.0	100	105	112	0	0	0
(ハ)利益積立金		32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	32,000,000	0.2	100	100	100	100	100	100
(ニ)当年度未処分利益剰余金		364,829,232	2.0	409,354,721	2.2	334,269,728	1.8	485,345,266	3.0	717,904,949	4.5	940,901,581	5.0	100	112	92	133	197	258
資本合計		11,949,092,942	65.1	12,365,365,781	66.8	12,686,187,739	67.5	10,031,170,980	62.4	10,263,661,924	63.8	13,293,055,523	70.2	100	103	106	84	86	111
負債・資本合計		18,364,197,618	100	18,489,960,173	100	18,800,476,494	101	16,070,737,836	100	16,079,350,075	100	18,927,605,713	100	100	101	102	88	88	103

(3) 累年別損益計算書  
収益の部

(単位：円)

項目	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率						
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	
1. 営業収益	1,841,463,446	86.7	1,854,365,440	86.9	1,836,886,657	87.1	1,718,355,181	86.2	1,753,333,376	86.5	1,505,060,145	73.4	100	101	100	101	100	100	93	95	82
(1) 給水収益	1,810,435,255	85.2	1,834,668,010	86.0	1,826,234,415	86.6	1,697,674,605	85.1	1,738,329,820	85.8	1,475,849,850	72.0	100	101	101	101	101	101	94	96	82
(2) 受託工事収益	24,254,947	1.1	13,396,304	0.6	2,949,326	0.1	10,747,698	0.5	7,611,429	0.4	22,602,686	1.1	100	55	12	44	31	93			
(3) その他の営業収益	6,773,244	0.3	6,301,126	0.3	7,702,916	0.4	9,932,878	0.5	7,392,127	0.4	6,607,609	0.3	100	93	114	147	109	98			
2. 営業外収益	283,598,262	13.3	278,715,741	13.1	271,528,852	12.9	275,945,312	13.8	272,745,028	13.5	544,212,612	26.6	100	98	96	97	96	96	97	96	192
(1) 受取利息	3,978,722	0.2	7,745,491	0.4	7,173,914	0.3	7,156,377	0.4	2,169,343	0.1	1,014,605	0.0	100	195	180	180	180	180	55	26	
(2) 補助金	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	269,747,708	13.2	-	-	-	-	-	-	-	100	
(3) 雑収益	44,088,243	2.1	45,949,471	2.2	45,661,665	2.2	48,662,096	2.4	50,734,381	2.5	50,081,334	2.4	100	104	104	110	110	110	115	114	
(3) 長期前受金戻入益	235,531,297	11.1	225,020,779	10.5	218,693,273	10.4	220,126,839	11.0	219,841,304	10.9	223,368,965	10.9	100	96	93	93	93	93	93	93	95
3. 特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
(1) 固定資産売却益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
収入合計	2,125,061,708	100	2,133,081,181	100	2,108,415,509	100	1,994,300,493	100	2,026,078,404	100	2,049,272,757	100	100	100	100	100	99	94	95	96	96

費用の部

(単位：円)

項目	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率					
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
4. 営業費用	1,759,672,073	99.8	1,723,842,553	99.8	1,774,905,224	99.9	1,840,620,125	99.9	1,791,275,161	99.9	1,799,544,809	98.5	100	98	100	98	101	105	102	102
(1) 原水及び浄水費	938,121,528	53.2	942,092,284	54.6	950,558,095	53.5	956,880,472	51.9	921,976,352	51.4	939,104,600	51.4	100	100	100	100	101	102	98	100
(2) 配水及び給水費	146,564,422	8.3	140,622,740	8.1	198,985,798	11.2	227,588,150	12.3	164,769,450	9.2	133,264,224	7.3	100	100	96	136	155	112	91	
(3) 受託工事費	28,267,612	1.6	16,984,934	1.0	15,427,555	0.9	26,828,950	1.5	36,590,319	2.0	30,109,043	1.6	100	60	60	55	95	129	107	
(4) 業務費	83,109,176	4.7	80,110,314	4.6	81,585,896	4.6	86,198,974	4.7	97,163,550	5.4	110,857,146	6.1	100	96	96	98	104	117	133	
(5) 総係費	98,769,936	5.6	102,804,008	6.0	103,898,135	5.8	107,855,385	5.9	117,610,717	6.6	114,728,573	6.3	100	104	105	109	119	116		
(6) 減価償却費	441,763,777	25.1	435,031,524	25.2	414,460,425	23.3	425,181,457	23.1	446,307,044	24.9	454,922,262	24.9	100	98	94	96	101	103		
(7) 資産減耗費	23,075,622	1.3	6,196,749	0.4	9,989,320	0.6	10,086,737	0.5	6,857,729	0.4	16,558,961	0.9	100	27	43	44	30	72		
5. 営業外費用	3,577,774	0.2	2,985,789	0.2	2,388,327	0.1	2,672,127	0.1	2,312,299	0.1	26,801,522	1.5	100	83	67	75	65	749		
(1) 支払利息	702,221	0.0	637,710	0.0	571,822	0.0	504,525	0.0	435,786	0.0	365,580	0.0	100	91	81	72	62	52		
(2) 雑支出	2,875,553	0.2	2,328,079	0.1	1,816,505	0.1	2,167,602	0.1	1,876,513	0.1	26,435,942	1.4	100	81	63	75	65	919		
(3) 繰延勘定償却	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 過年度損益修正損	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 貸倒引当金繰入額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4) 賞与等引当金繰入額	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計	1,763,249,847	100	1,726,808,342	100	1,777,293,551	100	1,843,292,252	100	1,793,587,460	100	1,826,346,331	100	100	98	101	105	102	104		
当年度純利益	361,811,861	-	406,272,839	-	331,121,958	-	151,008,241	-	232,490,944	-	222,926,426	-	100	112	92	42	64	62		
前年度繰越利益剰余金	0	-	0	-	0	-	331,121,958	-	482,130,199	-	714,621,143	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他未処分利益剰余金変動額	3,017,371	-	3,081,882	-	3,147,770	-	3,215,067	-	3,283,806	-	3,354,012	-	100	102	104	107	109	111		
当年度未処分利益剰余金	364,829,232	-	409,354,721	-	334,269,728	-	485,345,266	-	717,904,949	-	940,901,581	-	100	112	92	133	197	258		



(4) 経営分析  
 了. 経営分析及び財務分析

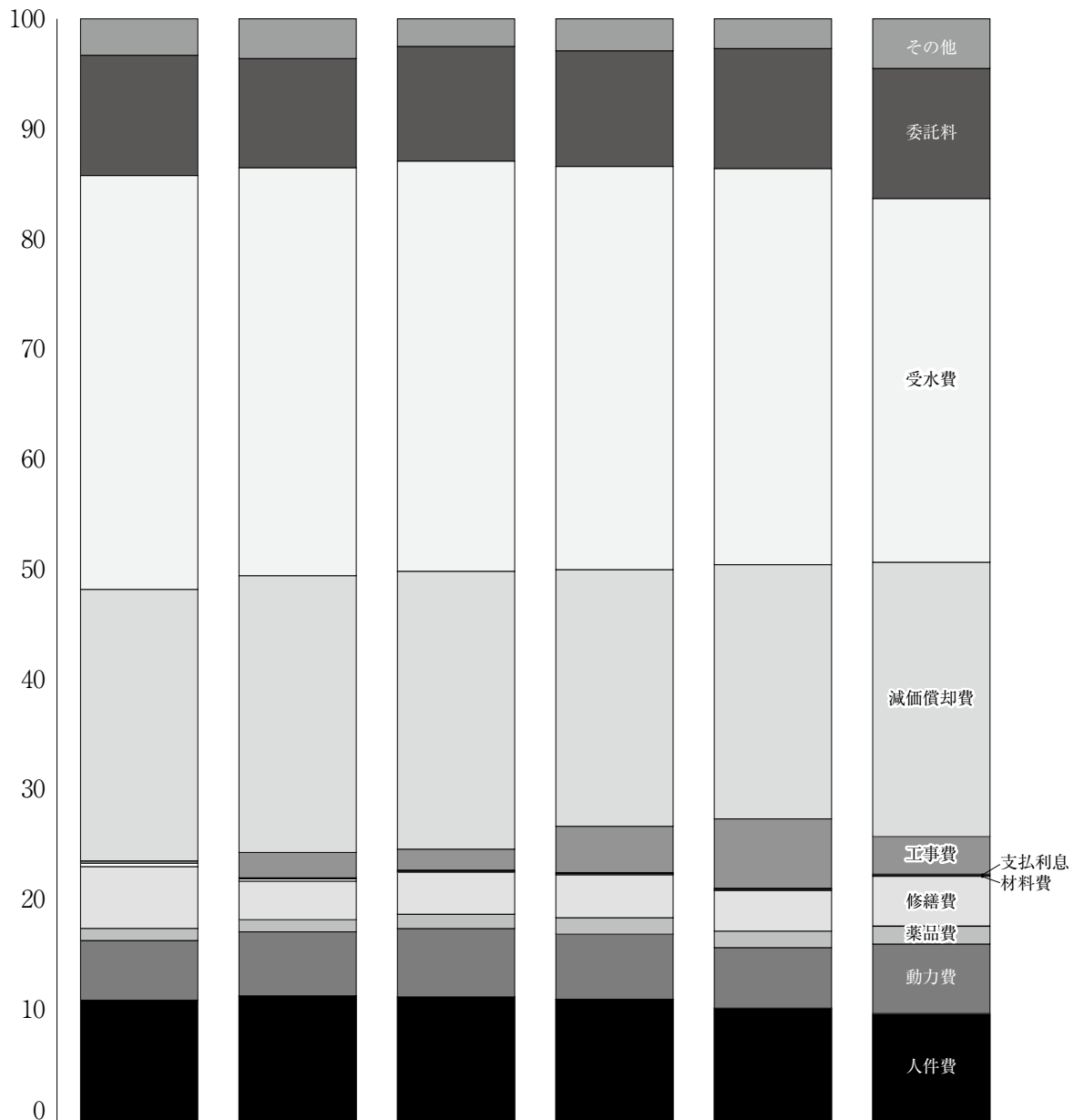
分析項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	※全国平均R1年度 総人口5万人以上 10万人未満	算式	摘要
構成										
固定負債比率	%	5.02	4.96	4.76	5.17	5.18	4.08	14.40	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	資産の調達源泉である負債資本合計の内他人資本がどれくらいの割合を占めているかを示すものです。
流動負債比率	%	2.52	1.84	2.57	3.74	3.09	2.46	-	$\frac{\text{流動負債}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$	
固定資産比率	%	42.47	42.91	54.54	65.97	67.45	48.22	83.40	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産}+\text{流動資産}+\text{繰延資産}} \times 100$	総資産中、固定資産がどのくらい占めているかを表す。
固定長期資本比率	%	55.50	55.24	55.98	68.53	69.60	60.92	86.57	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金}+\text{剰余金}+\text{評価差額}+\text{固定負債}+\text{繰延資産}} \times 100$	100%以下であれば長期資本的に安定している。低率であるほど良い。
固定負債比率	%	7.72	7.42	7.06	8.29	8.11	5.81	-	$\frac{\text{固定負債}+\text{借入資本金}}{\text{自己資本金}+\text{剰余金}} \times 100$	負債を自己資本以内にすることが健全であり100%以下が好ましい。
流動負債比率	%	3.88	2.75	3.81	5.99	4.83	3.50	-	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本金}+\text{剰余金}} \times 100$	
酸性試験比率	%	1807.35	2071.29	1753.03	906.38	1041.88	1651.00	-	$\frac{\text{現金預金}+(\text{未収金}-\text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	資産と負債を比較することにより企業の支払能力を示す。
現金比率	%	1770.35	1683.15	1715.51	871.46	1010.41	1610.21	-	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	高率であるほど運転資金が豊富で支払能力のあることを示す。
自己資本回転率	回	0.108	0.100	0.106	0.107	0.119	0.091	0.134	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{自己資本金}+\text{剰余金}}$	高率であるほど投下資本に対して営業活動が活発である。
未収金回転率	回	10.951	10.773	10.396	8.640	9.510	8.547	7.596	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{1/2 * (\text{期首未収金}+\text{期末未収金})}$	高率であるほど未収金の回収速度が良好である。
貯蔵品回転率	回	3.11	5.28	2.96	2.81	3.00	3.42	-	$\frac{\text{期首貯蔵品}+\text{当年度購入額}-\text{当年度発生品}-\text{期末貯蔵品}}{\text{平均貯蔵品}}$	貯蔵品を使用、補充する速度。高率であるほど貯蔵品に対する投下資本が少なくて済む。
減価償却率	%	4.48	4.37	4.08	4.06	4.16	4.07	4.07	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{固定資産}-(\text{土地}+\text{電線収入勘定}+\text{当年度減価償却費})} \times 100$	減価償却資産の平均減価償却率を示すもの。高率であるほど投資額の回収速度が速い。
流動資産回転率	回	0.220	0.218	0.216	0.244	0.326	0.230	0.657	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{1/2 * (\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})}$	高率であるほど資金に余裕がある。
総資本利益率	%	1.99	2.20	1.78	0.87	1.45	1.27	1.37	$\frac{\text{当年度経常利益}}{1/2 * (\text{期首}(\text{資本}+\text{負債})+\text{期末}(\text{資本}+\text{負債}))} \times 100$	企業の営業活動の総合的な効果を表す。高率であるほど良い。
利子負担率	%	2.28	2.30	2.33	2.36	2.41	2.48	1.48	$\frac{\text{支払利息}+\text{企業債取扱諸費}}{\text{自己資本金}+\text{剰余金}} \times 100$	企業債に占める支払利息の割合
企業価値償還対減価償却費比率	%	0.68	0.71	0.76	0.76	0.74	0.74	60.46	$\frac{\text{企業価値元償還金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	企業価値還元能力を表す。低率であるほど内部留保が良い。
経常収支比率	%	120.52	123.50	118.63	108.19	112.96	112.21	112.39	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	単年度の経営状況を表す。100%未満になると100%未満になる。

分析項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	※全国平均R1年度 給水人口5万人以上 10万人未満	算式	摘要
固定資産 使用効	産率 m <sup>3</sup> /万円	10.47	10.45	9.99	9.76	9.09	8.68	8.17	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}} \times 10000$	この数値が高いと固定資産が有効に使用されている。
配水管使用効	率 m <sup>3</sup> /m	19.08	19.73	19.36	19.61	18.68	18.46	22.47	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	給水人口密度が高いほどこの数値も高くなる。
有収	率 %	93.86	93.11	94.45	92.87	94.43	91.34	93.61	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	高率であるほど有効に配水されている。
職員1人当たり 給水人口	人	3,138	3,117	3,093	3,188	4,062	4,027	4,593	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所屬職員数}}$	高率であるほど効率的経営がなされている。
有収水量1m <sup>3</sup> 当 たり職員給与費	円	20.66	20.00	20.38	19.81	17.07	19.00	13.66	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	低率であるほど経営に弾力性がある。
職員1人当たり 職員給与費	千円	7,160	6,942	7,038	7,051	7,570	8,064	-	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{損益勘定所屬職員数}} \div 1000$	
職員1人当たり 営業収益	千円	65,148	65,045	65,498	63,245	83,130	70,593	86,377	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所屬職員数}} \div 1000$	高率であるほど能率的経営がなされている。
職員給与費対営 業収益比	率 %	10.89	10.63	10.73	11.08	9.07	11.25	7.76	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{営業収益}} \times 100$	職員給与費の割合を営業収益及び営業費用と対比する。 低率であるほど経営を圧迫しない。
営業費用中に占める 職員給与費の割合	率 %	11.37	11.30	11.09	10.33	8.86	9.27	7.72	$\frac{\text{損益職員給与費}}{\text{総費用}} \times 100$	
費用中に占める 支払利息の割合	率 %	0.04	0.04	0.03	0.03	0.02	0.02	1.95	$\frac{\text{支払利息}}{\text{総費用}} \times 100$	支払利息が総費用に占める割合
費用中に占める減 価償却費の割合	率 %	25.05	25.20	23.32	23.07	24.88	24.91	29.46	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{総費用}} \times 100$	高率であるほど良いが、維持費も増大することになる。
給水原価に占める 職員給与費の割合	率 %	12.79	11.12	12.23	11.36	9.78	10.22	-	$\frac{1\text{m}^3\text{当たり職員給与費}(\text{受託工事費を除く})}{\text{給水原価}} \times 100$	低率であるほど経営を圧迫しない。
口座振替件数率	率 %	82.11	82.40	82.01	84.08	82.02	81.50	-	$\frac{\text{料金口座振替件数}}{\text{料金調定件数}} \times 100$	3月分料金調定に対する口座振替割合
納付書件数率	率 %	17.89	17.61	17.99	15.92	17.98	18.50	-	$\frac{\text{納付書件数}}{\text{料金調定件数}} \times 100$	3月分料金調定に対する納付書割合

※平均総資本＝(期首(負債・資本合計)＋期末(負債・資本合計))／2

イ. 年度別費用構成比較

(単位：%)



		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
■	人件費	11.4	11.3	11.1	10.3	9.7	9.8
■	動力費	5.8	6.2	5.9	5.5	5.6	6.3
■	薬品費	1.1	1.3	1.5	1.5	1.5	1.6
■	修繕費	3.5	3.8	3.9	3.7	4.0	4.5
□	材料費	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
■	支払利息	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
■	工事費	2.3	1.9	4.2	6.3	5.6	3.4
■	減価償却費	25.1	25.2	23.3	23.1	24.9	24.9
■	受水費	37.0	37.2	36.6	36.0	34.6	33.0
■	委託料	9.9	10.4	10.5	10.9	11.5	11.8
■	その他	3.6	2.5	2.9	2.7	2.4	4.5

(単位:千円)

(単位:千円)

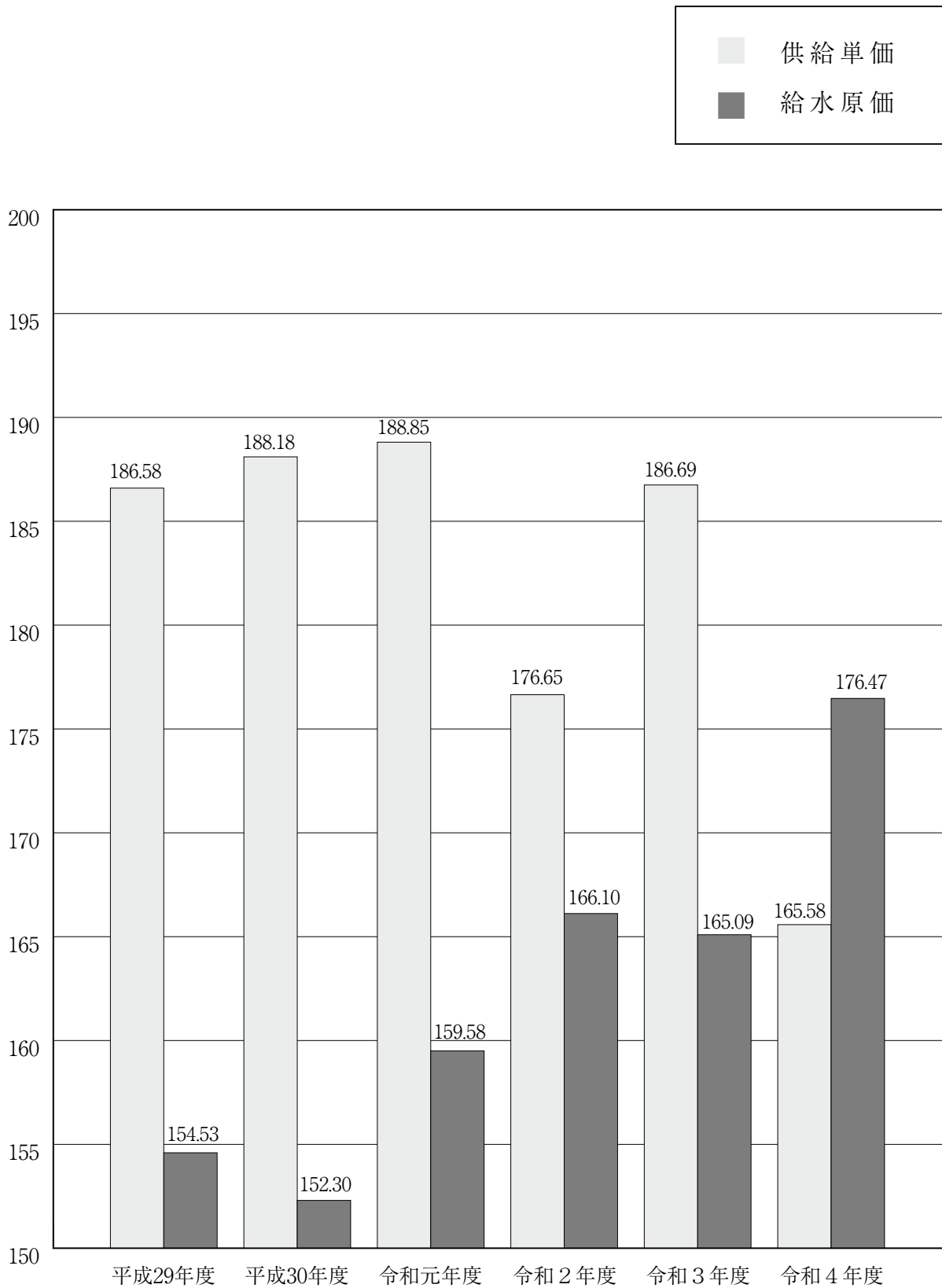
項目	年度	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %	金額	構成比率 %
人件費		200,979	11.4	195,001	11.3	197,056	11.1	190,376	10.3	174,731	9.7	178,859	9.8
動力費		101,973	5.8	107,140	6.2	105,256	5.9	100,589	5.5	101,275	5.6	115,630	6.3
薬品費		20,106	1.1	22,631	1.3	26,115	1.5	28,319	1.5	26,196	1.5	28,338	1.6
修繕費		62,565	3.5	66,020	3.8	70,067	3.9	68,542	3.7	72,350	4.0	82,024	4.5
材料費		4,029	0.2	653	0.0	2,319	0.1	2,613	0.1	1,135	0.1	1,383	0.1
支払利息		702	0.1	638	0.1	572	0.1	505	0.1	436	0.1	366	0.1
工事費		41,186	2.3	32,480	1.9	75,419	4.2	116,218	6.3	100,168	5.6	62,774	3.4
減価償却費		441,764	25.1	435,031	25.2	414,460	23.3	425,181	23.1	446,307	24.9	454,922	24.9
受水費		652,440	37.0	642,720	37.2	650,896	36.6	663,191	36.0	620,100	34.6	603,355	33.0
委託料		174,970	9.9	180,147	10.4	185,904	10.5	200,464	10.9	207,051	11.5	215,915	11.8
その他		62,536	3.6	44,347	2.7	49,230	2.9	47,294	2.7	43,838	2.5	82,780	4.6
年度別費用合計		1,763,250	100	1,726,808	100	1,777,294	100	1,843,292	100	1,793,587	100	1,826,346	100

※上記人件費は、受託工事費を含み建設改良費にかかる部分を除く。

工事費には、路面復旧費を含む。

ウ. 年度別供給原価・給水原価比較

(単位：円)



工. 年度別1㎡当たり収益比

(単位:円)

項目	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		そう勢比率					
	金	単価	金	単価	金	単価	金	単価	金	単価	金	単価	金	単価	29年度	30年度	31年度	4年度		
営業収益	1,841,463,446	189.78	1,854,365,440	190.21	1,836,886,657	189.95	1,718,355,181	178.80	1,753,333,376	188.31	1,505,060,145	168.86	100	101	100	101	100	93	95	82
1. 給水収益	1,810,435,255	186.59	1,834,668,010	188.18	1,826,234,415	188.85	1,697,674,605	176.65	1,738,329,820	186.69	1,475,849,850	165.58	100	101	101	101	101	94	96	82
2. 受託工事収益	24,254,947	2.50	13,396,304	1.37	2,949,326	0.31	10,747,698	1.12	7,611,429	0.82	22,602,686	2.54	100	55	12	44	31	93		
3. その他の営業収益	6,773,244	0.70	6,301,126	0.65	7,702,916	0.80	9,932,878	1.03	7,392,127	0.79	6,607,609	0.74	100	93	114	147	109	98		
営業外収益	283,598,262	29.23	278,715,741	28.59	271,528,852	28.08	275,945,312	28.71	272,745,028	29.29	544,212,612	61.06	100	98	96	97	96	192		
1. 受取利息	3,978,722	0.41	7,745,491	0.79	7,173,914	0.74	7,156,377	0.75	2,169,343	0.23	1,014,605	0.11	100	195	180	180	55	26		
2. 補助金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	269,747,708	30.26	-	-	-	-	-	-		
3. 雑収益	44,088,243	4.54	45,949,471	4.71	45,661,665	4.72	48,662,096	5.06	50,734,381	5.45	50,081,334	5.62	100	104	104	110	110	115	114	
4. 長期前受金戻入益	235,531,297	24.27	225,020,779	23.08	218,693,273	22.62	220,126,839	22.91	219,841,304	23.61	223,368,965	25.06	-	-	-	-	-	-		
特別利益	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	-	-	-	-	-	-		
1. 固定資産売却益	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	-	-	-	-	-	-		
合計	2,125,061,708	219.01	2,133,081,181	218.79	2,108,415,509	218.03	1,994,300,493	207.51	2,026,078,404	217.60	2,049,272,757	229.92	100	100	100	100	99	94	95	96
有収水量(㎡)	9,703,019		9,749,312		9,670,285		9,610,491		9,311,148		8,913,054		100	100	100	100	99	96	96	92

才. 給水原価構成

項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率						
	金額(千円)	給水原価(円)	金額(千円)	給水原価(円)	金額(千円)	給水原価(円)	金額(千円)	給水原価(円)	金額(千円)	給水原価(円)	金額(千円)	給水原価(円)	29年度	30年度	2年度	3年度	4年度		
合計	1,499,451	154.53	1,484,803	152.30	1,543,174	159.58	1,596,336	166.10	1,537,156	165.09	1,572,868	176.47	100	99	103	106	103	105	
人件費	192,344	19.82	186,582	19.14	188,680	19.51	181,406	18.88	150,335	16.15	170,249	19.10	100	97	98	94	78	89	
動力費	101,973	10.51	107,140	10.99	105,256	10.88	100,589	10.47	101,275	10.88	115,630	12.97	100	105	103	99	99	113	
薬品費	20,106	2.07	22,631	2.32	26,115	2.70	28,319	2.95	26,196	2.81	28,338	3.18	100	113	130	141	130	141	
修繕費	62,535	6.45	65,817	6.75	70,067	7.25	68,542	7.13	72,350	7.77	82,024	9.20	100	105	112	110	116	131	
材料費	4,029	0.42	653	0.07	2,319	0.24	2,613	0.27	1,135	0.12	1,383	0.16	100	100	16	58	65	28	34
支払利息	702	0.07	638	0.07	572	0.06	505	0.05	436	0.05	366	0.04	100	91	81	72	62	52	
工事費	23,086	2.38	24,961	2.56	69,847	7.22	99,751	10.38	72,881	7.83	42,819	4.80	100	108	303	432	316	185	
減価償却費	441,764	45.53	435,031	44.62	414,460	42.86	425,181	44.24	446,307	47.93	454,922	51.04	100	98	94	96	101	103	
受水費	652,440	67.24	642,720	65.93	650,896	67.31	663,191	69.01	620,100	66.60	603,355	67.69	100	99	100	102	95	92	
委託料	174,970	18.03	180,147	18.48	185,904	19.22	200,464	20.86	207,051	22.24	215,025	24.13	100	103	106	115	118	123	
その他	61,033	6.29	43,504	4.46	47,751	4.94	45,902	4.78	58,931	6.33	82,126	9.21	100	71	78	75	97	135	
長期前受金戻入益	-235,531	-24.27	-225,021	-23.08	-218,693	-22.62	-220,127	-22.91	-219,841	-23.61	-223,369	-25.06	100	96	93	93	93	95	
有収水量(m <sup>3</sup> )	9,703,019		9,749,312		9,670,285		9,610,491		9,311,148		8,913,054		100	100	100	99	96	92	

(注)ただし、費用合計には、受託工事費を除き、工事費には路面復旧費を含む。

力. 費用別給水原価構成

項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		すう勢比率						
	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	金額	給水原価	29年度	30年度	2年度	3年度	4年度		
合計	1,499,450,938	154.53	1,484,802,629	152.30	1,543,172,723	159.58	1,596,336,463	166.10	1,537,155,837	165.09	1,572,868,323	176.47	100	99	103	106	103	105	
営業費用	1,731,404,461	178.44	1,706,857,619	175.08	1,759,477,669	181.95	1,813,791,175	188.73	1,754,684,842	188.45	1,769,435,766	198.52	100	99	102	105	101	102	
1. 原水及び浄水費	938,121,528	96.68	942,092,284	96.63	950,558,095	98.30	956,880,472	99.57	921,976,352	99.02	939,104,600	105.36	100	100	101	102	98	100	
2. 配水及び給水費	146,564,422	15.11	140,622,740	14.42	198,985,798	20.58	227,588,150	23.68	164,769,450	17.70	133,264,224	14.95	100	96	136	155	112	91	
3. 業務費	83,109,176	8.57	80,110,314	8.22	81,585,896	8.44	86,198,974	8.97	97,163,550	10.44	110,857,146	12.44	100	96	98	104	117	133	
4. 総係費	98,769,936	10.18	102,804,008	10.55	103,898,135	10.74	107,855,385	11.22	117,610,717	12.63	114,728,573	12.87	100	104	105	109	119	116	
5. 減価償却費	441,763,777	45.53	435,031,524	44.62	414,460,425	42.86	425,181,457	44.24	446,307,044	47.93	454,922,262	51.04	100	98	94	96	101	103	
6. 資産減耗費	23,075,622	2.38	6,196,749	0.64	9,989,320	1.03	10,086,737	1.05	6,857,729	0.74	16,558,961	1.86	100	27	43	44	30	72	
営業外費用	3,577,774	0.37	2,965,789	0.30	2,388,327	0.25	2,672,127	0.28	2,312,299	0.25	26,801,522	3.01	100	83	67	75	65	749	
1. 支払利息	702,221	0.07	637,710	0.07	571,822	0.06	504,525	0.05	435,786	0.05	365,580	0.04	100	91	81	72	62	52	
2. 雑支出	2,875,553	0.30	2,328,079	0.24	1,816,505	0.19	2,167,602	0.23	1,876,513	0.20	26,435,942	2.97	100	81	63	75	65	919	
3. 繰延勘定償却	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	-	-	-	-	-	-	
長期前受金戻入益	-235,531,297	-24.27	-225,020,779	-23.08	-218,693,273	-22.62	-220,126,839	-22.91	-219,841,304	-23.61	-223,368,965	-25.06	100	96	93	93	93	93	95
有収水量(m <sup>3</sup> )	9,703,019		9,749,312		9,670,285		9,610,491		9,311,148		8,913,054		100	100	100	99	96	92	

(注)費用合計には、受託工事費を除く。

## 2. 令和4年度決算

### (1) 収益的収入及び支出

#### (1) 収入

(単位:円)

区分	予算額			決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備考 (決算額中、 仮受消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	合計			
第1款 水道事業収益	2,192,117,000	2,382,000	0	2,210,776,362	16,277,362	
第1項 営業収益	1,921,427,000	△ 273,995,000	0	1,654,107,190	6,675,190	(149,047,045)
第2項 営業外収益	270,689,000	276,377,000	0	556,669,172	9,603,172	(4,717,893)
第3項 特別利益	1,000	0	0	1,000	△ 1,000	

#### (2) 支出

(単位:円)

区分	予算額						決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額				
第1款 水道事業費用	1,993,050,000	19,903,000	0	0	0	2,012,953,000	7,263,000	2,471,000	100,075,811	
第1項 営業費用	1,975,529,000	19,903,000	0	0	0	1,995,432,000	7,263,000	2,471,000	83,959,927	(116,719,264)
第2項 営業外費用	12,482,000	0	0	0	0	12,482,000	0	0	11,111,576	(60,927)
第3項 特別損失	39,000	0	0	0	0	39,000	0	0	4,308	
第4項 予備費	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000	



## (2) 資本的収入及び支出

## (1) 収入

(単位:円)

区分	予 算 額					決算額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)
	当初予算額	補正予算額	小 計	合 計				
				地方公営企業法 第26条の規定に よる繰越額に係 る財源充当額	継続費通 次繰越額 に係る財 源充当額			
第1款 資本的収入	75,882,000	2,806,468,000	2,882,350,000	29,770,000	0	2,939,111,301	26,991,301	
第1項 工事分担保	75,881,000	0	75,881,000	29,770,000	0	132,644,128	26,993,128	(6,117,400)
第2項 固定資産売却代金	1,000	0	1,000	0	0	0	△ 1,000	
第3項 出資金	0	2,806,468,000	2,806,468,000	0	0	2,806,467,173	△ 827	

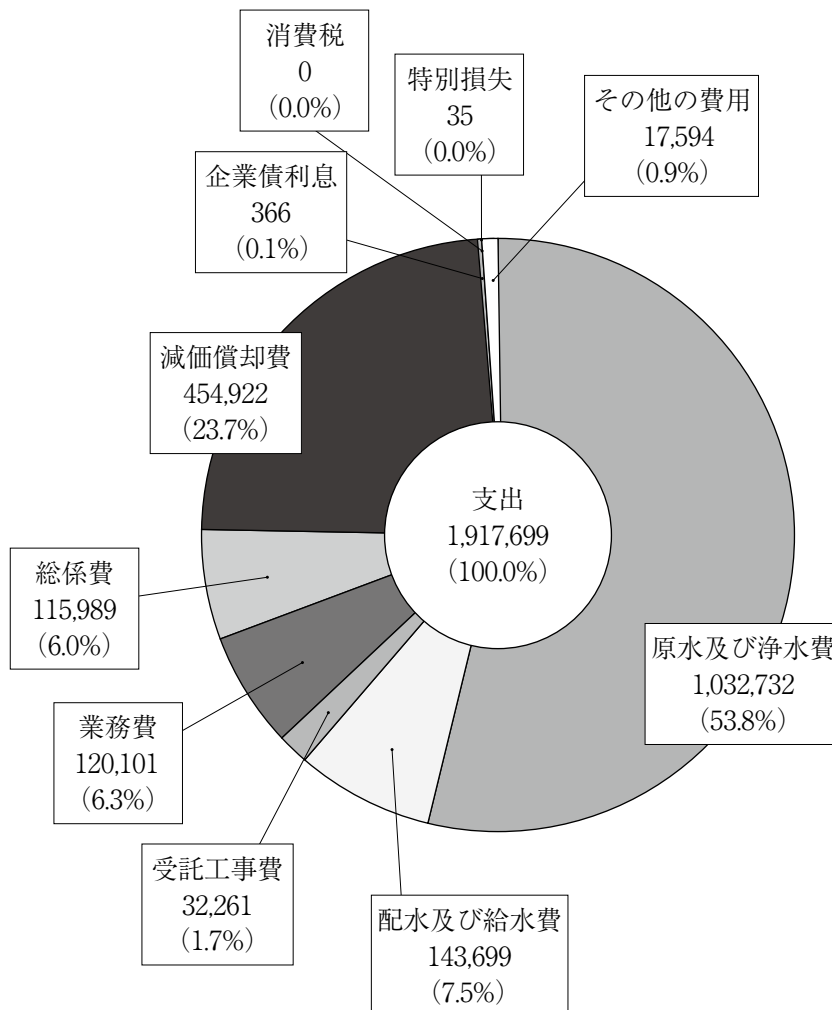
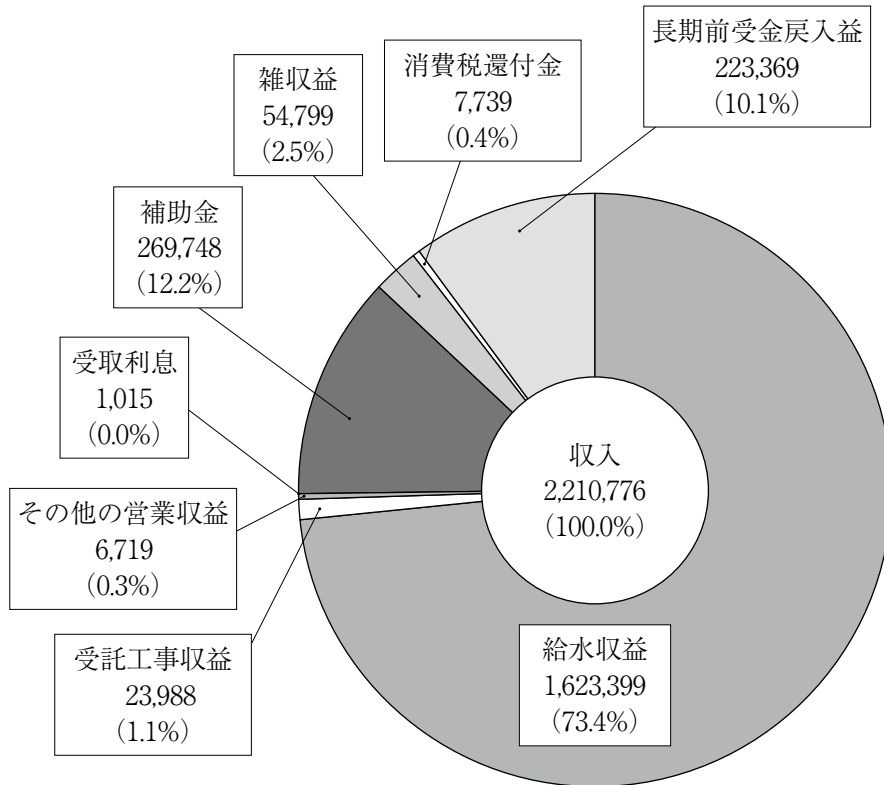
## (2) 支出

(単位:円)

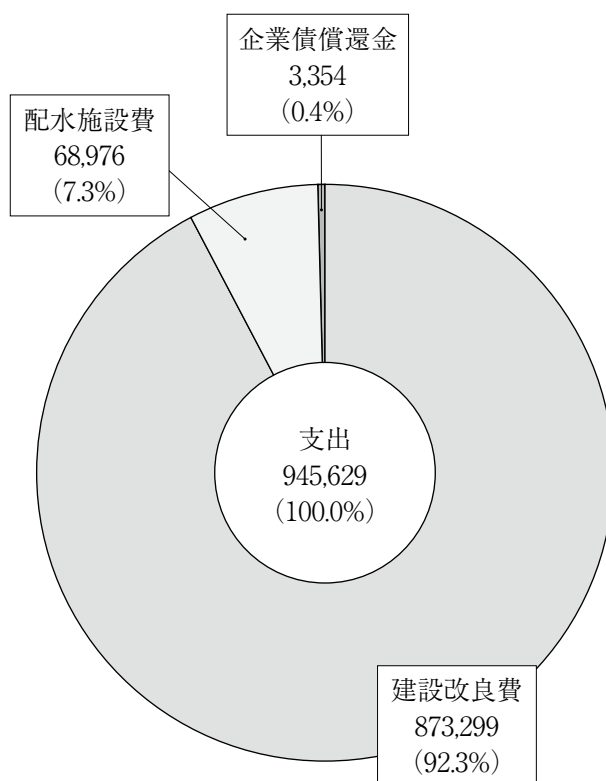
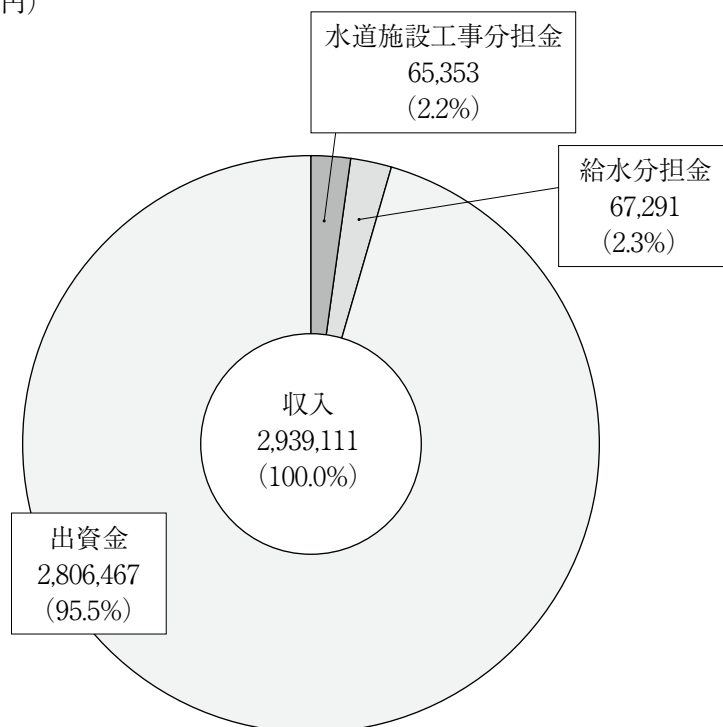
区分	予 算 額					翌年度繰越額		不 用 額	備 考 (決算額中、 仮払消費税及 び地方消費 税)					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小 計	地方公営 企業法第 26条の規 定による 繰越額	継続費通 次繰越額			合 計				
											決算額	合 計		
第1款 資本的支出	1,071,192,000	0	0	0	1,071,192,000	484,907,000	0	1,556,099,000	945,629,479	573,138,000	0	573,138,000	37,331,521	
第1項 建設改良費	1,007,679,000	0	0	23,838,000	1,031,517,000	431,732,000	0	1,463,249,000	873,299,478	573,138,000	0	573,138,000	16,811,522	(75,271,818)
第2項 配水施設費	55,158,000	0	0	△ 23,838,000	31,320,000	53,175,000	0	84,495,000	68,975,989	0	0	0	15,519,011	(6,267,768)
第3項 企業償還金	3,355,000	0	0	0	3,355,000	0	0	3,355,000	3,354,012	0	0	0	988	
第4項 予備費	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0	0	0	5,000,000	

(3) 決算収支図 (消費税込)

ア. 収益的収支 (単位: 千円)



イ. 資本的収支 (単位:千円)



## (4) 企業債明細書

(単位:円)

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還残高	利率 (%)	償還終期	備考
			当年度償還高	償還高累計				
借 入 資 本 金	平成10年3月25日	42,000,000	1,992,653	31,760,507	10,239,493	2.10	令和10年3月	
	小 計	42,000,000	1,992,653	31,760,507	10,239,493			
地 方 公 共 団 体 金 融 機 構	平成10年3月25日	21,000,000	1,072,582	17,641,130	3,358,870	2.15	令和8年3月	
	平成10年3月25日	7,000,000	358,777	5,875,344	1,124,656	2.20	令和8年3月	
	小 計	28,000,000	1,431,359	23,516,474	4,483,526			
合 計		70,000,000	3,424,012	55,276,981	14,723,019			

## (5) 固定資産明細書

## ア. 有形固定資産明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価却累計額		年度末 償却未済高
					当年度増加額	当年度減少額	
土地	500,882,526	0	0	500,882,526	0	0	500,882,526
建物	1,059,936,479	30,109,000	0	1,090,045,479	21,716,898	0	291,976,046
構築物	19,881,387,099	742,652,617	77,807,700	20,546,232,016	387,578,261	61,820,679	9,919,729,634
機械及び装置	1,958,850,653	128,487,661	9,127,359	2,078,210,955	29,319,058	8,670,991	382,444,675
量水器	139,210,276	1,286,950	155,370	140,341,856	864,310	96,798	69,987,512
車両及び運搬具	39,607,714	0	0	39,607,714	2,952,987	0	3,872,784
器具及び備品	123,825,468	18,693,330	1,140,000	141,378,798	11,986,748	1,083,000	54,168,708
小計	23,703,700,215	921,229,558	88,230,429	24,536,699,344	454,418,262	71,671,468	11,223,061,885
建設仮勘定	71,968,529	13,339,000	60,931,000	24,376,529	0	0	24,376,529
合計	23,775,668,744	934,568,558	149,161,429	24,561,075,873	454,418,262	71,671,468	11,247,438,414

## イ. 無形固定資産明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
ソフトウェア	1,008,000	0	0	504,000
合計	1,008,000	0	0	504,000

## ウ. 投資明細書

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	備考
投資有価証券	0	0	0	0	
他会計長期貸付金	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	

目標(A)『安全で良質な水』  
運営管理

(1)水質管理

「水道事業ガイドライン」業務指標の算出結果と解説

水道事業ガイドライン(JWWA G100)に基づく業務指標

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値						解説	
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		平均値
A101	平均残留塩素濃度(mg/L)	残留塩素濃度合計/残留塩素測定回数	0.9	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.6	給水栓での残留塩素濃度の平均値を表す指標である。おいしい水の要件は、残留塩素濃度は0.4mg/L以下とされている。(H28より定義変更)
A102	最大カビ臭物質濃度水質基準比率(%)	最大カビ臭物質濃度/水質基準値*100	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	11.3	水質は、水質基準を満たすことが必要条件である。この値は、低い方が良い ジェオキシド-MIBの水質基準値は、0.00001mg/L 検査結果はジェオキシドは、0.000002mg/L 県営水道(御所系)の依存が高い (H28より定義変更)
A103	総トリハロメタン濃度水質基準比率(%)	$\max(X_i) = (\sum \text{給水栓の総トリハロメタン濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$	30.4	24.8	24.8	32.0	24.0	25.8	27.3	水質基準が満たされていること。 *一年間の定期検査(同時期)の平均値の最も大きい値を選択(6月)
A104	有機物(TOC)濃度水質基準比率(%)	$\max(X_i) = (\sum \text{給水栓の有機物(TOC)濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$	20.7	19.3	20.0	20.0	20.0	21.3	27.7	有機物水質基準値とは、厚生労働省が定める水質基準に関する省令に示されている値。(6月最大平均値) *一年間の定期検査(同時期)の平均値の最も大きい値と物質名を選択
A105	重金属濃度水質基準比率(%)	$\max(X_{(H)}) = (\sum \text{給水栓の当該重金属濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ (Cd, Hg, Se, Pb, As, Cr++の各化合物の6種類) ヒ素As(0.0012/0.01)*100	12.0	12.0	12.0	16.0	12.0	30.0	5.5	水質基準項目に定められている6種類による。 *一年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名(6.9月最大平均値)
A106	無機物質濃度水質基準比率(%)	$\max(X_{(H)}) = (\sum \text{給水栓の当該無機物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ (Al, Cl, 硬度, Fe, Mn, Na)	アルミニウム 27.0	アルミニウム 31.2	硬度 19.0	硬度 20.3	硬度 18.2	硬度 21.6	17.5	水質基準項目に定められている無機物質6種類がある。 *一年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名(9月)
A107	有機化学物質濃度水質基準比率(%)	$\max(X_{(H)}) = (\sum \text{給水栓の当該有機化学物質濃度} / \text{給水栓数}) / \text{水質基準値} * 100$ 9項目とも検出限界以下	0	0	0	0	0	0	1.1	有機塩素化学物質濃度として水質基準値が定められている2種の物質。
A108	消毒副生成物濃度水質基準比率(%)	臭素酸 ホルムアルデヒド ジクロロ酢酸 トリクロロ酢酸 (0.006/0.03) * 100	トリクロロ 20	トリクロロ 19.3	トリクロロ 20.0	トリクロロ 18.7	トリクロロ 18.0	トリクロロ 35.6	24.3	消毒副生成物濃度として、代表的な消毒副生成物を選び総合指標とした。 *一年間の定期検査の平均値の最も大きい水質基準の値と物質名(9月)
A109	農業濃度水質管理目標比率(%)	(測定を実施した農業類の最大濃度をそれぞれの水質管理目標値で除した値の合計値)/測定を実施した農業数 * 100 未検出	0	0	0	0	0	0	0	水道事業体の水質検査計画書による農業として、6種を選び、その濃度の目標値に対する割合。

(2)施設管理

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値							平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4	R2		
A201	原水水質監視度(項目)	原水水質監視項目数 (原子吸 光度計故障のため検査可能項目減少有り)	23	15	15	15	13	15	50.5	原水水質の項目をどの程度検査しているかを示す。この指標は、項目数で表されているが原水の特質によるところもあるため、必ずしも項目が多いことが良いとは限らない。	
A202	給水栓水質検査(毎日)箇所密度 (箇所/100km)	(給水栓水質検査(毎日)採水箇所数)/現在給水面積/100 * 給水栓の毎日水質検査の箇所数	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	30.8	適切な水質検査を実施するため、給水区域の状況に応じた水質検査箇所選定に関する割合。	
A203	配水池清掃実施率(%)	最近5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量 * 100 清掃実績なし	0	0	0	0	0	0	47.9	配水池の管理状況を示す。	
A204	直結給水率(%)	(直結給水件数/給水件数) * 100	98	97.9	98.5	98.7	99.6	99.7	96.8	直結給水を実施している割合を示す。	
A205	貯水槽水道指導率(%)	(貯水槽水道指導件数/貯水槽水道数) * 100	91.7	91.7	27.6	25.6	98.8	27.4	11.6	貯水槽に対してどの程度関与しているかを示す。	

(3)事故災害対策

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値							平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4	R2		
A301	水源の水質事故件数(件)	年間水源水質事故件数 なし	0	0	0	0	0	0	0.1	水源の突発的水質異常のリスクがどれだけあるかを示す業務指標	
A302	活性炭投入率(%)	(粉末活性炭年間処理水量/年間浄水量) * 100 活性炭を使用していない	0	0	0	0	0	0	11.4	投入理由を分類することは実際困難のため、単純に投入日数のみ。	

施設整備

(4)施設更新

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値							平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4	R2		
A401	鉛製給水管率(%)	(鉛製給水管使用件数+管種不明管/給水件数) * 100	34.2	32.0	27.0	26.3	24.7	24.4	3.0	水質の安全性から鉛製の給水管は使用されていないことが原則である。	

目標(B)『安定した水の供給』

運営管理

(1) 施設管理

新	業務指標(P)	定義 (計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
B101	自己保有水源率(%)	(自己保有水源水量/全水源水量) * 100	60.5	56.8	58.2	57.9	58.8	53.7	33.1	自己の井戸に適用されるものであり、水源の運用としての自由度を表している。
B102	取水量1m <sup>3</sup> 当たり水源保全投資額(円/㎡)	水源保全に投資した費用/年間取水量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	水源保全への投資状況。
B103	地下水揚水率(%)	(地下水揚水量/年間取水量) * 100	52.9	54.9	54.0	54.0	54.0	54.4	29.5	地下水の割合。
B104	施設利用率(%)	(1日平均配水量/施設能力) * 100	50.6	51.2	49.9	50.5	48.2	47.7	63.0	一日あたりの給水能力に対する一日平均給水量の割合。
B105	最大稼働率(%)	(1日最大配水量/施設能力) * 100	57.3	59.2	56.6	58.8	54.4	54.1	71.9	施設の一日あたりの最大運転時間とその施設の計画運転時間に対する割合。
B106	負荷率(%)	(1日平均配水量/1日最大配水量) * 100	88.3	86.4	88.2	85.9	88.7	88.2	87.6	水道事業の施設効率を判断する指標。
B107	配水管延長密度(km/km <sup>2</sup> )	配水管延長/現在給水面積	28.8	29.0	27.6	27.5	27.6	27.6	10.4	業務指標値が高ければ、一概に整備状況が良好だけでなく、普及率や人口密度との関係に適切な規模である。
B108	管路点検率(%)	(点検をした管路延長/管路総延長) * 100	2.2	4.1	2.8	3.4	5.4	2.3	27	管路の健全性確保に対する執行度合い。
B109	バルブ点検率(%)	(点検したバルブ数/バルブ設置数)/100	-	-	-	-	-	-	7.8	安定した水の供給を目標とする。
B110	漏水率(%)	(年間漏水量/年間配水量) * 100	3.33	4.18	2.74	4.35	2.85	5.90	5.6	水量の把握は、基本事項であるが漏水量は測定は不可能なため、水量の分類のような論理的分析がのぞましい。
B111	有効率(%)	(年間有効水量/年間配水量)*100	96.47	95.65	97.06	95.48	97.10	94.02	93.7	配水池などから配水された水量、各井戸から直接配水された量、水道用水供給事業者からの受水を直接配水した量の一年間の合計。
B112	有収率(%)	(年間有収水量/年間配水量) * 100	93.9	93.1	94.5	92.9	94.4	91.3	90.9	年間の配水量に対する有収水量の割合。
B113	配水池貯留能力(日)	配水池有効容量/1日平均配水量	1.27	1.25	1.28	1.28	1.33	1.35	1.10	一日平均配水量の何日分が配水池などで貯留可能であるかを表している



新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値							平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4	R2		
B114	給水人口一人当たり配水量 (L/日/人)	1日平均配水量/現在給水人口*1000	322	325	323	329	317	316	322.6	給水人口一人一日あたりの水消費量を示す。	
B115	給水制限日数(日)	年間給水制限日数	0	0	0	0	0	0	0	年間に給水制限を受けた割合。	
B116	給水普及率(%)	(現在給水人口/給水区域内人口)*100	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0	100.0	99.4	給水区域内に居住する人口に対する給水人口の割合。	
B117	設備点検実施率(%)	点検機器数/電気・計装・機械機器の合計数*100	100	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	69.4	関西電気保安協会の電気事業法に基づく法的点検を年間契約委託している。	

(2) 事故災害対策

E201	浄水場事故割合 (10年間の件数/箇所)	10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数	0	0	0	0	0	0	0.1	浄水場の事故は多いため、バックアップ機能が働いて、浄水、送水には影響が出ないようになっている。
E202	事故時断水人口率(%)	事故時断水人口/現在給水人口*100 昭和浄水場断水区域人口/現在給水人口*100 不明	—	—	—	—	—	—	45.6	「給水できない人口」の割合を示し、水道事業者のシステムの融通性、余裕を示す。
E203	給水人口一人当たり貯留飲料水量 (L/人)	(配水池有効容量*1/2)/緊急貯水槽容量*1,000/現在給水人口 矢田山第2配水池 80m <sup>3</sup> 矢田山第3配水池 5000m <sup>3</sup> 矢田山第4配水池 10000m <sup>3</sup> 大阪口配水池 5000m <sup>3</sup> 昭和第1配水池 5000m <sup>3</sup> 昭和第2配水池 5000m <sup>3</sup> 昭和県水受水池 5000m <sup>3</sup> 北郡山浄水池 1000 m <sup>3</sup> 緊急貯水槽なし	205	205	208	210	182	213	193.2	地震時などの災害時の飲料水確保として、余裕のある配水池が必要で一人当たりの貯留飲料水量を示す。
E204	管路の事故割合(件/100km)	{(管路の事故件数/(管路延長*100))}	5.5	4.5	4.0	7.0	4.3	3.6	3.8	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し管路の安全性を示す。
E205	基幹管路の事故割合(件/100km)	(基幹管路の事故件数/基幹管路延長)*100	0	0	0	0	0	0	0.9	幹線管路での年間の事故件数を100km当たりで表し、管路の健全性を示すもので、数値が小さい方を健全性が高いと評価できる。
E206	鉄製管路の事故割合(件/100km)	(鉄製管路の事故件数/鉄製管路延長)*100	1.2	1.2	1.5	1.8	0.9	3.2	1.4	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し鉄製管路の安全性を示す。
E207	非鉄製管路の事故割合(件/100km)	(非鉄製管路の事故件数/非鉄製管路延長)/100	13.0	10.3	8.1	15.5	10.3	4.2	8.5	年間の導・送・配水管路の自己件数を延長100km当たりの件数に換算し非鉄製管路の安全性を示す。
E208	給水管の事故割合(件/1,000件)	(給水管の事故件数/給水管件数)*10,000	4.0	2.9	1.2	3.4	3.1	9.1	2.7	配水管分岐から水道メーターまでの給水管の健全性を示す。

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
B209	給水人口一人当たり平均断水・漏水時間(時間)	$\Sigma$ (断水・漏水時間×断水・漏水区域給水人口)/現在給水人口	0	0	0	0	0	0	0.4	事前に予測のできない断水のことを示す。
B210	災害対策訓練実施回数(回/年)	年間の災害対策訓練実施回数	3	1	1	2	2	1	2.2	安定した水の供給を目標とする。
B211	消火栓設置密度(基/km)	消火栓数/配水管延長	3.4	3.4	3.4	3.6	3.6	3.1	2.5	管路施設の消防能力、救命ラインとしての機器対応能力の度合い。

(3)環境対策

B301	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量(kwh/m <sup>3</sup> )	電力使用量の合計/年間配水量	0.57	0.57	0.58	0.57	0.57	0.56	0.30	年間配水量に対する電力使用量の割合。 年間配水量に対する総エネルギー消費量の割合。 (ガソリン(L)×34.6MJ)+(軽油(L)×37.7MJ)+(ガス(Nm <sup>3</sup> )×44.8MJ)+(電力(kWh)×3.6MJ) / 年間配水量(9,860,109m <sup>3</sup> )
B302	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー(MJ/m <sup>3</sup> )	エネルギー消費量/年間配水量	2.06	2.10	2.11	2.07	2.09	2.05	2.5	年間配水量に対する総エネルギー消費量の割合。 年間配水量に対する総エネルギー消費量の割合。 (ガソリン(L)×34.6MJ)+(軽油(L)×37.7MJ)+(ガス(Nm <sup>3</sup> )×44.8MJ)+(電力(kWh)×3.6MJ) / 年間配水量(9,860,109m <sup>3</sup> )
B303	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量(g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	{総二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量/年間配水量}×10の6乗(カソリン、軽油、都市ガス、電力CO <sub>2</sub> 排出量/年間配水量)	158.2	141.6	145.1	143.4	121.3	169.8	139.6	ガソリン 3.446kL×2.32tCO <sub>2</sub> /kL×1,000,000 軽油 0.105kL×2.58tCO <sub>2</sub> /kL×1,000,000 ガス 1.417kNm <sup>3</sup> ×2.23tCO <sub>2</sub> /1000Nm <sup>3</sup> ×1,000,000 関西電力 5,559,865kwh×0.000299tCO <sub>2</sub> /kwh×1,000,000 / 年間配水量(9,860,109m <sup>3</sup> )
B304	再生可能エネルギー利用率(%)	再生可能エネルギー設備の電力使用量/全施設の電力使用量×100 なし	0	0	0	0	0	0	0	水道事業者における再生可能エネルギー利用の割合。
B305	浄水発生土の有効利用率(%)	(有効利用土量/浄水発生土量)×100 なし	0	0	0	0	0	0	33.3	浄水処理過程における発生土の有効利用であり環境保全の取り組み度合い。
B306	建設副産物のリサイクル率(%)	(リサイクルされた建設副産物量/建設副産物発生量)×100 発生土(m <sup>3</sup> )0%+CO <sub>2</sub> 塊(トン)100%+A.S塊(トン)100%/3	76.8	25.6	33.2	30.6	32.3	38.2	66.6	水道事業者における工事等において、発生する建設副産物の有効利用あり、環境保全の取組の度合い。

施設整備

(4)施設管理

B401	ダクタイル鑄鉄管・鋼管率(%)	{(ダクタイル鑄鉄管延長+鋼管延長)/管路延長}×100	63.4	62.8	62.5	62.0	61.2	60.7	56.3	配水管の更新について、材質面で耐震性の劣る鑄鉄管の解消に取り組む。
B402	管路の新設率(%)	(新設管路延長/管路延長)×100	0.2	0.06	0.11	0.17	0.29	0.07	0.11	年間の管路の新設・拡張等の度合いを示すもの



新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
B607	重要給水施設配水管路の耐震適合率(%)	(重要給水施設配水管路のうち耐震適合性のある管路延長/重要給水施設配水管路延長)*100	13.0	14.3	14.3	15.1	16.7	20.2	40.8	事故災害対策として、施設の整備し、安定した水の供給を目指す。
B608	停電時配水量確保率(%)	(全施設停電時に確保できる配水能力/一日平均配水量)*100 自家発電設備なし	0	0	0	0	0	0	89.6	非常時に稼働可能な電気設備の割合。
B609	薬品備蓄日数(日)	平均凝集剤貯蔵量/凝集剤1日平均使用量 または、 平均塩素剤貯蔵量/塩素剤1日平均使用料 (北郡山浄水場) 次亜塩素酸ナトリウム44.4 PAC37.9 (昭和浄水場) 次亜塩素酸ナトリウム3.6 PAC19.7	44.4	46.4	50.3	60.3	55.4	59.8 59.8 (33.2)	32.6	地震時において、必要な薬品量の備蓄について調和がとれているか。
B610	燃料備蓄日数(日)	平均燃料貯蔵量/1日燃料使用量 自家発電装置なし	0	0	0	0	0	0	1.1	地震時において燃料備蓄率については、災害時等の停電時間の電力を補えるか。
B611	応急給水施設密度 (箇所/100km)	(応急給水施設数/現在給水面積/100)	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	13.8	給水区域100km <sup>2</sup> 当たりの拠点数であり、緊急時の利用しやすさ。 北郡山浄水場・矢田山第4配水池・昭和受水タンク・昭和第1配水池・昭和第2配水池(5カ所*39.1*100)
B612	給水車保有度(台/1000人)	給水車数/現在給水人口/1,000)	0.034	0.034	0.035	0.035	0.036	0.035	0.014	緊急時用の給水車保有数。
-	可搬ポリタンク・バッグ保有数(%)	(可搬ポリタンク・ポリバッグ数/給水人口)*1,000	217.4	240.6	256.9	190.6	201.5	191.6	-	災害時の人口1,000人当たりの車載用給水ポリタンク・ポリバッグ数。
B613	車載用の給水タンク保有度 (m <sup>3</sup> /1000人)	車載用給水タンクの容量/(現在給水人口/1000)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.100	災害時の人口1,000人当たりの車載用給水タンク保有度。

目標(C)『健全な事業経営』

財務

(1)健全経営

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
C101	営業収支比率(%)	(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費)*100	105.4	108.4	104.2	94.2	104.2	83.8	97.4	営業費用が営業収益によってどの程度賄われているか。
C102	経常収支比率(%)	経常収益/経常費用*100	120.5	123.5	118.6	108.2	118.6	112.2	107.8	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているか。 単年度ごとの判断ではなく料金算定期間内で100% を上回っていれば良好。
C103	総収支比率(%)	(総収益/総費用)*100								総収支比率は総費用が総収益によってどの程度賄
C104	累積欠損金比率(%)	{累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)}*100	0	0	0	0	0	0	0	水道事業体の経営状況が健全な状態にあるか。
C105	繰入金比率(収益的収入分)(%)	(損益勘定繰入金/収益的収入)*100 0(繰入なし)	0	0	0	0	0	0	2	収益的収入に対する繰入金の依存度 この値は、低い方が望ましい。
C106	繰入金比率(資本的収入分)(%)	(資本的勘定繰入金/資本的収入計)*100 0(繰入なし)	0	0	0	0	0	0	9.2	資本的収入に対する繰入金の依存度 この値は、低い方が望ましい。
C107	職員一人当たり給水収益(千円/人)	(給水収益/損益勘定所属職員数)	64.658	65.524	65.223	62,877	82,778	70,279	80,630	損益勘定所属職員一人当たりの生産性について、給水収益を 基準とする。
C108	給水収益に対する職員給与の割合(%)	水道事業費用職員給与費-(受託工事費(給与費+退職引当金)/給水収益)*100	10.6	10.1	10.3	10.7	9.6	11.5	10.8	給水収益に対する職員給与費の割合。
C109	給水収益に対する企業債利息の割合(%)	(企業債利息/給水収益)*100	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	4.00	給水収益に対する企業債利息の割合。
C110	給水収益に対する減価償却費の割合(%)	(減価償却費/給水収益)*100	24	24	23	25	26	31	36.1	給水収益に対する減価償却費の割合。
C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合(%)	(企業債償還金/給水収益)*100	0.17	0.17	0.17	0.19	0.19	0.23	18.2	給水収益に対する企業債償還金の割合。
C112	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	(企業債残高/給水収益)*100	1.7	1.51	1.35	1.26	1.04	1.00	267.4	給水収益に対する企業債償還金の割合。
C113	料金回収率(%)	(供給単価/給水原価)*100	120.7	123.6	118.3	106.4	113.1	93.8	99.7	供給単価と給水原価の関係。
C114	供給単価(円/m)	給水収益/年間総有収水量	186.6	188.2	188.9	176.6	186.7	165.6	195.4	有収水量1m <sup>3</sup> についてどれだけの収益を得ているかを示す。

新	業務指標(PI)	定義(計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
C115	給水原価(円/㎡) 給水原価(円/㎡) 附帯事業費+長期前受金戻入)/年間有収水量	(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+ 附帯事業費+長期前受金戻入))/年間有収水量	154.5	152.3	159.6	166.1	165.1	176.5	197.0	有収水量1㎡にどれだけの費用がかかっているかを示す。
C116	1か月10㎡当たり家庭用料金(円)	1か月当たり一般家庭用(口径13mm)の基本料金+10㎡	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	1,747	1か月10㎡当たり家庭用料金(円) 料金表による
C117	1か月20㎡当たり家庭用料金(円)	1か月当たり一般家庭用(口径13mm)の基本料金+20㎡ 1,170(10㎡を含む)+155*10	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	3,593	1か月20㎡当たり家庭用料金(円) 料金表による
C118	流動比率(%)	(流動資産/流動負債)*100	1,819.0	2,487.0	1,769.2	909.6	1,054.9	1,651.5	339.6	流動負債に対する流動資産の割合。
C119	自己資本構成比率(%)	{(資本金+繰延収益)/負債・資本合計}*100	92.5	93.2	92.7	91.1	91.7	85.6	72.4	総資本に占める自己資本の割合。
C120	固定比率(%)	{固定資産/(資本金+剰余金+評価差額+繰延収益)}*100	58.51	58.17	55.98	72.42	73.53	63.58	120.1	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを見る指標。
C121	企業債償還元金対減価償却費比率(%)	(建設改良のための企業債償還元金/当年度減価償却費)*100	0.8	0.7	0.8	0.8	0.7	0.7	65.9	投下資本の回収と再投資のバランス。
C122	固定資産回転率(回)	(営業収益-受託工事収益)/(期首固定資産+期末固定資産)/2 H29末 H30末								固定資産に対する営業収益の割合を回数で示したもの。
C123	固定資産使用効率 (㎡*10,000円)	(年間配水量/有形固定資産)*10,000	0.02	0.09	0.02	0.07	0.07	0.13	0.10	有形固定資産10,000円当たりの年間総配水量の割合。
C124	職員一人当たり有収水量(㎡/人)	年間総有収水量/損益勘定所属職員数 9670285/18人(嘱託・臨時・再任除く)	10.5	10.4	10.0	9.8	9.1	8.7	7	サービス全般の効率性。
C125	料金請求誤り割合(件/1,000件)	(誤料金請求件数/料金請求件数)*1,000 (3/194,446)*1,000	510,685	541,628	537,238	565,323	775,929	685,620	411,022	サービス全般の効率性。
C126	料金収納率(%)	(料金納入額/調定額)*100	0.16	0.10	0.02	0.00	0.00	0.02	0.100	料金請求の正確性の度合い。
C127	給水停止割合(件/1,000件)	給水停止件数/(給水件数/1000)	92.8	93.0	92.9	92.8	93.1	91.9	93.7	料金滞納の度合い。 (H27より定義変更)
			6.46	4.76	4.77	4.33	3.83	3.34	6.6	給水停止の度合い。

組織・人材

(2) 人材育成

新	業務指標(P)	定義(計算式)	指標値						平均値	解説
			H29	H30	R元	R2	R3	R4		
C201	水道技術に関する資格取得度(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数/全職員数 37件/19人(嘱託・臨時・再任除く)	2.60	2.53	2.53	1.72	2.00	1.95	1.60	水道事業遂行するには、法令で定められた資格が必要であり、全職員に対する資格者の割合。
C202	外部研修時間(時間)	(職員が外部研修を受けた時間・人数)/全職員数 12.17時間/19人(嘱託・臨時・再任除く)								人材育成に対する人的投資の度合いを示す指標。
C203	内部研修時間(時間)	(職員が内部研修を受けた時間・受講人数)/全職員数 93.5時間/19人(嘱託・臨時・再任除く)	17.2	10.0	3.8	1.4	0.4	0.6	2.6	一人当たりの内部研修時間の平均を表す。
C204	技術職員率(%)	(技術職員数/全職員数)*100 10人/19人*100(嘱託・臨時・再任除く)	8.1	5.0	8.4	3.9	5.8	4.9	1.7	全職員に対する技術職員総数の割合を表し、この値が小さいと水道事業体としての直営での維持管理が難しくなる。
C205	水道業務平均経験年数(年/人)	職員の水道業務経験年数/全職員数 157.5年/19人(嘱託・臨時・再任除く)	55.0	57.8	52.6	50.0	44.4	52.6	55.5	人的資源としての専門技術の蓄積を示す。
C206	国際協力派遣者数(人・週)	$\Sigma$ (国際協力派遣者数*潜在日数) なし	0	0	0	0	0	0	0	国際協力を予測し、人・週を単位で協力度を示す。
C207	国際協力受入者数(人・日)	$\Sigma$ (国際協力受入者数*潜在日数) なし	0	0	0	0	0	0	0	海外との交流を予測し、パスで数十人訪問すると考えその回数を示す。

(3) 業務委託

C301	検針委託率(%)	(委託した水道メータ数/水道メータ設置数)*100 全て委託	100	100	100	100	100	100	99.3	水道メータの検針の直営と委託の割合。
C302	浄水場第3者委託率(%)	(第三者委託した浄水場の浄水施設能力/全浄水場能力)*100 北郡山浄水場 9,600m <sup>3</sup> (全委託) 昭和浄水場 30,200m <sup>3</sup> (2/3委託)	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	74.7	13.4	浄水場の委託割合。

お客さまとのコミュニケーション

(4) 情報提供

新	業務指標(PI)	定義 (計算式)	指標値					平均値	解説	
			H29	H30	R元	R2	R3			R4
C401	広報誌による情報の提供の提供度(部/件)	広報誌などの配布部数/給水件数	1.87	1.88	1.85	1.85	2.08	1.80	3.9	広報の活動状況を示す。 「ふれっしゅ郡水」(春・秋・安堵町)配布
C402	インターネットによる情報の提供度(回)	ウェブページへの掲載回数 ホームページ依頼回数	13	12	27	54	44	57	43	健全な事業経営を目標とする。 予算・決算・審議会2回・広報紙2回・入札等 1+1+2+2+2.4*2
C403	水道施設見学者割合(人/1,000人)	見学者数/(現在給水人口/1000)	7.6	8.6	7.7	0.0	0.0	0.0	0.1	消費者と双方向コミュニケーションを推進している割合。

(5) 意見収集

C501	モニター割合(人/1,000人)	モニター人数/(現在給水人口/1000)									消費者との双方向コミュニケーションを推進している割合。
C502	アンケート情報収集割合(人/1,000人)	なし アンケート回答者数/(給水人口/1,000人)	0	0	0	0	0	0	0	0	一年間の、水道事業に関するアンケート調査に回答したお客様の数 H28ペトボトル配布-H30利き水 水道水を飲用としている給水区域内の消費者の割合。
C503	直接飲用率(%)	(直接飲用回答数/直接飲用アンケート回答数)*100	-	-	-	-	-	-	-	9.1	H28ペトボトル配布有
C504	水道サービスに対する苦情対応割合(件/1,000件)	水道サービス苦情対応件数/給水件数*1000 工務課(給水) (1/39,533)*1,000 業務課(お客様) (0/39,533)*1,000	0.16	0.03	0.00	0.08	0.09	0.02	0.02	0.02	給水件数に対する消費者対応、検針関係、料金関係 工事関係、断水・濁水関係などに対する年間苦情割合。 (文書として記録された分)
C505	水質に対する苦情対応割合(件/1,000件)	(水質苦情件数/給水件数)*1,000	0.64	0.48	0.51	0.75	0.45	0.34	0.34	0.34	給水件数に対する、においや味などの年間苦情割合。
C506	水道料金に対する苦情対応割合(件/1,000件)	水道料金苦情件数/給水件数*1000 (0/39,533)*1000	0.06	0.00	0.05	0.03	0.09	0.00	0.00	0.35	給水件数に対する年間の苦情割合。 委託業者対応は、問い合わせ、職員対応は、苦情として扱う。



「水道事業ガイドライン」に基づく業務指標 (PI)

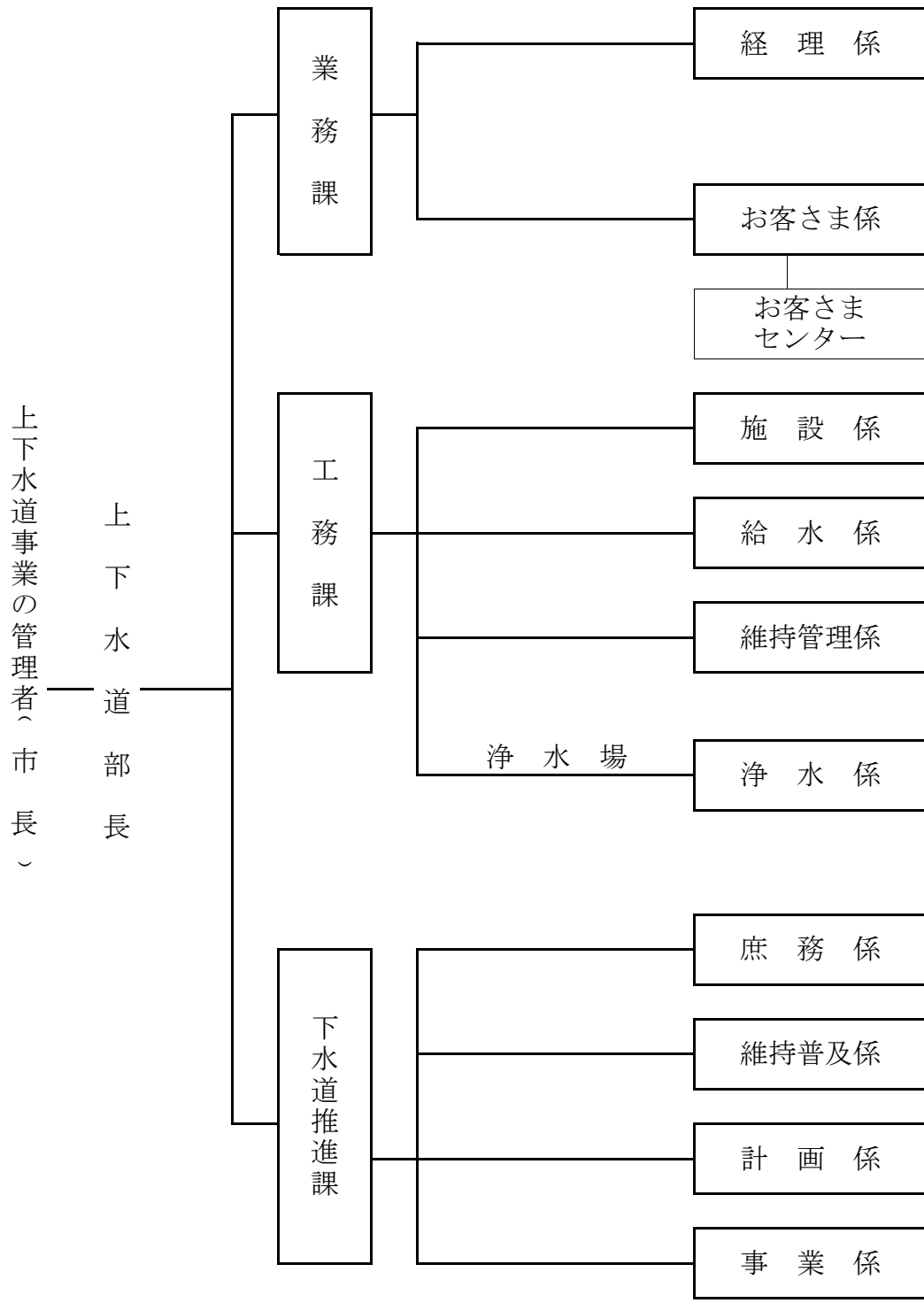
【JWWA Q100 2016】

- \* 水道事業ガイドラインは、水道事業のサービス内容を共通の算定式によって数値化する国内規格として、平成17年1月に社団法人日本水道協会により制定されました。
- \* その後、新水道ビジョンの策定、東日本大震災による耐震化対策の強化、水質基準などの水道関係法令の改正といった水道事業を取り巻く状況の大きな変化を受けて、平成28年3月に規格が改定されました。
- \* 「安全で良質な水」「安定した水の供給」「健全な事業経営」の3つを業務指標 (PI: Performance Indicator) の目標とし、119項目から構成されています。
- \* 同規模事業体とは、日本水道協会のHPで公表される給水人口5万人以上10万人未満の事業体における令和元年度の業務指標の (PI) の平均値 (異常値と認められているものを除いて算出)
- \* 「ー」は、規格改正等によりデータがないことを表しています。

# V 機 構

# 1. 機 構 図

(令和5年3月31日現在)



## 2. 職員数及び配置

(令和5年3月31日現在)

役職名 課・係	上下水道部長	次長	課長	主幹	課長補佐	係長	主査	係員	その他の職員	計	
[業務課]	1	1	1		2	(2)		2	1	<b>6</b>	
経理係						(1)		①	1		
お客さま係						(1)		2			
[工務課]			(1)		2	2(1)		6	7	<b>17</b>	
施設係						(1)		3	1		
給水係							1		1	2	
維持管理係							1		2	4	
[工務課浄水場]							(2)		2	5	<b>7</b>
浄水係							(1)		2	5	
小計					1(1)		4	2(6)		10	13
合計	1	1	1(1)		4	1(7)		10	13	<b>32</b>	

( ) 書は兼務、○書は他会計のため合計に含まず。

### 3. 職 員 構 成 (臨時職員を除く)

#### (1) 年齢別職員構成

(令和5年3月31日現在)

区 分 年齢別	定数内職員		その他職員		合 計	比 率
	事務職員	技術職員	事務職員	技術職員		
合 計	9 人	10 人	5 人	3 人	27 人	100%
平均年齢	52.2 才	44.6 才	58.1 才	62.3 才	52.4 才	
20才以上～25才未満		1			1	3.7%
25才 " ～30才 "		1			1	3.7%
30才 " ～35才 "		2			2	7.4%
35才 " ～40才 "						
40才 " ～45才 "	1	1			2	7.4%
45才 " ～50才 "	1	1			2	7.4%
50才 " ～55才 "		1			1	3.7%
55才 " ～60才 "	5	1	2		8	29.6%
60才 " ～65才以下	2	2	3	3	10	37.0%

#### (2) 勤続年数別職員構成

(令和5年3月31日現在)

区 分 年齢別	定数内職員		その他職員		合 計	比 率
	事務職員	技術職員	事務職員	技術職員		
合 計	9 人	10 人	5 人	3 人	27 人	100%
平均勤続年数	7 年	8 年	20 年	34 年	13 年	
1年未満						
1年以上～3年未満	4	2	1		7	25.9%
3年 " ～5年 "	1	2			3	11.1%
5年 " ～7年 "	1	1			2	7.4%
7年 " ～10年 "		1			1	3.7%
10年 " ～15年 "	1	2			3	11.1%
15年 " ～20年 "		2	1		3	11.1%
20年 " ～25年 "						
25年 " ～30年 "	2		1	1	4	14.8%
30年 " ～35年 "			1		1	3.7%
35年 " ～40年 "			1	2	3	11.1%
40年以上						

## VI 参 考

1. 水道料金の変遷

昭和56年3月1日施行（平均改定率 18.0%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m <sup>3</sup> まで	750 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	100 円
	20		1,120		120
	25		1,500		140
	40	水 量 な し	5,900	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	100 円 120 140 170
	50		8,700		
	75		21,700		
	100		36,800		
	150		80,700		
	200 以上		市長が別に定める額		
臨時用	メーター口径に基づく額		1 m <sup>3</sup> につき		
湯屋用	メーター口径に基づく額	80 円			

昭和59年3月1日施行（平均改定率 9.5%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額(円)
一 般 用	13 mm	10 m <sup>3</sup> まで	800 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	110 円
	20		1,220		130
	25		1,640		150
	40	水 量 な し	6,600	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	110 円 130 150 180
	50		9,800		
	75		24,600		
	100		41,900		
	150		92,000		
	200 以上		市長が別に定める額		
臨時用	メーター口径に基づく額		1 m <sup>3</sup> につき		
湯屋用	メーター口径に基づく額	90 円			

昭和62年3月1日施行（平均改定率 20.47%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額（円）
一 般 用	13 mm	10 m <sup>3</sup> まで	1,000 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	130 円
	20		1,540		150
	25		2,090		180
	40	水 量 な し	8,700	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 500 501 以上	130 円 150 180 210
	50		12,900		
	75		32,100		
	100		54,600		
	150		119,600		
	200 以上		市長が別に定める額		
臨時用	メーター口径に基づく額		1 m <sup>3</sup> につき		
湯屋用	メーター口径に基づく額	100 円			

平成4年3月1日施行（平均改定率 10.82%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額（円）
一 般 用	13 mm	10 m <sup>3</sup> まで	1,000 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	140 円
	20		1,540		160
	25		2,090		180
	40	水 量 な し	8,700	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	140 円 160 180 200 230
	50		12,900		
	75		32,100		
	100		54,600		
	150		119,600		
	200 以上		市長が別に定める額		
臨時用	メーター口径に基づく額		1 m <sup>3</sup> につき		
湯屋用	メーター口径に基づく額	110 円			



平成8年3月1日施行（平均改定率 17.98%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額（円）
一般用	13 mm	10 m <sup>3</sup> まで	1,200 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	160 円
	20		1,800		190
	25		2,500		220
	40	水量なし	10,400	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	160 円 190 220 240 270
	50		15,400		
	75		38,500		
	100		65,500		
150	143,500				
臨時用		メーター口径に基づく額	1 m <sup>3</sup> につき	270 円	
湯屋用		メーター口径に基づく額		130 円	

平成25年4月1日施行（平均改定率 △2.89%）

用途 種別	基本料金（1ヶ月につき）			従量料金（1 m <sup>3</sup> につき）	
	メーター口径	水量	金額（円）	水量	金額（円）
一般用	13 mm	8 m <sup>3</sup> まで	1,030 円	11 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	155 円 185 215 235 265
	20		1,670		
	25		2,400		
	13 mm	9~10 m <sup>3</sup> まで	1,170		
	20		1,780		
	25		2,490		
40	水量なし	10,200	1 ~ 20 m <sup>3</sup> 21 ~ 50 51 ~ 100 101 ~ 500 501 以上	155 円 185 215 235 265	
50		15,200			
75		38,000			
100		64,000			
150		140,000			
臨時用		メーター口径に基づく額	1 m <sup>3</sup> につき	265 円	
湯屋用		メーター口径に基づく額		125 円	

## 2. 下水道使用料の変遷

平成9年4月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ~ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 635円
一般排水	従 量	11 ~ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 69円
		21 ~ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 76円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 83円
		101m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 89円
中間排水	料 金	301 ~ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 130円
特定排水		751m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 175円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	42円

平成21年5月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ~ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 735円
一般排水	従 量	11 ~ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 80円
		21 ~ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 88円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 96円
		101m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 103円
中間排水	料 金	301 ~ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 143円
特定排水		751m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 193円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	48円

平成22年5月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ~ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 830円
一般排水	従 量	11 ~ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 90円
		21 ~ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 99円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 108円
		101m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 116円
中間排水	料 金	301 ~ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 156円
特定排水		751m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 210円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	56円

平成24年5月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ~ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 950円
一般排水	従 量	11 ~ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 104円
		21 ~ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 114円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 124円
		101m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 133円
中間排水	料 金	301 ~ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 164円
特定排水		751m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 221円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	64円

平成25年5月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ~ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 1070円
一般排水	従 量	11 ~ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 118円
		21 ~ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 129円
		51 ~ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 140円
		101m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 151円
中間排水	料 金	301 ~ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 172円
特定排水		751m <sup>3</sup> ~	1 m <sup>3</sup> につき 231円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	73円

※地域（矢田山団地）は平成28年6月廃止

令和2年4月1日施行（2カ年平均改定率13.12%）

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 8m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 1050円
		9 ～ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 1120円
一般排水	従 量	11 ～ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 131円
		21 ～ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 143円
		51 ～ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 156円
		101m <sup>3</sup> ～	1 m <sup>3</sup> につき 168円
中間排水	料 金	301 ～ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 180円
特定排水		751m <sup>3</sup> ～	1 m <sup>3</sup> につき 242円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	81円

令和3年4月1日施行

区 分		使 用 料 金	
基本料金		水量 0 ～ 8m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 1030円
		9 ～ 10m <sup>3</sup>	1ヶ月につき 1170円
一般排水	従 量	11 ～ 20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 145円
		21 ～ 50m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 158円
		51 ～ 100m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 172円
		101m <sup>3</sup> ～	1 m <sup>3</sup> につき 185円
中間排水	料 金	301 ～ 750m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 189円
特定排水		751m <sup>3</sup> ～	1 m <sup>3</sup> につき 254円
公衆浴場（市が運営する共同浴場を含む。）		1 m <sup>3</sup> につき	89円

### 3. 給水分担金

メーター口径	20 mm 以下	25 mm	40 mm	50 mm
分担金	200,000 円	360,000 円	1,152,000 円	1,710,000 円

75 mm	100 mm	150 mm
4,428,000 円	8,964,000 円	24,372,000 円

(上記の金額に消費税が加算されます。)

### 4. 導・送・配水管布設状況

#### 導水管

口径 mm	Ø300mm 未満	Ø300～500mm 未満	Ø500～1000mm 未満	合計
延長 m	8,612.64	5,753.33	286.80	14,652.77

#### 送水管

口径 mm	Ø50～300mm 未満	Ø300～500mm 未満	合計
延長 m	1055.36	9164.12	10,219.48

#### 配水管

口径 mm	Ø50mm以下	Ø75mm	Ø100mm	Ø125mm	Ø150mm	Ø200mm	Ø250mm
延長 m	113,211.49	127,358.36	114,759.62	0	61,232.26	41,612.02	697.78

口径 mm	Ø300mm	Ø350mm	Ø400mm	Ø450mm	Ø500mm	Ø600mm	合計
延長 m	20,859.03	38.88	15,936.42	3,465.07	1,778.26	2,786.67	503,735.86

**令和4年度**

**水道事業年報**

発行 大和郡山市植槻町6番10号

**大和郡山市上下水道部**

TEL 0743(53)3661

編集 大和郡山市上下水道部広報委員会